

10. 面談記録

日時	7月29日(火) 10時20分～11時40分
面会者	Mr. Sandi Mahamadou CGDES 調整部パートナー調整課長 Mr. Rabiou Sani 同課パートナー担当
場所	プロジェクト事務所
団員	阿部久美子〔評価分析(個人コンサルタント)〕、西山明美〔通訳(日本国際協力センター)〕

<全般>

- ・ ニジェールの CGDES 活動はモデル国となっており、近隣諸国から皆視察にやってくる。他国が自分たちの活動をコピーしていることは大変誇らしく、やる気にもつながっている。これは JICA の支援によるものである。
- ・ 10 年計画では、3 つのコンポーネントがあり、その 1 つが学校運営活動に係るものであったが、評価の際に、このコンポーネントの評価が一番高く、JICA 以外のドナー支援はこの分野ではなかったため、まさに JICA 支援による成果である。
- ・ CGDES 活動を国が認め、去年から CGDES 活動が国家予算に組み込まれた。さらに、補助金導入についても、世銀支援の資金でプロジェクト活動を拡大していく計画があり、CGDES 活動において目覚ましい進歩である。

<技術移転>

- ・ 他ドナーの支援ではプロジェクトの活動計画から予算配分まですべて自分たちで行うが、JICA プロジェクトは活動の予算管理はプロジェクト事務所で行い、活動自体も日本人専門家に提示されたことを実施する形になっている。例えば、フォーラム・アプローチについては、コンセプトがつけられた段階でニジェール側に共有されているが、本来ならばコンセプトを練る時点で呼んでもらい、どういうステップでコンセプトが作り上げられたのか、ということ学ぶことが重要。前のフェーズではもっと自分たちが主体で活動していたが、どうしてこうなったのか分からない。
- ・ 他方で、エクセルを使ったデータ処理方法の研修を受けたことで、今後、自分たちでデータ収集、分析ができるようになった。
- ・ また、CGDES 活動のモニタリングに関しては、会議のオーガニゼーション、例えばプログラムの時間配分設定など、できるようになった。会議でのプレゼンテーションも以前は JICA メンバーが行っていたが、現在は自分たちが発表する割合が増えた。
- ・ 今後、必要なスキルとしては、CGDES 調整部としての年間活動計画の作成とそのモニタリング。

<問題点>

- ・ 他国の「みんなの学校プロジェクト」では、プロジェクト事務所とカウンターパートが同じ事務所と一緒に活動しているのに対し、ニジェールではそうでないのはおかしい。
- ・ 供与機材であるパソコンやコピー機などすべてプロジェクト事務所内にあり、機材リストにサインを求められた際、自分たちの事務所に来るとはなかったのでサインを拒んだが、プロジェクトと協議をしてこれら機材をもらえるのはプロジェクト終了後だと知って、サインした経緯がある。
- ・ 日当・宿泊費に関して、他ドナーは 25,000Fcf 分でホテルでサインをもらうのみで全額もらえるが、JICA の日当は移動距離に関係なく 5,000Fcf + 実費支給で、研修の際に参加者から苦情が出る。ニジェール政府と JICA の取極めである旨、毎回説明しなくてはならない。

日 時	7月29日(火) 11時40分～12時20分
面会者	Mr. Oumarou Roho, CGDES 調整部研修イノベーション課長 Mme Halidou Maimouna 同課職員
場 所	CGDES 調整部
団 員	阿部、西山

<全般>

- ・ JICA のこれまでの支援について、まず COGES を組織化し学校のニーズに沿った活動とするコンセプトは素晴らしい。以前は学校＝コミュニティという概念が全くなく、住民は学校活動に全く参加していなかったが、JICA プロジェクトがこの概念を広めた。そして実際の活動として、民主的選挙による代表の選出などの手法を導入し、COGES 活動が動き出した。活動の1つの成果として、学校では年間960時間の学習時間が設定されているところ、実際は教員のストライキなどにより約600時間しか実施されていない状況があったが、COGES 活動で補習授業などの実施により約200時間を埋めることができた。次に、CGDES 連合を設立し、市長を巻き込んだ活動となり、機能が一層強化された。CGDES 活動モニタリングにおいてはきちんと学校レベルまで行われる体制となっている。この一連の CGDES 活動に対する JICA 支援は素晴らしい。

<技術移転>

- ・ プロジェクトに係る各種モジュールの作成は、ドラフトを JICA チームがつくり、その後関係者の意見を取り入れながら行っており、作成方法については問題ない。研修実施も JICA チームと一緒に実施している。
- ・ モニタリング方法について、質問票を作成して活動地域で調査を JICA チームと一緒に実施したことで、その手法について学んだ。また、エクセルを使ったデータ処理方法も学んだ。
- ・ 今後は CGDES 活動の評価手法と、データ分析方法について学ぶ必要がある。

<持続性>

- ・ CGDES 活動にかかる予算が国家予算から割り当てられるようになったため、財政面では問題ない。技術面では、(上述のとおり) 評価手法とデータ分析能力がまだ足りない。

<その他>

- ・ プロジェクトに必要な機材購入について、以前は JICA チームだけで購入するものを決めていたが、きちんと話し合いをした結果、今は関係者みなで決めるようになった。

日 時	7月29日(火) 12時45分～14時
面会者	Mr. Abdoli ahaya, CGDES 調整部評価モニタリング課長 Mr. Yayaha Harouna, 同課職員
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部、西山

<CGDES モニタリング>

- ・ モニタリング方法としては、CGDES 連合総会、年3回の CGDES 総会、そして年2回の経験共有セミナー

一の大きく3つ。また、毎月実施の州レベルのCGDES 監督会議へも出向く。具体的なモニタリング手法は、確認すべきポイントのリストがあるので、それに沿って行う（羽田野さんより入手したが、モニタリングシートのようなものではなく、CGDES 活動計画の集計をとるための指標であった）。これは以前から存在していたが、JICA プロジェクトと一緒に使うようになった。これらを集計して、フィードバックしている。

- ・ JICA チームと合同モニタリングをすることで、モニタリングに関する多くの知識を習得した。

<持続性>

- ・ 財政面では、JICA 支援のお陰で、国家予算が割り当てられるようになった。
- ・ 技術面では、モニタリング活動は全く問題ないが、確実な持続性を確保するためには、評価のプロを養成する必要がある（評価のディプロマがあるので、そういう資格保持者がいればいいということ）。

<オーナーシップ>

- ・ 会議の準備などの手順は学んだが、会議の予算は JICA チームが管理しているため、実際自分たちで会議開催する場合、どれぐらいの予算がかかるのか分からない。これはおかしい。
- ・ また、プロジェクト活動についてもっと事前に知り、プロジェクトチームともっと協議をしながら進めたい。現状では、JICA チームがリーダーシップをとって、自分たちがサポートしているようなイメージであるため、もっと自分たちがイニシアティブをとっていきたい。

<持続性>

- ・ モニタリング制度化がプロジェクトの計画に入っているが、これは絶対に達成すべき。一度制度化されてしまえば、予算面でも問題ない。
- ・ CGDES 調整部に対する国家予算が割り当てられたことにもない、これまで CGDES 活動モニタリング費として割り当てられていた州教育事務所への予算がなくなってしまった（←後日確認したところ、これは見返り資金から割り当てられていた州教育事務所への予算のことである）。この州への予算を再度引き出す必要がある。
- ・ CGDES 監督官のモニタリング活動費用について、既に国家予算からバイクのガソリン代や修理費などもカバーされているが、これらのバイクは 2003 年に供与されたもので、かなりの走行距離と道路状態も悪いことから、だいぶ消耗している。近いうちにこのバイクが使えなくなってしまうことが懸念される。
- ・ 業務を遂行するためのパソコンがない。JICA 支援による事務所拡張をした際に、パソコンなどの機材も供与されたが旧式で使えない。調整部のみならず、CGDES 監督官にもパソコンがあれば、業務の効率化が図れる。仕事環境の整備がまだ整っていない。

<良い点>

- ・ JICA 支援は他ドナーと比べて支援対象が均一である。他ドナーはある特定の地域でのみ活動を実施するのに対して、JICA は全国を対象に平等な支援をしていることは良い。

日 時	7月29日（火）15時～16時10分
面会者	Mr. Tahirou Elhadji Moussa CGDES 調整部長
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部、西山

<本邦研修について>

- ・ 3週間の本邦研修では、市町村がどのように学校にかかわっているのかということをとくさん見てきた。保護者が通学路で交通安全のための活動をしていたり、市町村だけでなく地域の企業とも協力して、小学生に職業体験をさせる制度もあり、驚いた。日本では学校と保護者が一体となって学校運営をしている。また、学校給食において、授業をしていた教室があつという間に食堂になり、生徒たち自身が当番制で給食準備をする場面も視察し、大変興味深かった。
- ・ 学校運営において、市長も巻き込んでコミュニティとの協働を図るという点はニジュールで十分に応用していきたい。
- ・ 日本はこれまで一度も植民地化されたことがないという点においてニジュールとは大きく違う。ニジュールではフランス語での学校教育を強制されたが、今後は自分たちの言語を中心とした自分たちの学校教育をしたいと思っている。
- ・ また、研修中には教育分野における国際動向に関する講義を聞くことができ、これまで知らなかったことが多く、視野が広がった。
- ・ 研修では近隣諸国の教育省の人たちとも出会い、西アフリカでの経験共有セミナーなども通じて、CGDES活動のネットワークづくりが取り組まれている。JICA支援のお陰である。

<質のミニマム・パッケージ>

- ・ 算数ドリルは素晴らしい。子どもたちにとってはゲーム感覚で数字と遊びながら、確実に学力向上につながるという素晴らしい手法である。既にドリル導入により、生徒の出席率が向上している。ドリルの普及はコスト面が懸念されるが、その効果を実証すれば必ず教育省は予算をつけるであろう。
- ・ ニジュールでは教育のアクセスは改善されてきたが、質の問題が残っている。研修を受けていない教員が配置されている現状もある。CGDES活動によるドリル学習の実施は、教育の質の問題の解決策である。住民集会でドリルの効果を共有することで、保護者は確実に子どもの学力に対する興味をもつ。それによってCGDES活動が活性化して、教育の質向上につながる。

<補助金>

- ・ 世銀の協力による補助金の供与については、既にプロジェクトから提示できるモデルができていると認識。しかしその拡大においては、JICAの技術支援が引き続き必要。

<プロジェクト目標達成の貢献要因>

- ・ プロジェクト目標は達成されると思う。貢献要因としては、現場での研修実施が挙げられる。研修は中央の調整部から、州・県CGDES担当官、そしてCGDESまでのカスケード式をとっているが、確実に学校レベルまで届いている点が良い。継続性についても問題ないと思うが、研修実施においては、一番の裨益者は学校レベルということをおぼろげに忘れてはならない。

<上位目標達成の見込み>

- ・ 就学率はこれまでの CGDES 活動のお陰でだいぶ改善されたため、教育の質の指標も、確実に CGDES 活動によって改善されると確信している。

<技術移転の問題>

- ・ プロジェクト自体は素晴らしいが、ニジェール側への技術移転という側面においては、全く行われていない。セネガルでは、C/P が主体で日本人専門家がアシスタントという役割であるが、ニジェールでは逆である。そして、プロジェクト事務所と CGDES 調整部が離れているため、2 つのメゾンがあって指示形態をとっているイメージである。このことは、最近ようやく話し合いをするようになって少しずつ良くなっているが、今後、より一層のコミュニケーションをとっていく必要がある。
- ・ 角田専門家（短期専門家）がいた 7 カ月間は素晴らしかった。円滑な情報共有が図られ、ニジェール側が主体であった。彼がいなくなって本当に残念だ。

日 時	7 月 29 日（火） 16 時 20 分～17 時 05 分
面会者	羽田野専門家（CGDES モニタリング）
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部

<基本情報>

- ・ 2013 年の 10 月に赴任、今年 10 月 1 日で任期終了予定。業務調整として赴任後、2014 年 5 月より CGDES モニタリング担当。

<モニタリング業務>

- ・ スタッフのハムザさんがそれまでずっとモニタリング活動を担当してきており、CGDES 活動総括表の集計と分析をこれまですべてハムザさんが行っていた。そのため、調整部への技術移転という意味ではゼロである。ハムザさんの集計データを使って会議での発表は調整部が行っていた。
- ・ 調整部と話し合いを行い、問題点として次の 3 点が挙げられた。①エクセルが使えない、②パソコンがない、③地方とのコミュニケーションがない。
- ・ 今後少しずつ技術移転していく旨、調整部と合意し、今月初めて 2 回にわけてエクセルの研修を調整部スタッフに対して実施。1 回目は 4 名、2 回目は 7 名参加した。
- ・ 現在作業中である CGDES 活動総括表の集計作業を本来は調整部とともに行いたかったが、時間がないため、今回は羽田野専門家が行っている。任期を終える前に、分析作業などを調整部スタッフと一緒にやりたいと思っている。また、ニジェール側の自立発展のためにモニタリングのマニュアルを作成したいと考えている。
- ・ プロジェクト活動全般的に JICA チームが実施しているため、持続性が心配。調整部にイニシアティブをとってもらいながら進めていく必要がある。
- ・ 専門家間の関係としては、もっと情報共有が必要。本部と頻りに連絡をとっている内容が共有されていない印象がある。モニタリング活動に対するプロジェクトの方針なども全く議論されず、活動に関して相談できるプロジェクト体制が望ましい。

日 時	7月29日（火）17時10分～17時50分
面会者	Mr. Djibo Hamza プロジェクトスタッフ
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部

<基本情報>

- ・ フェーズ1の開始当初からずっとかかわっており、専門が統計学で、現在はCGDES モニタリングの担当。NGOのONEN（Organisation Nigerian d'educateur novateur）に所属。

<技術移転に関して>

- ・ これまでのフェーズ1、2と比べて、現在のプロジェクトが技術移転という意味で成功している。それは、CGDES活動の中心となるCGDES調整部が設置されたことによる。以前はCOGES促進室という担当局が存在したが、そこにはスタッフが1名しかおらず、やる気のない人であったため、当時から活動はプロジェクトが行っていた。
- ・ CGDES活動のデータ処理もこれまで彼がすべて行っていた。調整部に業務に必要な資機材とエクセルの使い方が分からないことが原因。教育省の統計年鑑に挿入されたCGDESに関するデータもすべて彼が作成したもの。最近になって、エクセルの研修を実施して、少しずつ技術移転をする方向になっている。
- ・ その他の重要な活動としては、CGDES活動総括表を期限までに提出するようにCGDES担当官へ促す作業。メールや電話で毎回彼が行っている。こうした地方とのコミュニケーションも調整部には欠けているため、今後この作業も引き継ぐ必要がある。期限までの提出を促す方法としてカレンダーを作るアイデアが持ち上がっている。調整部と話し合いながら進めている。

<コミュニケーション>

- ・ 日本人専門家、スタッフ間、及び調整部との関係は良好。情報の共有も滞りなく行われており、職場環境は大変良い。

<彼の今後>

- ・ これまで習得したCGDES活動に係るスキルを、今後どのように生かしていきたいかという点に関し、所属しているONENは分権化に係る活動全般のスペシャリストであるため、今後もCGDESのような分権化にかかわる仕事を続けると思う。保健省でそのようなポストに就くことは、公務員のため仕事の保障と健康保険などもあるので安心ではあるが、仕事のスタイルとして企業やNGOと今後も仕事をしていきたいと思っている。

日 時	7月29日（火）17時50分～18時20分
面会者	Mr. Yawalé Moussa プロジェクトスタッフ
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部

<基本情報>

- ・ ハムザさん同様、所属はONEN。2012年11月より現職。

<リソース管理・運営活動>

- ・ リソース管理・運営活動のモニタリングを ONEN に業務委託している。彼もモニタリングへこれまで十数回行っており、そのうち担当の CGDES 監督官も一緒に行ったのは半分ぐらい。移動の問題があるため。一緒に行くときは、車で迎えに行き、日当もプロジェクトから支払う。
- ・ モジュール作成は、彼とハムザさんがドラフトを作成する。その後に調整部など関係者に共有して最終化というプロセス。
- ・ 問題があるとなれば、リソース管理・運営活動における CGDES の銀行口座開設のこと。しかし、これは既に銀行側と話し合っ解決の方向に向かっている。
- ・ 仕事環境の人間関係は良好。

日 時	7月30日(水) 9時10分～10時30分
面会者	Mr. Moutari Abarchi ニアメ 5区視学官 Mr. Ali Hassan, Observateur Relai (OR) (州レベルではこのポストは県 CGDES 監督官となっているが、ニアメのみまだ残っているとのこと)
場 所	ニアメ市 5区視学官事務所
団 員	Mr. Rabiou Sani (調整部)、Mr. Abdoulaye Souley (計画局)、阿部、西山

<質のミニマム・パッケージ>

- ・ 約7カ月前に、同じく質のミニマム・パッケージのパイロット地区であるカルマ県の視学官とともに、JICA プロジェクトスタッフのハムザさんより研修を受け、一緒に活動視察等を通じて活動のことを学んだ。
- ・ モニタリングとして活動視察をした際に、ドリルのファシリテータをしている教師から活動の報酬が必要との意見も聞かれた。
- ・ 基礎学力向上の手段として算数ドリルほど画期的で効果的なものはほかにないと思う。子どもたちにとってはゲームをする感覚で、基礎学力を身につけることが可能。ニジェル全国へ展開すべき活動である。
- ・ ドリルの継続性の問題については、もしドリル作成の予算がなければ、視学官や教育主事などに1冊ずつマニュアルとして配布し、彼らがそれを活用して手書きでコピーするなどの対応で教員指導をすれば良い。ドリルの良さが分かればどうにでも対応可能。

<CGDES 監督官との関係>

- ・ 質のミニマム・パッケージの活動モニタリングの際のみ州 CGDES 監督官と会うが、それ以外では通常の業務は全く別のためコミュニケーションはない。

<その他>

- ・ 質のミニマム・パッケージ以外の活動については全く関与していない。CGDES 活動については、前の勤務地であったディファ州では地理的条件が悪いことから CGDES はほとんど機能していなかった。それもあり、CGDES についてはあまりかかわっていない。
- ・ OR は視学官の権限で任命し、視学官事務所に所属。活動は CGDES 活動モニタリングのみ行っており、業務指示形態としては州 CGDES 監督官が管轄。政治的要因が絡んでいるとのことだが、組織運営が複雑化していて、各組織の役割と業務形態が明確でない部分が多くあり、現場でも困っている(影山さんより後日事情説明を受ける予定)。

日 時	7月30日(水) 10時40分～11時40分
面会者	Mr. Abudou Hamidou ニアメ市 CGDES 監督官 Mr. Oumarou Seidou 就学課課長 (教育事務局長の代理として参加)
場 所	州教育事務所
団 員	Mr. Rabiou Sani (調整部)、Mr. Abdoulaye Souley (計画局)、阿部、西山

<基本情報>

- ・ 2008年からCGDES活動にかかわっており、JICAプロジェクトの能力強化研修や、現プロジェクトではリソース運営管理研修、質のミニマム・パッケージなどを受講。2014年2月にセネガルへCGDES活動の経験シェア視察へ参加している。

<研修>

- ・ ロールプレイを取り入れた研修は、実演しながら知識を身につける手法として大変効果的。TOTを受講したあと、同じ手法で自分がCGDES連合メンバーやCGDESに研修を実施した。カスケード方式の研修も、時間を空けずに適切に実施され、効果的。
- ・ モジュールも詳細な説明がされており、分かりやすい。改訂のプロセスでは、研修実施後に改善点についてフィードバックする機会があった。

<質のミニマム・パッケージ>

- ・ ファシリテータに支払をしているCGDESもあるが、支払いをしないケースの方がうまくいっている。支払を始めてしまうと、CGDESの資金の関係で支払ができない場合も発生し、すぐに活動が滞ってしまうことが懸念される。
- ・ テスト結果を保護者に公表することで、保護者の子どもの学力向上に対する意識が高まる。ドリル導入により、生徒の出席率が既に向上。ドリル活動を通じて教員に多くの質問をすることで、教員と生徒の関係も密になっている。
- ・ 継続性については、生徒の学力向上のためにボランティアとしてドリル活動を実施するためには、教員の意識改革が必要。予算面においては、補助金を活用することも可能。ぜひ全国展開するべき。

<持続性>

- ・ 学校レベルにおいては、現在では学校はコミュニティのものであるという概念が根づいており、活動資金も増えているコミュニティの意識向上が確認できる。そのため、CGDES活動は確実に継続可能。
- ・ 州CGDES監督官として必要な知識と技術は備えている。重要なことは、県CGDES監督官やCGDES連合にその技術を適切に移転することだと思う。モニタリング定期会合などを通じてそうした技術移転が可能。
- ・ 多くのCGDES監督官にはパソコンがなく、データ処理ができない者もあり、現状では効率性に欠けている。データ処理の研修を実施してほしいが、問題は人事異動によって研修を受けた者がいなくなってしまうこと。CGDES監督官の異動も頻繁にある。
- ・ 現在モニタリングに使っているバイクは11年前に供与されたもの。古いので故障が心配。バイクを持っていないCGDES監督官もあり、モニタリングの際には誰かに借りるなどして対応している。モニタリング活動の継続のためには、バイクが必要。

日 時	7月30日(水) 11時50分～13時20分
面会者	ニアメ市5区 BangaBana 1 小学校 CGDES メンバー
場 所	ニアメ市5区 BangaBana 1 小学校
団 員	Mr. Rabiou Sani (調整部)、Mr. Abdoulaye Souley (計画局)、阿部、西山、

<基本情報>

- ・ 2007年より CGDES 設立。生徒数計 552 名 (女子: 288、男子: 264)。14 クラス。教員 16 名。
- ・ 卒業試験合格率: 75% (2012 年)、66% (2013 年)、65.59% (2014 年)

<CGDES について>

- ・ メンバーの会議は毎月開催。
- ・ 会計役には CGDES のプレジデントが研修をした (プレジデントは元 EPT のスタッフ (?))。
- ・ 活動費用の保護者からの参加率は 74%。支払の強制はできないため、意識啓発をするしかない。

<活動計画>

- ・ これまでの活動により就学率や退学率は改善された。退学率が問題であったが、現在は保護者の連絡先を把握して、学校に来なくなった子どもの保護者に連絡がとれる体制にしている。
- ・ 教育の質改善に係る活動は 3 年前から開始。2014 年度の活動には、読解力向上のための教員研修と 1 カ月間の集中授業、補習授業、成績優秀者へのご褒美、教員のノート購入、である。
- ・ 補習授業については、多くの教員が女性であることから、勤務時間外の教員の活用が難しい。支払をする計画もあったが実施していない。
- ・ CGDES 活動が開始されて改善されたことは、教育環境が整備されたこと。学校の建物が建設され、以前は生徒たちが床に座って授業を受けていたが今は机と椅子がある。教員用のノートも購入されるようになり労働環境も改善された。
- ・ 現在は質の向上に係る活動を実施しているが、この成果が発現するには時間を要する。しかし、今年実施した読解能力向上の授業は、まだ評価は行なっていないが、その後の授業内の様子から効果がうかがえる。
- ・ CGDES 活動を継続することで、生徒の学力向上は確実に実現可能である。

<問題点>

- ・ 学校に関することは、必ず CGDES と連携するという規定があるが、実際には CGDES を無視して勝手に業者が校舎を建設したことがある。本来であれば、建設場所などについて CGDES と相談すべき。このことは視学官や中央の調整部にも相談済み。調整部いわく、ほかでも同様のことが起こっていた。
- ・ ほかに、既に自分たちで藁ぶき教室を建設したため自治体からの藁ぶき教室は必要ないと FCC に伝えたはずが、業者がやってきて教室を建ててしまったので、自分たちで作った教室を倉庫にしたが、業者から求められた建設完了の署名は拒否。CGDES、FCC、自治体とのコミュニケーションが円滑でない。地方分権化の動きで、まだ役割がはっきりしないことが原因。

<持続性>

- ・ 予算面について、BOCO という NGO から去年は 27 万 Fcfa の補助金を受けた。そのプロジェクトが終了してしまっただけで、現在予算申請書を提出している。活動継続のために、パートナー支援要請の申請書の書き方について学びたい。

- ・ 活動を実施するうえで技術や知識が必要なときは、担当の CGDES 監督官に相談してほしい（本人）。
（入手資料：活動計画、予算報告書）。

日 時	7 月 30 日（水）15 時 30 分～17 時 30 分
面会者	ニアメ市 2 区長（挨拶）、CGDES 連合メンバー12 名
場 所	ニアメ市 2 区役所
団 員	Mr. Rabiou Sani（調整部）、阿部、西山

<基本情報>

- ・ 2009 年設立。現在のメンバーは 2013 年に選出。
- ・ メンバーはほぼ公務員。

<活動予算>

- ・ 区内に 145 の小学校と幼稚園があり、すべての学校が連合に加入している。加入するためには 1 万 Fcfa の入会金と、年間 1 万 Fcfa の会費（2009 年～2013 年までは 5,000Fcfa であった）。
- ・ 今年は 3 つの CGDES の支払いがなかった。以前は会費を払わない CGDES がもっており、会議でその理由を聞くと、新しい学校で生徒が 9 名しかおらず会費が集まらないため、私立校で FCC のことを知らない。また、スラム地域であるため、などの回答であった。
- ・ さらに、連合メンバーが 1 人ごと月 1,000Fcfa 支払っている。
- ・ 区役所からの支援もあり、去年は 100 万 Fcfa、今年は現時点で 4 万 Fcfa が割り当てられた。この金額の変化は、予算の流れが変わったこと。以前は区が予算をもっていたが、現在はニアメ市から各区に予算配分される形となり、予算が不足している。

<活動内容>

- ・ 年 3 回の CGDES 連合総会が主な重要な活動であり、その準備作業のための会議を行っている。CGDES 監督官も必ず参加。
- ・ 4 年前よりすべての CGDES で成績優秀者にご褒美をあげることにしている。女の子にクラウンを、男の子には刀。女の子に目立ったご褒美をあげることで、女子の就学率アップの狙いもある。
- ・ 無報酬で連合活動に参加することに関して、活動参加の動機としては、自分たちにも子どもがいるため活動するのは当然、活動支援しているのはすべての保護者たちであり彼らに奉仕しなくてはいけない、そして連合活動は国が定めるものであるため、国に奉仕するのは当然。

<JICA プロジェクトについて>

- ・ 2008 年に学校運営活動に係る JICA プロジェクトの研修を、保護者代表として受けた。連合のコンセプトは JICA プロジェクトの提案であり、CGDES 能力強化と啓発活動の支援をしてくれた。

<問題>

- ・ ニジェールは貧しい国なので、国家が賄えない分を保護者が CGDES の会費を払って学校運営をしてサポートしているが、当然会費が払えない保護者もおり大変である。
- ・ 2014 年から小学校卒業資格試験が廃止となり、年 3 回の試験結果が 5 / 10 点以上生徒が中等学校へ行く資格があるという制度になった。そのため、以前よりも中等学校へ行ける生徒が増えたが、それを受け入

れるだけの学校がない。

<持続性>

- ・ CGDES活動の継続により生徒の学力向上は可能だと思う。既に活動内で補習授業などを取り入れている。
- ・ 予算については、活動計画を立てるときに、予算に併わせてより現実的で実現可能な計画を立てるので、活動継続という意味では問題ない。
- ・モチベーションとして、成績の良い FCC に対して JICA プロジェクトが何か賞をあげることをやってほしい。例えば、海外での活動紹介など。他の国がニジェールに視察に来ているので、自分たちも行きたい。
- ・ 連合内会議はいつも区役所の会議室を借りているが、連合のための独立した事務所がほしい。学校レベルで問題があったとき、たいてい区役所の教育担当者に連絡がくるが、彼は忙しくて対応できない。連合の事務所があれば学校がいつでもコンタクトをとることができて、コミュニケーションが円滑になる。CGDES 監督官は自分の事務所にすべての書類を保管している。連合も同じように活動関係の書類をいつも手にできるような場所が必要。

(入手資料：連合の活動計画)

日 時	7 月 31 日 (木) 9 時 10 分～10 時 05 分
面会者	Mr. Rissa Seidi ティラベリ州カルマ県視学官
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Rabiou Mahamadou (調整部)、阿部

<基礎情報>

- ・ 2014 年 1 月より現職。視学官としては 10 年。

<質のミニマム・パッケージ>

- ・ ニアメ 5 区の視学官とともにプロジェクトからドリル導入に係る研修を受けた。研修は分かりやすく、モジュールも問題ない。
- ・ ドリルのファシリテータはどこの CGDES も報酬支払はない。全体として 5 割が教員から、5 割が住民から選出されている。
- ・ ドリルは生徒たちにとって大変良い教材。ゲーム感覚で、1 つの練習を終えるとすぐに次の練習に行きたがる。ぜひフランス語も同様の形で開始してほしい。
- ・ ドリル学習のために子どもたちが学校へ行くので、保護者は何をしているのか気になり見に来る。多くの保護者は学習の様子を見て満足している。周辺のコミュンもこの活動を知って、どうしてカルマだけで活動をしているか、自分たちのコミュンでも実施してほしいと良く言われる。

<その他>

- ・ 学校の体制が 10 年前と比べて断然良くなった。昔は規則がなかったため、教員が自分の都合で適当な授業を行っていた。現在は保護者も学校活動に参加するようになり、学校の教育環境も整備され、教員が好きなことができるようになった。
- ・ ドリル計算で子どもの学力向上は可能だと思うが、教員の質という問題は以前と変わらない。学校建設が増え、就学率も向上した今、それに対応する教員養成が全く追いついていない。通常 2 年間の研修を受けて教員資格を取得するが、現在は緊急対応として夏休み中の 45 日間の短期研修を実施し、教員を配置して

いる。ほかによい仕事があればすぐに離職してしまうというケースも多い。教員養成学校の数も全く足りていない。

日 時	7月31日(木) 10時10分～11時05分
面会者	Mr. Moussa Sounna Hamadou カルマ・コミュニケーション フランコアラブ学校教育主事
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Rabiou Mahamadou (調整部)、阿部

<基礎情報>

- ・ 2010年10月より現職。以前はニアメの学校長。

<質のミニマム・パッケージ>

- ・ 2日間の研修を受け、CGDES と連合に研修を実施し、学校へ説明、CGDES で活動実施の承認を得た。次に、ドリルの内容に関する3日間の研修を受け、CGDES と連合に研修実施、住民に説明し、ドリルが到着した翌日には活動が開始された。
- ・ ドリル学習の評価としては、生徒の学力が確実に向上している。またインパクトとして教員の知識向上にもつながっている。
- ・ 住民から選出されたファシリテータは既に多くが活動を辞めている。教員はドリル学習の重要性を理解できるため継続できるが、住民は無報酬と言われて始めたとしても、JICA プロジェクト支援であることから、報酬を期待している。しかし何も出てこないため辞めていく。また、住民は自分たちの生活があり、ボランティアのため活動を強制できない。したがって、ファシリテータは教員に限定することが望ましいと思う。
- ・ モニタリング活動には、JICA プロジェクトから一緒に行くように連絡がくるが、いつも当日の連絡なので対応できず一度も一緒に行ったことがない。3つのコミュニケーションを担当しているので通常業務がある。また、JICA プロジェクトのモニタリングはいつも水曜日の夜のドリル学習時間。水曜日は学校が休みのため、自分の業務である学校訪問もできない。他の曜日に誘ってもらえば、自分の業務と重ねてモニタリングできる。JICA プロジェクトはモニタリング活動をもっと計画的に実施するべき。事前に計画が把握できれば自分も調整可能。
- ・ JICA プロジェクトからの連絡はいつも緊急。来週までドリル学習の評価結果が欲しいと急に言われても、評価実施には学校への連絡や準備が必要ですぐにはできないものではない。こういった連絡は前もって計画的に実行するべき。モニタリングについても、計画性がないため改善するべき。
- ・ モニタリングのためのガソリン代を支援してほしい。予算が割り当てられているといっても、拠出システムが複雑すぎてお金が実際は配分されてこない。
- ・ プロジェクト終了後のドリル活動のモニタリングは、視学官と一緒に継続していくことができる。

日 時	7月31日(木) 11時10分～12時
面会者	Mr. Abdoulaye Hamidou カルマコミュニケーション CGDES 連合会長
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Rabiou Mahamadou (調整部)、阿部

<基礎情報>

- ・ 2006年(当時は COGES Communal) から会長。今回2期目。職業は農業。

<CGDES 連合>

- ・ 20%の CGDES が連合の年会費を支払っていない。貧しい地域では、資金が集まらないため、年間活動計画にも連合の会費が既に組み込まれていない。しかし、市長が協力的で連合総会の費用約 6 割と交通費を負担してくれている。

<質のミニマム・パッケージ>

- ・ ドリルはゲーム感覚で子どもたちが取り組んでいる。
- ・ ファシリテータには仕事をしていない主婦も多く、彼女たちにとっても算数計算の復習となっている。
- ・ ファシリテータ選出の際には、条件として既婚者と決めている。なぜなら独身女性は結婚すると他の土地へ行ってしまうため、活動継続に支障が生じる恐れがあるため。
- ・ ドリル学習は、たいてい夜実施しているので、住民がランプを提供してくれたりする。
- ・ 算数だけでなく、ぜひフランス語も。算数ドリルに名前を書く欄があるが、自分の名前が書けない子どもがいることが目に見えて分かった。
- ・ 活動の持続発展のためには、ファシリテータの選出方法について、きちんとやる気のある人を選出するようにすべての CGDES へ働きかけることが重要。
- ・ プロジェクト終了時にはドリルをいくつか置いていってほしい。それを基にどうやって活動を継続させることができるか、関係者と相談して対応を決める。

日 時	7 月 31 日 (木) 14 時 40 分～15 時 55 分
面会者	Mr. Hamadou Amadou CGDES 代表 (学校長) Mr. Moctar Djibo CGDES 会長
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Rabiou Mahamadou (調整部)、阿部、現地語通訳としてプロジェクトスタッフ

<基礎情報>

- ・ 校長は現職 1 年。その前は同じ学校の副校長、計 2 年。その前はサイ県の学校
- ・ 会長は 2008 年より、現在 2 期目。
- ・ COGES 設立当初数年は、会費代わりに農作物が集められ、それを売って資金にしていた。
- ・ 今年の学校活動計画は、薫ぶき教室 2 つ建設、補習授業。質のミニマム・パッケージは年度の途中で挿入。
- ・ 村には学校が 2 つあり、毎年交代で学校に登録していない子どもを見つけて登録する作業を行っている。そのため入学率は 100%。
- ・ 校長が以前いたサイ県では、CGDES が全く機能していなかったため、それと比較すると現在の学校は素晴らしい。保護者が学校活動を理解し、CGDES が活発に活動している。サイ県では、ブルキナファソ国境であったため、ブルキナファソ人のコミュニティで、ニジェールの学校に行きたがらず、学校建設を拒否することもあった。学校が機能しないのはこうした社会的要因がある。

<質のミニマム・パッケージ>

- ・ ドリル学習によって生徒たちの学習意欲が変わった。以前はテストにいつも大きく 0 点と採点されていた生徒が、ドリルでは 0 点はなくいつも成果を出すことができるので、それが自信につながり、授業でも発言するようになったという例がある。
- ・ テスト結果を住民に公表することで、学校と保護者のコミュニケーションが以前より活発になった。

- ・ ファシリテータへの報酬はないが、ドリル学習の結果に満足した保護者たちがマイスを御礼に渡した。
- ・ 継続性について、技術面では問題ないが、ファシリテータ（教員）から授業時間外に無給でドリル学習業務をすることについてずっと苦情は出ている。かといって辞めた者はまだいない。
- ・ 質のミニマム・パッケージの研修はモジュールはフランス語であるが、現地語で実施された。会長は研修を受けながらノートをとることはできないが、重要な部分のみ研修中に理解することができた。

日 時	7月31日（木）16時15分～16時25分
面会者	Mme Awa Seymi, アシスタント業務調整、EPT
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部

- ・ フェーズ2開始時の2007年からプロジェクトに従事。昨年までは秘書であったが、現在はアシスタント業務調整となり、会計役も務めている。責任ある仕事に昇格できて楽しい。
- ・ プロジェクト内及びCGDES調整部との関係は良好。業務上特段問題はない。

日 時	7月31日（木）16時26分～18時
面会者	岩田専門家（業務調整／研修管理）
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部

<基礎情報>

- ・ 2014年1月より赴任。前職はコンゴ民のプロジェクトで業務調整。

<供与機材について>

- ・ フランス事務所から経理の方が来られた時に、供与機材は購入してすぐにC/P側へ渡すことが決まりとなっている、と指導を受け、急遽プロジェクトで購入した資機材をリストにしてC/Pにサインを求めたところ、彼らの事務所に入るものではないため拒否された。
- ・ 事務所拡張工事をした際にSMASSEで使用していた古い機材も供与。
- ・ フェーズ2で使用していたPC4台が事務所内で使われずにしまわれていたため、中身を一新して調整部へ渡そうとしたところ、これまでの経緯もあり拒否。
- ・ その後、調整部から購入してほしい事務機器のリストが送られてきて、保留。

<プロジェクト実施体制>

- ・ スタッフ会議は平均して2週間に1回の割合で、本部の原チーフアドバイザーと電話会議実施。主に個々の活動についての報告・議論。プロジェクトスタッフも出席のためすべて仏語で実施。毎週金曜日に専門家3名で翌週の活動についての確認を行う。
- ・ プロジェクト活動の年間計画が必要だと思う。大きな会議開催が3週間前に決まり、準備が大変であった。
- ・ 業務調整／研修管理というタイトルであるが、研修管理について業務指示がないため現在は特に活動には直接かかわっていない。また、赴任した際に羽田野専門家が業務調整からモニタリング担当になるという話が本人に伝わっていなかった。

<プロジェクト活動>

- ・ 以前従事していたプロジェクトでは、PDM のアクションプランを毎日確認して活動を行っていた。PDM は仏語・英語にするとニュアンスも変わるため、日本語 PDM があるとよいと思う。
- ・ 会議準備のためのシュミレーションなど、プロジェクト事務所で行うため、調整部の人にその都度謝金を払っている。停電の問題や事務所環境の問題があるため。
- ・ 技術移転については、調整部の人たちは何がしたいか一度じっくり話し合う機会をもつのが良いかもしれない。

日 時	8月1日(金) 9時~10時 20分
面会者	Mr. Issoufou Amadou サイ県 CGDES 監督官 (PFD)
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Sandi Mahamadou (調整部)、阿部

<基礎情報>

- ・ 2007年より現職。

<CGDES 活動>

- ・ CGDES 連合の設置はとてもよかった。なぜなら以前は PFD が直接すべての学校の CGDES 活動の面倒をみなくてはならず、大変だった。今は活動計画総括表の回収などを連合が行うので、PFD は連合を支援する立場となった。
- ・ 現在の CGDES 活動は教育の質の向上に重点をおいていることから、学校長も以前よりも興味を示し活動が活発になっている。
- ・ 2014年の CGDES 活動総括表提出率は94%。13の小学校からの提出がないが、これは学校長のやる気の問題であり、100%は難しい。
- ・ CGDES 設立以前は、政府が勝手に学校建設を決めて、コミュニティに学校が必要かどうか、どの場所に建設するのが効果的かなどの相談は一切なかった。現在はコミュニティが自分たちで必要なものを決める体制とり、学校はコミュニティのものという意識が完全に醸成された。
- ・ 毎年、新学期開始時には政府から教科書や文房具などの配布があるが、毎年1カ月ほど配布が遅れ、10月に授業を開始することができなかった。そのため年間の授業時間数も満たすことができなかった。現在は、そのギャップを埋めるために CGDES で文房具などを購入し、確実に10月1日に授業を開始できる体制となっている。住民参加のお陰である。
- ・ JICA プロジェクトのよいところは、研修がすべての関係者に平等に実施されること。このことが CGDES 活動の成果につながっていると思う。
- ・ EPT フェーズ1の際には、学校長が代わった時はその都度学校活動計画に係る研修を実施するということがあったが、JICA プロジェクトが終わり、それが止まってしまった。それが、2014年から国家予算でこの研修予算があり、当時の JICA のモジュールを使って研修を実施した。その際には JICA の支援なしで自分は研修を実施することができた。

<リソース運営管理>

- ・ 以前は学校長が1人で予算管理をしていたが、CGDES ができて以来住民がそれを監視するようになったことは大きな進歩。現プロジェクトで更にリソース運営管理の研修を受けたが、それは物品購入した際の

レシートの管理など、更なる透明性向上のための手法を学んだ。また、予算管理においては、住民と学校長は同等の立場であるということが浸透した。

- ・ 銀行口座の開設は資金管理にとってもよい。口座開設及び出金をする場合には、必ず CGDES 代表 3 名と一緒に銀行へ行くことになっている。その際に、ID カードが必要となる。それまで住民は ID カードの存在を知らなかったため、住民集会でその存在を知った住民も皆 ID カードを持つようになった。同様の例では、学校へ行くためには出生証明書が必要であるが、皆が学校へ行くようになったことで、現在は皆出生証明を持つようになり、こうした地方行政の住民管理という側面においてインパクトがある。

<補助金>

- ・ 5つのコミュニティのうち、1つの市長のみ CGDES 活動資金に協力しており、資金調達が困難であった。そのため、補助金の導入により、より多くの活動が実施できるようになった。他方で、補助金供与を知った保護者が、これまで支払っていた年会費を払いたくないという事態も発生。補助金は年会費をカバーするものではなく、CGDES 活動を補助するものであり、年会費が集まらない CGDES には補助金が配分されない旨説明したら理解してくれた。

<問題>

- ・ 自分は質のミニマム・パッケージ活動地域の担当者であるが、モニタリング活動に JICA プロジェクトが声をかけてくれない。研修は彼が実施した。調整部にこのことは相談済み。
- ・ 活動の効率性のためにパソコン供与とその研修を実施してほしい。

日 時	8月1日(金) 10時25分～11時20分
面会者	Mr. Yaye Amadou Hossane トロディ 視学官
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Sandi Mahamadou (調整部)、阿部

<基礎情報>

- ・ 現職3年間。2001年ごろに教育主事だったとき、JOCVと一緒に活動をしたことがある。とても楽しかった。

<CGDES 活動>

- ・ フェーズ2の時には、JICA プロジェクトと一緒に毎月 CGDES 活動の会議を、州教育教務所長、CGDES 担当官、視学官が皆で集まって実施していた。プロジェクトが終わって、その会議もなくなってしまって残念。また再開してほしい。自分たちでできない理由は予算がないため。

<補助金供与・リソース運営管理>

- ・ 研修はシミュレーションを交えた手法がとても分かりやすくよかった。
- ・ モニタリング活動では、プロジェクト事務所がいつも連絡をくれて CGDES 監督官と連携しながら行っている。情報共有も、会議などの議事録は必ず送ってもらい、円滑に行われている。
- ・ 銀行口座開設は、資金管理のセキュリティの問題が解決された。問題は銀行が遠いことであるが、今度トロディに支店が置かれることになったため、便利になると思う。
- ・ 現在は補助金が JICA プロジェクトから供与されているため、経理関係書類がすべて JICA プロジェクト

事務所にあり、自分が見たい時に見られない。どのように経理書類を管理しているのか、国家予算で補助金が配分されたときには自分たちで管理する必要があるので、その点について研修を行ってほしい。

- ・ 補助金供与は助かっている。補助金による補習授業の実施によって生徒の学力向上は可能だと思う。夜の補習授業のためにランプを購入し、皆協力している。

<持続性>

- ・ パイロット地域になったところは、活動は必ず継続する。なぜならプロジェクトが直接介入するため技術が定着する。フェーズ1ではタウア州が COGES 設立のパイロットであったが、その後もタウア州のパフォーマンスはいつも大変よい。したがって、自分の地域も 100%継続する。

<問題>

- ・ 教員の質について、補習授業のやり方が分からない教員が多い。生徒の弱点を見つけられず、その部分の補習をすればあるべき学力に追いつくのが分からないということ。しかしこの問題は、それ以前に、45日間の短い研修しか受けていない教員が多すぎることも問題。

日 時	8月1日(金) 11時25分～12時25分
面会者	Mr. Boubakar Kindo トロディ CGDES 連合会長 Mr. Salou Mama トロディ CGDES 秘書
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Sandi Mahamadou (調整部)、阿部、現地語の通訳にプロジェクトスタッフ

<基礎情報>

- ・ 2人とも 2009年より、2期目。
- ・ 118の CGDES があり、87 CGDES が会費支払。支払いのない学校は、地理的にアクセスが大変不便なため。
- ・ 資金が不足しているので、20万 Fcfa の支援を市長に依頼したが、2万 Fcfa しかこなかった。そのため、モニタリングに係る総会は実施できているが、連合メンバーが学校視察をするための資金はない。

<プロジェクトについて>

- ・ JICA プロジェクトが入ってから、学校ができて、授業ができる環境が整備され、住民も学校に興味をもつようになった。今後もずっと JICA にいてほしい。
- ・ 住民集会の場で学校のことを話し合うという方法がとてもよい。以前は、校長が村長に対して学校を作るように言っただけであった。今は住民が参加して、何が必要か話し合い、そのためにはいくら金額が必要なのかも分かるようになった。
- ・ 学校を途中で辞めた生徒も、学校の良さがわかり、戻ってくるケースも多かった。そのため就学率は改善した。

<補助金供与・リソース運営管理>

- ・ とても助かっている。しかし JICA プロジェクトが終わってしまった後が心配。
- ・ 補助金の活用や管理に関して、自分たちの地域では継続性については問題ない。しかし、これが全国に普及するまで JICA にいてほしい。

<問題>

- ・ 連合活動の書類管理に関して。パソコンで効率的にしたい。書類保管の場所もない。
- ・ 前の市長は連合のための土地を与えてくると約束したが、今の市長は協力的でない。土地を与えるという話は現在も進行中ではある。これが叶ったらそこに連合事務所を作る予定。
- ・ 補助金の使途に関して、補習授業を行う教員に対してモチベーションを上げるために交通費の支払いをしてあげたい。現在の補助金ではこの支出は許されていないが、特にアクセスが悪いところへ行って補習授業をする教員のために、これを可能にしてほしい。

日 時	8月1日(金) 14時40分～15時30分
面会者	Mr. Soumaila Zokou トロディ県内の学校長 Mr. Soumana Boukari 同校 CGDES 会長
場 所	プロジェクト事務所
団 員	Mr. Sandi Mahamadou (調整部)、阿部、現地語の通訳にプロジェクトスタッフ

<基礎情報>

- ・ 校長は2011年に赴任。会長は2011年より。2015年に次回の会長選挙を実施予定。

<補助金・リソース運営管理>

- ・ リソース運営管理は、物品購入の金額まで目に見えるようになったことがよい。
- ・ CGDES 年会費は2011年は100%集まったが、2014年は80%であった。理由は、補助金供与のため。この問題をCGDES 連合会議で相談したところ、他の学校でも同じ問題が起こっていた。皆で相談し、2015年からは補助金の位置づけを明確に説明し、啓発活動を行うことになった。
- ・ 補助金のお陰で、以前は補習授業を1学年だけしか実施していなかったものを全学年で実施できるようになった。
- ・ 銀行口座開設はとてもよかった。現金管理ではセキュリティの問題があった。
- ・ 継続性については問題ない。JICA プロジェクトが終わっても国の制度としてあれば、自分たちで学校運営の活動ができる。住民も学校に対する意識が高いので問題ない。会長は、校長が代わった場合、新校長に研修を実施することができる。
- ・ 活動のモチベーションとして、CGDES 活動の成績がよい学校に対して賞状を与えては如何か。ニジェールではこれは大変有効。

<問題>

- ・ CGDES の予算で毎年藁ぶき教室を作っているが、これは1年しかもたないので効率が悪い。ぜひ学校建設をお願いしたい。

日 時	8月1日(金) 16時～18時
面会者	影山専門家
場 所	プロジェクト事務所
団 員	阿部

<プロジェクト体制>

- ・ プロジェクト事務所と調整部が離れているため、頻繁なコミュニケーションでそこはカバーしている。会

議内容や重要な情報についてもメールなどで関係者すべてに共有。

- ・ 調整部への技術移転については、彼らも通常業務があるため忙しいが、このフェーズではプロジェクトの立ち上げと調整部の設置がほぼ同時期であったため、可能な限り一緒に活動していきたいと思っている。そのために、事務所スタッフも教育省に顔が利く人材を選び、効率的な活動ができる体制とした。

<技術移転>

(調整部が技術移転があまりされていないという点に関して)

- ・ 例えば、補助金活動では、モジュール作成、研修、モニタリングと一連の活動を一緒に実施している。何をもって技術移転というのか。プロジェクト活動のなかでどの部分に時間を割いて技術移転してほしいのか、彼らのなかで明確でないところもある。きちんとその点について話し合っ、彼らが必要とすることを見極めていく必要がある
- ・ 他ドナーの活動の多くは既に整備された CGDES を活用したプロジェクトを実施している。その CGDES の基礎を整備してきたのは EPT であり、次は調整部がその CGDES の基礎を揺るぎないものに固めていくことが必要。現プロジェクトではそのための活動を組み込んでいく必要がある。しかし、その基礎の部分よりも、他ドナー支援の活動に調整部が振り回されているのが現状（日当などの関係）。
- ・ とはいえ、プロジェクト月例会には毎月皆出席し、活動についての議論に積極的に参加している。
- ・ これまでのフェーズ 1、2 で確立した CGDES に関しても、出来上がって制度化されたものについては自分たちのものであると認識している。

(調整部の年間計画策定の支援を依頼されプロジェクトで実施した記録があるが、具体的にどういった支援をしたか)

- ・ 実際にこの 2 年間、支援してほしいと依頼があり、一緒に話し合いながら計画を策定した。最近では 2015 年の計画を急に作成するように言われた調整部が、プロジェクトに確認したいことがあり電話してきた。もし、調整部側が計画策定能力強化を望むのであれば、ぜひ支援したい。

<プロジェクト活動予算の先方負担>

- ・ 見返り資金をニジュール側の予算という言い方をすれば、先方負担されている。見返り資金では、
CGDES 調整部モニタリング費及び事務所維持費
州教育事務局長モニタリング費
州 CGDES 監督官月例会開催費、モニタリング費、監督官の事務所維持費
- ・ 上記の予算が、2013 年から国家予算に計上されたものである。ただし、州教育事務所のモニタリング費については、州教育事務所へ別途予算がついているために、外された。
- ・ 2015 年の国家予算には年 2 回開催している経験共有セミナーの予算も組み込むように調整部が取り組んでおり、これが実現すれば、国家予算で CGDES モニタリングに係るすべてがカバーされる体制となる。

<フォーラム・アプローチ>

- ・ プロジェクト活動当初の計画では、現在、実施中の質のミニマム・パッケージやリソース運営管理などの活動中の質の向上をめざす部分について、フォーラムを介して全体に広げるという構想であった。なぜなら現プロジェクトは全国を対象としており、全国に活動を広げるためにはこのフォーラムが有効的である。さらにフォーラム・アプローチは、CGDES を最大限に活用するもの。CGDES の強みは中央から学校レベルまでのネットワークであり、その体制は多くの可能性を秘めている。

- ・現在はタウア州のみで活動実施中であるが、その理由は質のミニマム・パッケージやリソース運営管理の活動がまだ拡大できる準備ができていないこと、またフェーズ2での教訓のように、フォーラムは一時的な効果は大きいですが、継続性の問題が残っており、現在のフォーラム・アプローチは全国展開に耐え得る構造ではない。そのために、自立発展する全国展開可能なモデルをまずは構築する必要があるとして、活動の計画が変更された。

<遅れている活動は>

- ・CGDES モニタリングの活動が、調整部への移転プロセスという点において遅れをとっている。原因としては、担当専門家の任期短縮や、業務調整と兼任のため活動に専念できない体制があったことなどが挙げられる。現在担当の羽田野専門家の任期は残り数カ月であるが、その後はプロジェクトスタッフが役割を担っていく予定。
- ・州事務局長などの交代があったが、プロジェクト活動を介してその都度個別にプロジェクト活動の説明を行い活動に巻き込んでいる。交代による活動への問題は特に発生していない。

<パイロット活動対象地区の選定>

- ・パイロット活動はより集中的なモニタリングを必要とするため、アクセスを重視している。安全管理上の移動制限もある。また他ドナーの介入状況も調べ、他の活動に影響されないように配慮した。

日 時	8月4日(月) 9時~10時20分
面会者	Mr. Ousséini Mahamane Rabiou 内務国家安全分権化省 地方分権化局長
場 所	内務国家安全分権化省 地方分権化局
団 員	Mr. Sandi Mahamadou (調整部)、青木 (JICA ニジェール支所)、JICA プロジェクト事務所ナショナルスタッフ、西山、阿部

<地方分権化の動きについて>

- ・2014年3月に地方自治体に対する補助金配分に係る省令が発令。2008年に設置された国立地方自治体財政機関 (Agence National de Finance de Collectivité Territoriale : ANFICT) が地方自治体への補助金調整を担当し、また自治体の運営管理強化のために、補助金の使途について監視を行う。ウエモア (Union Economic des Etats de l'Afrique de l'ouest) のリソース管理に基づいて会計監査員を国から派遣する。
- ・補助金の配分は次の指標を基に毎年決定される。人口、土地面積、既存の資機材、住民税徴収のパフォーマンス、資機材調達に地理的困難さ、鉱山や石油資源保有による収入、ドナーなどの外部資金援助、分権化支援 (accès aux ressources de la coopération décentralisée)。これら8つの指標を基に、各地方自治体に点数づけをし、平等な配分を図る。今後、この指標に係るガイドラインを策定予定。
- ・補助金は自治体運営費、指揮監督機関 (les organes dirigeants) の運営費、最低限の人件費、そしてすべての能力移転にかかる費用をカバーするものである。
- ・2014年の教育分野への割り当ては30億 Fcfa。
- ・教育省、保健省、環境省、水衛生省の4つの省で地方分権化を進めていく予定。これら各省に地方分権化の担当を設置済みで、今後各分野について何を地方自治体へ委譲していくか話し合っていく。2014年9月に、首相、内務大臣など閣僚会議を予定しており、3~4年間の権限移譲活動計画を作成、執行する。その後毎年1回中間報告会を行う。
- ・分権化に係るドナー支援はすべて ANFICT と協定を結ぶことになっている。この機関を構成するのは12

名で、8名は地方自治体の代表、4名は州議会議員の代表。

- ・ 現在全国に 255 のコミューンがあり、うち 214 が Rural、37Urban、4 はニアメなどの特別行政区。
- ・ 基礎教育はコミューン、中等教育は州に属する。コミューン議会と州議会は互いに独立している。

日 時	8月5日(火) 10時20分～12時15分
面会者	Mr. Tahirou Elhadji Moussa CGDES 調整部部長、他部員
場 所	CGDES 調整部
団 員	松崎瑞樹 (JICA 人間開発部基礎教育第二課主任調査役)、青木、JICA 事務所ナショナルスタッフ、西山、阿部

<データ収集・処理の研修>

- ・ プロジェクトによるエクセルの研修は調整部で3回実施済み。今後継続予定。

<フォーラム・アプローチ>

- ・ セネガルでのセミナーに調整部より4名参加し、継続するフォーラム・モデルの事例を学んだ。その後、タウア州にてフォーラムを実施し、今後2回の実施を通じてモデル開発を実施する。
- ・ 過去の経験では、フォーラム・アプローチにより女子就学率向上をめざしたが、すべての子どもが就学すると学校がパンク状態となり、学校側の受入れ態勢の問題により失敗した。また、フォーラム実施後のモニタリング体制が十分でなく、コミューンに任せきりになってしまったことも失敗の要因。

<教育の質問題>

- ・ 補習授業数が増加している一方で、教材がないため、「質のミニマム・パッケージ」の算数ドリルの導入はよい。日本では算数教育に重点をおいているが、ニジェールではフランス語の優先順位が高いため、フランス語ドリルも必要。
- ・ 2015年より5つの現地語を試験的に500校のカリキュラムへ導入予定。現地語の導入により保護者や住民も学校活動をより理解できるようになる。成人識字率も低いことから、現地語の教科書があれば保護者が自宅で子どもの学習モニタリングが可能となる。このプロジェクトはGTZの協力による教科書作成と、試行導入は国家予算による。
- ・ 補助金供与アプローチには期待を抱いており、今後継続する制度化が望ましい。CGDES活動の分担金を支払うのは保護者であり、その多くは農業を営んでいる。農業収入は天候に大きく左右されるため、CGDES分担金を支払えないこともある。

<その他>

- ・ 以前のニジェールの学校は、植民地学校 (Ecole Coloniale) で住民にとっては外国のような存在であった。そして学校は国家公務員になる人材を輩出する機関という概念しかなかった。今後は、職業訓練校のような技術的な知識を習得して自ら雇用を創出し、地域の発展に寄与する人材を輩出できるとよい。

日 時	8月6日(水) 15時30分～16時10分
面会者	Mme. Cynthia Mela フランス開発庁 担当
場 所	フランス開発庁
団 員	青木、JICA 事務所ナショナルスタッフ、阿部

<実施中のプロジェクトについて>

- ・ GPE と共同出資によるプロジェクトが 2013 年 12 月より 4 年間の予定で開始。世銀はプロジェクト実施のスーパーバイズ。出資金額は AFD は 1,200 万ユーロ、GPE は 800 万ユーロ。
- ・ ニジェールの教育政策 10 年計画の内容に沿って、教育のアクセス、質、インフラ整備の 3 つのコンポーネントを支援する。インフラについては、2,000 の教室を建設予定（うち中等学校は 200）。
- ・ アクセスは、CGDES 支援、学校給食、補助金供与、そして女子就学。女子就学はユニセフと同じ早婚に係る啓発活動と女子就学のためのホストファミリー提供の活動をティラベリ州にて実施。ユニセフモジュールを活用予定。COGES 支援の補助金供与については、JICA プロジェクトの Ali さんと既に何度か会合しており、EPT で開発したモジュールを採用する予定。政府側が万が一採用を断ったとしても、EPT モジュールをベースとする。

<実施予定プロジェクト>

- ・ 教員の質向上のために、GTZ と共同で教員のデータベースを作成する予定。これにより、教員の研修受講履歴などが分かるようになる。

日 時	8 月 6 日（水）9 時 00 分～10 時 00 分
面会者	スイス協力庁 Mr. Philippe Fayet 現地事務所長、Mr. Stefano Berti 担当
場 所	スイス協力庁事務所
団 員	青木、JICA 事務所ナショナルスタッフ、原チーフアドバイザー、松崎

スイス協力庁は PDDE のチェアをしており、ニジェールの教育セクターにおける開発パートナーの中心的な役割を担っている。主な意見交換の内容は以下のとおり。

- ・ 省庁再編もあり政府側はかなり混乱している状況ではあるが、関係者間で連携していく必要がある。
- ・ 特に、GPE について Afd のファンドが入っているが、調整委員会をしっかりと機能させていく必要がある。
- ・ ニジェール政府側による包括的なビジョンが明確でないなか、開発パートナー側も事業を実施する場合は、調整・協力を行う必要があるため、JICA にも協力願いたい。
- ・ CGDES に関連する活動においては、中央と地方、特に地方自治体（市長）とコミューンなどでの考え方にギャップがあるように見受けられるため、注視していく必要があると認識している。
- ・ スイス協力庁も EU との合同プログラムを 2016 年から実施予定。優先順位を明確にして事業内容を検討していく予定なので、今後共有させていただきたい。
- ・ PDDE のバスケットファンドが機能していない。おそらく世銀による財政ルールにより機能させる必要があるが、効果的に資金が活用されるようオペレーションを確認する必要がある。

今回の JICA のプロジェクトでの進捗については、ぜひプロジェクトでの CGDES や連合での活動状況を共有したい。今後、経験共有セミナーなど関連する活動にも参加いただきたいので招待状を送付する予定。ぜひ、今後もより活発な情報交換を推進していきたい旨、先方に説明を行った。

日 時	8 月 6 日（水）11 時 15 分～12 時 10 分
面会者	ユニセフ事務所 Ms. Trapsida Ramatou 担当他、3 名
場 所	ユニセフ事務所
団 員	青木、JICA 事務所ナショナルスタッフ、原チーフアドバイザー、松崎

<実施中のプロジェクトについて>

教育分野に関して、以下の主要プログラムを実施中である。

- ・ 幼児教育から中等教育のアクセス向上（特に女子教育）
- ・ インクルーシブ/ノンフォーマル教育

「Child Friendly School」では Equity と Quality に焦点をあて事業を実施しており、CGDES 活動もその一環で実施されている。主な情報共有の内容は以下のとおり。

- ・ 事業を実施するうえで、現地のローカル人材の活用は不可欠であり働きかけを行っていききたい。
- ・ JICA とも連携の可能性があれば、前向きに検討したい。

JICA プロジェクトが主催する経験共有セミナーなどにも既に参加いただいていると思うが、今後も引き続き情報共有や意見交換をさせていただき、より有機的な連携を行いたい旨、先方に説明を行った。

日 時	2014 年 8 月 7 日 11 時～12 時 30 分
面会者	Mr. Mohamed Moussa タウア州教育事務所所長 Mr. Fakaria Seyboue タウア州 CGDES 監督官
場 所	アフリカホール
団 員	松崎、阿部、影山専門家（通訳）

<フォーラム・アプローチ実施体制>

- ・ フォーラム執行委員会の構成、州知事、教育事務所長、県知事代表、市長代表、FCC 代表、視学官代表、州 CGDES 監督官。
- ・ テーマ選定の際にまず州の教育課題について話し合い、今回は女子就学をめざすことに決定。その後、州教育フォーラムを開催。参加者は、学校長、各 FCC 代表、前市長、県知事、伝統的リーダー、視学官、国会議員、教育省から 5 名、関係ドナー。各参加者がフォーラムにて担当活動の誓約をする。
- ・ その後、各コミュニケーションにて FCC とコミュニケーション連絡協議会（CACOCOM）を設置（この設置に係る研修も実施。州及び県 CGDES 監督官がプロジェクトより講師研修を受講）。協議会開催後、市長は市議会にて、視学官は指導主事へそれぞれ協議内容の報告。CGDES 連合総会、CGDES 住民集会を通じて、州教育フォーラムの内容が伝達され、各 CGDES が活動を実施。モニタリングは CACOCOM を通じて活動実施状況について報告する。

<フォーラムの継続性>

- ・ 地域のニーズに合ったテーマを設定することが重要。
- ・ 以前はフォーラム実施後のモニタリング体制がなかったことが失敗要因。今回は、フォーラム執行委員会及び CACOCOM という 2 つの委員会の設置により、モニタリングを実施。特に CACOCOM は各コミュニケーションにあることから競争心も生まれる。また、CACOCOM メンバーはボランティアであり、会議参加のための交通費が生じないように、コミュニケーションの中心に住む人を選ぶことで、財政面での継続性を担保している。
- ・ 2 つの委員会は既に州及び市からの公式文書により公式化されている。財政面では、今後各アクターが各レベルで年間活動計画作成時にフォーラム実施を組み込むことで、予算化が期待される。
- ・ 2015 年に予定されている 3 回目フォーラムは自分たちで実施する予定であるが、フォーラムの組織的な面が確立されていないことから、プロジェクトの支援が必要と認識。プロジェクト終了後の継続性は、各アクターの意識とやる気（engagement）にかかっている。

日 時	2014年8月13日(水)
面会者	ニアメ市第24中等学校(プロジェクトのパイロット校)校長及び教員、 COGES 会長
場 所	ニアメ市第24中等学校
団 員	橘秀治(JICA 人間開発部基礎教育第二課課長)、松崎、西山、影山、Mr. Ali、阿部

<COGES 活動>

- ・これまでの活動：
 - 藁ぶき教室の建設(政府からの教室建設が新学期に間に合わないため、COGES で対応)
 - 黒板などの修理
 - 模擬試験のコピー代
 - 文化・スポーツ活動
 - 学校の警備員雇用(25,000Fcf/月)
- ・分担金は1人当たり2,000Fcfであるが、家庭の経済的理由により回収が困難である。今年の回収率は約5割。未払いの生徒には成績表を渡さないと言っているが、実施は渡している。
- ・プロジェクトの介入により COGES メンバーは民主的選挙で選出されたが(17名)、会長以外誰も会議に出席しない。
- ・10%の COGES 資金を生徒の活動のために配分するように生徒から要求があり、計画にない抛出であっても、要望に応じないと生徒がボイコットするので、配分している。

日 時	2014年8月13日(水)
面会者	ニアメ市第35中等学校 校長、教員、COGES 会長、副会長
場 所	ニアメ市第35中学校
団 員	橘団長、松崎、西山、影山専門家、Mr. Ali、阿部

<基本情報>

- ・2009年設立。校長は初代。
- ・2009年には生徒122名、教員7名。2014年は生徒1295名、教員58名。

<COGES 活動>

- ・23教室があり、すべて藁ぶき教室で毎年建て替える。市からの支援であるが、毎年市の対応が遅く新学期に間に合わないため、市支援の残った藁で COGES が建てる。
- ・COGES メンバーは9名。民主的選挙で選出された。
- ・COGES 活動は：
 - 新学期前の教室建設
 - 修理すべき設備の確認作業
 - 試験用紙、宿題、練習問題などのコピー代、模擬試験のコピー代
 - 資機材運送費
 - 学校の警備員雇用
- ・COGES 分担金回収率は6割。1人2,000Fcf。4割は経済的理由による未払いや、時々生徒が親から預かった分担金を他の用途に遣ってしまうこともあった。COGES 資金不足のため、コピー代を借金している状態。

- ・ 今後、補習授業の重要性を啓発していく必要がある。また不良生徒の保護者を呼んで学校側と話し合うなどの対策が必要。問題が発生した場合の、学校と行政の連携も強化したい。
- ・ EPT プロジェクト介入により試験合格率が 60%になったが、その後プロジェクト活動中断に伴い、補習授業もなくなり、合格率が下がった。
- ・ 現在すべての教室が藁ぶきであり、学校側の受入れ態勢が整備されていない。生徒も学校に来なくなり教育を受けられないことは問題であり、心が痛い。ぜひ学校建設をしてほしい。また、以前の SMASSE プロジェクトの教員研修を再開してほしい。

COMPTE RENDU DES DISCUSSIONS
ENTRE
LA MISSION JAPONAISE DE LA REVUE A MI-PARCOURS
ET
LES AUTORITES CONCERNEES DE LA REPUBLIQUE DU NIGER
SUR
LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE POUR LE PROJET « ECOLE
POUR TOUS ; PROJET D'APPUI AU DEVELOPPEMENT DE L'EDUCATION
A TRAVERS LA PARTICIPATION COMMUNAUTAIRE AU NIGER »

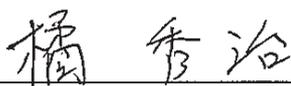
La Mission Japonaise de la Revue à Mi-parcours (ci-après désignée « la Mission ») de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale dirigée par M. Hideharu Tachibana, a séjourné en République du Niger du 28 juillet au 13 août 2014 pour la Revue à Mi-parcours du Projet « Ecole Pour Tous ; Projet d'Appui au Développement de l'Education à travers la participation communautaire » (ci-après désigné « le Projet »).

Au cours de son séjour au Niger, la Mission et les autorités compétentes nigériennes (ci-après désignées 'la partie Nigérienne') ont tenu une série de discussions et conjointement procédé à l'évaluation des réalisations du Projet et à un échange de vues pour une future amélioration de la mise en œuvre du Projet.

Comme résultats des discussions, les deux parties se sont mises d'accord sur les termes du document en annexe.

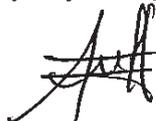
Dans ce rapport conjoint, le Ministère de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique et le Ministère des Enseignements Secondaires prennent en charge les volets qui relèvent de leurs compétences respectives.

Niamey, le 12 août 2014



M. Hideharu TACHIBANA
Chef
Mission Japonaise de la Revue à
Mi-parcours, Agence Japonaise
Coopération Internationale
Japon

Dr. Abouzeidi DANMAZA
Secrétaire Général,
Ministère de l'Enseignement
Primaire, de l'Alphabétisation,
de la Promotion des Langues
Nationales et de l'Education
Civique
République du Niger



M. Elhadji BOUBE Mamane
Secrétaire Général,
Ministère des Enseignements
Secondaires
République du Niger



LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE POUR LE PROJET « ECOLE POUR
TOUS ; D'APPUI AU DEVELOPPEMENT DE L'EDUCATION A TRAVERS
PARTICIPATION COMMUNAUTAIRE AU NIGER »
RAPPORT CONJOINT D'EVALUATION

SIGLES ET ABRÉVIATIONS

AFD	Agence Française de Développement
AG	Assemblée Générale
AG FCC	Assemblée Générale de la FCC
BM	Banque Mondiale
CACOCOM	Cadre de Concertation Communal
C/CGDES	Coordination des Comités de Gestion Décentralisée des Etablissements Scolaires
CERF	Comité Exécutif Régional du Forum
CFEPD	Certificat de Fin d'Etudes du Premier Degré
CGDES	Comité de Gestion de Décentralisation d'Etablissements Scolaires
CNP/COGES	Cellule Nationale de Promotion des COGES
COGES	Comité de Gestion des Etablissements Scolaires
CP	Conseiller Pédagogique
C/P des COGES	Cellule de Promotion des COGES
C/R	Compte Rendu
DDEP	Direction Départementale de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique
DEP	Direction des Etudes et de la Programmation
DFI	Division de la Formation et des Innovations
DGR/PLN/EC	Direction Générale de la Réforme, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique
DGS	Direction Générale de la Scolarisation
DPCI	Division du Partenariat et de la Coordination des Interventions
DREP	Direction Régionale de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique
FACE	Forum par l'Approche Communautaire pour l'Education
FCC	Fédération Communale des CGDES
IEB	Inspection d'Enseignement de Base 1
JICA	Agence japonaise de coopération internationale
MEP/A/PLN/EC	Ministère de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique
MES	Ministère des Enseignements Secondaires
ONG	Organisation Non-Gouvernementale

OCDE/CAD	Organisation de Coopération et de Développement Economique / Direction de la Coopération pour le Développement
PA	Plan d'actions de l'école
PAAQ	Plan d'actions axé sur la qualité
PDC	Plan de Développement Communal
PDM	Project Design Matrix (Cadre Logique du Projet)
PDDE	Programme décennal de développement de l'éducation
PFD	Point focal départemental CGDES
PFR	Point focal régional CGDES
PMAQ	Paquet Minimum Axé sur la Qualité
PME	Partenariat Mondial pour l'Education
PO	Plan d'Opération
EPT	Ecole Pour Tous
PSEF	Programme sectoriel de l'éducation et de la formation
PTF	Partenaire Technique et Financier
SCOFI	Scolarisation des jeunes filles
SG	Secrétaire Général
TICAD	Tokyo International Conference for African Development

1 Introduction

1-1 Contexte

La JICA a initié le Projet d'appui à l'amélioration de la gestion des établissements scolaires à travers la participation communautaire (Ecole pour tous) Phase I pour contribuer à la mise en place d'un modèle fonctionnel de Comité de Gestion des Etablissements Scolaires (COGES) dont l'appellation a changé en CGDES des Comités de Gestion Décentralisé des Etablissements Scolaires (CGDES) au Niger, et la Phase 2 du Projet a consisté à vulgariser le modèle dans l'ensemble du pays. Par conséquent, les activités d'amélioration de l'éducation sont maintenant menées à travers les CGDES dans toutes les écoles primaires du pays. Les CGDES jouent un rôle important dans l'amélioration de la gestion des établissements scolaires. Ils mènent diverses activités pour contribuer à l'amélioration de l'éducation : élaborer et exécuter des plans d'actions de l'école ; assurer des heures de classes avec les cours supplémentaires de renforcement, et améliorer les installations grâce à la mobilisation des ressources communautaires. Les efforts des CGDES ont commencé à produire certains résultats positifs tels que l'augmentation du taux de réussite de l'examen final. Cependant, le taux d'efficacité interne demeure encore très faible (le nombre des personnes sortant instruites n'atteignant pas la hauteur des investissements dans l'éducation). Aussi, les taux d'abandon et de redoublement élevés et le problème de qualité de l'éducation restent encore à régler. Cette situation s'explique par les raisons suivantes : le problème de qualité des enseignants, les heures de classes insuffisantes, le problème de la gestion du système éducatif, la disponibilité des ressources (budget, matériels ou équipements) extrêmement limitées dans les écoles et accentuée par une décentralisation non encore effective en termes de transferts de ressource nécessaires au développement de l'éducation. Un nombre important de problèmes demeurent donc à résoudre dans le secteur de l'éducation.

Dans ce contexte, le gouvernement du Niger a soumis une requête au gouvernement du Japon pour améliorer davantage la qualité et l'accès à l'éducation. La requête a consisté en un projet qui a pour but d'augmenter des ressources utilisables par les écoles avant la Phase 2, à travers les CGDES mis en place dans tout le pays, et instaurer un système de renforcement des capacités des CGDES pour une bonne utilisation de ces ressources. En réponse à la requête, le Projet a démarré en mai 2012 pour prendre fin en mai 2016. Actuellement, 3 experts à long terme travaillent sur place, respectivement dans les domaines du renforcement des capacités des CGDES, du suivi des activités de CGDES, et la coordination du projet.

Pour le développement de l'éducation au Niger, le Projet s'est fixé pour but d'améliorer la qualité et l'accès à l'éducation de base à travers la gestion des

établissements scolaires basée sur la participation communautaire en renforçant le rôle et les capacités des CGDES en gestion scolaire.

Pour ce faire, différentes activités sont en cours : la mise en place d'un système durable d'exécution des activités de CGDES, la gestion des ressources et l'élaboration d'une politique mettant en valeur les CGDES dans la décentralisation de l'administration scolaire.

La revue à mi-parcours est conduite conjointement par la Mission japonaise et le Ministère de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique (ci-après désigné « Ministère de l'Enseignement Primaire »). Elle a pour objet d'analyser le niveau d'atteinte du but du Projet et ses résultats, d'identifier des problèmes à aborder et les directives à prendre pour la période restante du Projet et enfin de rédiger un rapport conjoint d'évaluation sur lequel la Mission et le Ministère de l'Enseignement Primaire se mettent d'accord.

En même temps, la Mission se fixe un objectif de confirmer, avec le Ministère des Enseignements Secondaires nouvellement créé, les activités du Projet prévues qui lui concernent.

1-2 But de la Revue à mi-parcours

La revue à mi-parcours est conduite en vue de réaliser les activités suivantes.

- (1) Mesurer les résultats obtenus en rapport avec le plan initial en terme des intrants, des réalisations, du niveau d'atteinte du plan et identifier des problèmes y découlant;
- (2) Faire examiner par le comité mixte de coordination les résultats provisoires de la revue à mi-parcours du Projet selon les 5 critères d'évaluation (la pertinence, l'efficacité, l'efficience, l'impact, la durabilité) en se fondant sur le degré d'atteinte du plan ;
- (3) Discuter, sur la base des résultats d'évaluation susmentionnés, des problèmes à résoudre avant la fin du Projet et d'un plan d'activités à exécuter au sein du Comité Mixte de Coordination et faire des recommandations à l'équipe du Projet et aux organismes nigériens concernés;.
- (4) Réviser le cadre logique et le PO selon la nécessité.

1-3 Période

La revue à mi-parcours au Niger est conduite du 28 juillet au 13 août 2014 selon le programme suivant : .



Date	Activités
Le lundi 28 juillet	Arrivée du consultant de la mission d'évaluation et de l'interprète au Niger
Le mardi 29 juillet	08:00 Visite du bureau du Projet EPT 09:00 Visite de courtoisie au bureau de la JICA Niger 10:00 Visite de courtoisie et entretien avec la C/CGDES 14:30 Bureau du Projet (entretien avec des experts du Projet et le staff EPT)
Le mercredi 30 juillet	09:00 Visite de courtoisie à la DREP Niamey 09:15 Entretien avec le PFR Niamey 10:20 Entretien avec l'IEB Niamey V 11:30 Visite de l'école Bangabana I à Niamey (Entretien avec les membres du CGDES) 15:00 Entretien avec la FCC Niamey II
Le jeudi 31 juillet	PMAQ 09:00 Entretien avec l'IEB Karma 10:30 Entretien avec la CP FA Karma 11:30 Entretien avec le Président de la FCC Karma 14:30 Entretien avec le CGDES PMAQ : Zarmagandey Médersa
Le vendredi 1 ^{er} août	Subvention 09:00 Entretien avec le PFD Say CGDES 10:00 Entretien avec l'IEB Torodi 11:00 Entretien avec la FCC Torodi 14:30 Entretien avec le CGDES Guilki Gatta
Le samedi 2 août	Préparation des documents
Le dimanche 3 août	Préparation des documents
Le lundi 4 août	Décentralisation • Ministère de l'Intérieur, de la Sécurité Publique et de la Décentralisation 15:35 Arrivée de M.Matsuzaki à Niamey Réunion interne de la mission
Le mardi 5 août	08:30 Visite de courtoisie au bureau de JICA Niger 09:30 Visite de courtoisie et échanges avec SG du MEP 10:30 Visite de courtoisie au DEP du MEP 11:00 Visite de courtoisie et échanges avec la C/CGDES

	12:30 Echanges avec les experts EPT
	14:00 Visite sur le terrain (Niamey V: école cible du PMAQ (Kortéré)) : entretien avec des membres de CGDES, parents d'élèves, enseignants, membres de la communauté
Le mercredi 6 août	Rencontre avec les partenaires au développement (AFD, UNICEF, Coopération Suisse)
	15:35 Arrivée de M.Tachibana à Niamey (directeur de division d'éducation de base au siège) Réunion interne de Mission
Le jeudi 7 août	Participation à l'atelier national de partage d'expériences dans le cadre des activités CGDES/FCC
	Réunion interne de Mission
Le vendredi 8 août	Comité Mixte de Coordination (présentation des résultats de l'évaluation à mi-parcours)
	Participation au compte rendu des résultats de la mission en Côte d'Ivoire
	Remise du projet de compte rendu des discussions au MEP
Le samedi 9 août	Echanges avec des membres du Comité Exécutif du Forum Régional de Tahoua
	Préparation des documents
Le dimanche 10 août	Préparation des documents
Le lundi 11 août	Réunion interne Rencontre avec la Ministre des Enseignements secondaires
Le mardi 12 août	11:00 Signature du C/R (SG/MEP/A/PLN/EC, DEP, C/CGDES) Signature du C/R (SG/MES) Compte rendu au bureau de JICA Niger
Le mercredi 13 août	Départ de la Mission

1-4 Membres de la Revue

(1) Membres de la Mission Japonaise

M.TACHIBANA Hideharu

Chef de mission

Directeur, 2^{ème} division Éducation de base,
Dépt. du Développement Humain

M.MATSUZAKI Mizuki

Chargé de Planification de coopération

Directeur adjoint, 2^{ème} division Éducation
de base, Dépt. du Développement Humain

Mme.ABE Kumiko

Chargée d'Analyse /Évaluation,

Consultante

Mme.NISHIYAMA Akemi

Interprète

JICE (Centre Japonais pour la Coopération
Internationale)

(2) Membres du Comité mixte d'évaluation (partie nigérienne)

M. Rabiou Sani

Division du Partenariat et de la Coordination des
Interventions/Coordination des CGDES

M. Abdoulaye Souley

Point focal du Projet EPT à la Direction des Etudes et de
la Programmation

1-5 Méthodologie de la Revue

La revue à mi-parcours consiste à vérifier les aspects suivants en conformité avec le cadre logique et les critères d'évaluation et à établir une grille d'évaluation :

- 1) Les réalisations du Projet sur la base des indicateurs du cadre logique
- 2) Le processus d'exécution
- 3) Les 5 critères d'évaluation (OCDE, CAD)

Tableau 1 : Définition des 5 critères

Pertinence	Degré de compatibilité entre l'assistance au développement et la priorité de la politique/orientations du groupe cible, des bénéficiaires et du donateur
Efficacité	Mesure du niveau d'atteinte des objectifs de l'assistance au développement
Efficiences	Mesure des extrants (qualitatifs/quantitatifs) en rapport avec les intrants Il s'agit d'un terme économique utilisé pour exprimer la capacité d'un programme à utiliser les ressources les moins

	<p>coûteuses possibles pour atteindre les résultats escomptés. Cela nécessite généralement de comparer des approches alternatives pour atteindre les mêmes résultats, afin de voir si le processus le plus efficient a été adopté.</p>
Impact	<p>Changements positifs et/ou négatifs produits par une intervention de développement, directement ou indirectement, intentionnellement ou non. Les changements comprennent des conséquences et effets principaux sur la société, l'économie et l'environnement locaux ainsi que sur les autres indicateurs du développement. Il s'agit des principaux impacts et des effets résultants de l'activité sur les indicateurs locaux, sociaux, économiques, environnementaux et autres indicateurs de développement.</p>
Durabilité	<p>La durabilité porte sur les facteurs de pérennisation des bénéfices d'une activité, déterminant la possibilité de poursuivre après que le financement des bailleurs de fonds ait été exécuté.</p> <p>Les projets doivent être viables tant pour le volet environnement que pour le volet financier.</p>

Les conclusions sont tirées des résultats de l'évaluation à mi-parcours et les recommandations formulées par les deux parties.

2 Résultats de l'évaluation

2-1 Niveau d'atteinte du Projet

2-1-1 Niveau d'atteinte des résultats

Le niveau d'atteinte des résultats se fonde sur les indicateurs fixés dans le Cadre Logique version 1 (mars 2013).

En ce qui concerne les activités (dont les indicateurs n'ont pas été fixés) qui contribuent à l'atteinte de chaque résultat, elles ont été aussi évaluées. La situation de l'achèvement de chaque résultat est indiquée comme suit:

(1) Résultat 1

Le niveau d'atteinte de chaque composante du résultat 1 est relativement élevé.

Comme il y a eu des changements dans l'orientation des activités et des indicateurs qui ne sont pas appropriés, il est nécessaire de redéfinir les indicateurs. Plus précisément, il s'agit de la révision des indicateurs 5 et 6 qui concernent l'introduction du modèle des COGES fonctionnels aux collèges. Ceci se justifie par la suspension de l'activité suite au rattachement des collèges au Ministère des Enseignements Secondaires intervenu en août 2013.

Le niveau d'atteinte du résultat 1

Résultat 1	
Un système pour pérenniser les activités de CGDES qui contribuent au développement de l'éducation (la qualité et l'accès à l'éducation) est mis en place	
Indicateur	Situation de l'achèvement
【Indicateur 1】 Plus de 95% des FCC qui ont participé au forum organisé au niveau régional tiennent au moins une assemblée générale après le forum.	Le forum d'éducation régional s'est tenu dans la région de Tahoua en juin 2014. Après le forum, toutes les 44 fédérations de la région de Tahoua ont tenu une assemblée générale soit 100% de réalisation. Etant donné que le changement d'orientation des activités a été approuvé au sein du comité mixte de coordination en février 2014, il est prévu d'ici la fin du Projet, la tenue de 2 autres fora dans la région de Tahoua. Un modèle durable de forum régional est en cours de développement à travers la tenue des fora dans la région de Tahoua. Par conséquent, la révision des indicateurs qui concernent le développement du modèle du forum, suite au changement des activités prévues dans le plan initial, est nécessaire en vue de les rendre appropriés.

<p>【Indicateur 2】 Plus de 80% des CGDES révisent leurs plans d'actions de l'école pour inclure les activités mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation (introduction des cours de rattrapage ayant un effet positif sur l'amélioration du taux d'atteinte d'apprentissage)</p>	<p>92% de CGDES élaborent leurs plans d'actions incluant des activités centrées sur l'amélioration de la qualité de l'éducation en 2013/2014.</p> <p>Voir le tableau 1 pour le détail.</p> <p>Si l'activité du suivi du Projet se poursuit correctement, cet indicateur peut encore évoluer positivement d'ici la fin du Projet.</p>																
<p>【Indicateur 3】 Le nombre de réunions d'informations tenues par les administrateurs aux niveaux central, régional et départemental augmente.</p>	<p>Bilan des réunions d'informations tenues :</p> <table border="1" data-bbox="614 806 1412 1601"> <thead> <tr> <th></th> <th>Nombre de réunions à tenir/an</th> <th>2012/2013</th> <th>2013/2014</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【Central】 Atelier de partage d'expériences</td> <td>2 fois</td> <td>2 fois</td> <td>2 fois</td> </tr> <tr> <td>【Régional】 Réunion des inspecteurs</td> <td></td> <td>8 fois (8 régions×1 fois)</td> <td>2 (2 fois pour la région de Tahoua seulement)</td> </tr> <tr> <td>【Régional】 Réunions des PF des CGDES</td> <td></td> <td>25 fois (1 fois au niveau national+8 régions×3 fois)</td> <td>24 fois (8 régions×3 fois)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Bien qu'aucune augmentation du nombre de réunions tenues à chaque niveau n'ait été constatée, les réunions des PF des CGDES se tiennent régulièrement après la reprise de l'allocation du fonds de contrepartie en mars 2013. Vu que les réunions des PF des CGDES et l'atelier national de partage d'expériences sont progressivement inclus dans le budget national, les réunions devront se tenir périodiquement.</p>		Nombre de réunions à tenir/an	2012/2013	2013/2014	【Central】 Atelier de partage d'expériences	2 fois	2 fois	2 fois	【Régional】 Réunion des inspecteurs		8 fois (8 régions×1 fois)	2 (2 fois pour la région de Tahoua seulement)	【Régional】 Réunions des PF des CGDES		25 fois (1 fois au niveau national+8 régions×3 fois)	24 fois (8 régions×3 fois)
	Nombre de réunions à tenir/an	2012/2013	2013/2014														
【Central】 Atelier de partage d'expériences	2 fois	2 fois	2 fois														
【Régional】 Réunion des inspecteurs		8 fois (8 régions×1 fois)	2 (2 fois pour la région de Tahoua seulement)														
【Régional】 Réunions des PF des CGDES		25 fois (1 fois au niveau national+8 régions×3 fois)	24 fois (8 régions×3 fois)														

✶

0

✶

	<p>Comme le but de ces réunions est d'effectuer le suivi des activités de CGDES, la révision des indicateurs pour les rendre adaptés au système du suivi se justifie.</p>
<p>【Indicateur d'évaluation complémentaire (1)】 Les capacités de la C/CGDES en suivi sont renforcées.</p>	<p>Le système du suivi d'activités de CGDES consiste en 3 activités phares suivantes dont il est nécessaire d'assurer l'effectivité :</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ Atelier national de partage d'expériences au niveau central (2 fois/an) ✓ AG des FCC (3 fois/an) ✓ Réunions des PF des CGDES <p>A travers l'organisation de ces activités, la C/CGDES en centralisant et analysant les Plans d'actions de l'école et les bilans, participe non seulement à la collecte et à l'analyse des données mais aussi cela permet à la C/CGDES de renforcer ses capacités.</p> <p>Aussi, la mission conjointe du suivi des AG des FCC et l'organisation de l'atelier de partage d'expériences constituent des mécanismes pratiques de renforcement des capacités du personnel de la C/CGDES dans le cadre de la préparation de l'organisation des réunions et rencontres.</p> <p>En dépit de ces opportunités de formation constatées, il reste encore nécessaire de continuer à renforcer leurs capacités en collecte et analyse des données. Dans ce sens, le Projet a commencé une formation. De ce fait, il est escompté qu'à la fin du projet cet indicateur soit atteint.</p> <p>Il serait nécessaire de réfléchir sur le choix d' indicateurs appropriés prenant en charge le renforcement des capacités du personnel de la C/CGDES en suivi et l'intégrer dans l'indicateur 3.</p>
<p>【Indicateur 4】 Un système de suivi des CGDES est officiellement approuvé par le MEP/A/PLN/EC.</p>	<p>Selon l'arrêté ministériel N° 000038/MEN/PLN/SG du 22 février 2012, les PF des CGDES ont été mis en place au niveau régional et départemental comme agents détachés du Ministère. Leurs missions de suivi des CGDES et du soutien aux activités sont stipulées dans cet arrêté.</p> <p>Les frais de réunions des PF des CGDES pour leur suivi et les frais du suivi des CGDES par les PF en 2013 et 2014 sont</p>

H

8

K

	<p>prévus dans le budget du Ministère.</p> <p>Désormais, le suivi de l'Indicateur d'évaluation complémentaire(1) sera mené à l'initiative de la C/CGDES. L'évaluation externe ou/et interne du système de suivi aura lieu entre le mois de juin et celui de juillet 2015. Cependant, le Projet appuiera l'élaboration du document de stratégies sur le système et l'organisation d'un atelier de validation du système du suivi/accompagnement des FCC et CGDES pour procéder à l'institutionnalisation de ce système.</p> <p>L'indicateur devra être atteint avant la fin du Projet.</p>
<p>【Indicateur 5】</p> <p>Les COGES composés de membres élus démocratiquement à travers des scrutins libres et à bulletins secrets sont mis en place dans plus de 90% de collèges.</p>	<p>L'activité pour mettre en place les COGES fonctionnel aux collèges a commencé en mars 2013 La formation sur la mise en place démocratique des CGDES a été dispensée pour 3 écoles pilotes à Niamey. Mais à l'issue du remaniement ministériel d'août 2013, les collèges ont été rattachés à un autre ministère et l'activité a été suspendue. En février 2014, le comité mixte de coordination a approuvé la reprise de cette activité. Mais, aucune action sur le terrain n'est encore commencée jusqu'ici. Les démarches avec le nouveau ministère ont permis d'abouti à la reprise des activités en septembre prochain.</p>
<p>【Indicateur 6】</p> <p>Un plan d'action d'école au moins est mis en œuvre dans plus de 80 % des collèges.</p>	
<p>【Indicateur d'évaluation complémentaire (2)】</p> <p>Le PMAQ est développé et son efficacité est prouvée.</p>	<p>【Elaboration des livrets d'exercices】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2012/2013 : Développement des livrets d'exercices de mathématique (première version) (7 livrets élaborés : No1 - No5, 2 livrets corrigés No1 et No2) - du mois de septembre au mois de novembre 2012: 1 école cible - Expérimentation des livrets développés dans le bureau EPT à partir du mois de février 2013 - entre le mois de juin et celui de décembre 2013 : Élaboration des livrets d'exercices de mathématique (3 livrets élaborés : Pré-mathématique, No1 et No2) <p>【Application des livrets d'exercices】</p> <ul style="list-style-type: none"> - Du mois de décembre 2013 au mois de juin 2014 : Expérimentation du PMAQ dans 107 écoles de la région de

7A



7

	Niamey et Tillabéry. - Le résultat du test de niveau en mathématique confirme une nette amélioration des performances des élèves à tous les niveaux de classes. (voir le graphique 1) Au vu de ces résultats, on peut affirmer que cette activité est susceptible d'efficacité.
【 Indicateur d'évaluation complémentaire 3】 Le module des CGDES est introduit dans la formation initiale des enseignants.	Prévu en août 2015

Tableau 1 Bilans des plans d'actions axés sur la qualité

	2011/2012	2012/2013	2013/2014
Nombre total des CGDES	15.046	15.810	16.587
Taux de récupération des plans d'actions de l'école	95,3%	91,8%	94,7%
Taux de récupération des bilans des plans d'actions de l'école	88,1%	89,2%	92,1%
Nombre des bilans des PA axés sur la qualité récupérés et analysés	13.262 (88,1%)	14.096 (89,2%)	15.278 (92,1%)
Nombre d'activités exécutées en moyenne par CGDES	5,1	5,1	5,1
Construction des classes (nombre des CGDES/nombre des bilans analysés)	70,5% (9.346/13.262)	82,12% (11.576/14.096)	81,1% (12.387/15.278)
Cours de rattrapage	65,7% (7.912/12.036)	71,30% (9.531/13.366)	61,7% (9.420/15.278)
Études de nuit/Tutorat	48,5% (5.835/12.036)	51,93% (6.942/13.366)	43,5% (6.639/15.278)

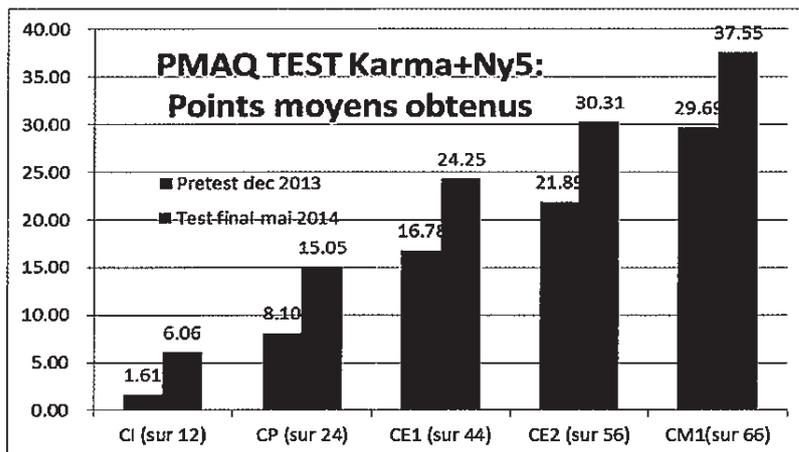
Source : Rapport du Projet

Graphique 1 Résultat de test de niveau dans le cadre des activités du PMAQ

24

8

7



Source: Rapport du Projet

(2) Résultat 2

Le niveau d'atteinte du Résultat 2 est élevé. Mais la discordance des activités prévues dans le plan initial et les activités menées a été relevée. Le Résultat 2 consiste à développer un modèle pour la gestion des ressources dans les zones pilotes. Tous les indicateurs ont été atteints et les activités pilotes ont pris fin. Malgré l'atteinte des indicateurs initiaux, le modèle qui a été développé est encore perfectible. Le Projet prévoit de poursuivre des activités pilotes. Il est donc nécessaire de revoir les indicateurs.

Le niveau d'atteinte du résultat 2 est comme suit:

<p>Résultat 2 :</p> <p>Le rôle et les capacités des CGDES en gestion des ressources sont renforcés dans les zones pilotes.</p>	
Indicateur	Situation de l'achèvement
<p>【Indicateur d'évaluation complémentaire (1)】</p> <p>Des modules de formation en gestion des ressources sont développés.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • novembre et décembre 2012 : module en gestion des ressources, module en planification des activités pour une meilleure utilisation des ressources . Tenue d'un atelier de partage d'information sur les modules développés • du mois de juillet au mois d' octobre 2013 : analyse des pratiques, capitalisation des expériences acquises et révision des 2 modules indiqués ci-dessus. Les modules restent toujours perfectibles.

[Signature]

[Signature]

[Signature]

	L'indicateur devra être atteint avant la fin du Projet.
<p>【Indicateur 1】</p> <p>La proportion des CGDES formés en gestion des ressources augmente dans les zones pilotes.</p>	<p>Zones pilotes : 120 écoles dans les départements de Say et de Torodi de la région de Tillabéri</p> <ul style="list-style-type: none"> • 370 personnes (3 par CGDES des 120 écoles cibles), (5 fédérations cibles (2 par fédération) ont participé à la formation en gestion des ressources tenue en décembre 2012. Parmi elles, 190 personnes au total de 60 écoles et de fédérations ont participé à la formation en planification des activités. • Les mêmes personnes ont participé de nouveau en octobre 2013 à la formation basée sur les modules révisés.
<p>【Indicateur 2】</p> <p>La proportion des ressources gérées par les CGDES augmente dans les zones pilotes.</p>	<p>Par rapport à l'année scolaire 2011-2012 (avant l'intervention), la proportion des ressources gérées par les CGDES a été doublée en 2012/2013. Et la proportion a été portée à environ 2,5 fois en 2012/2014. Voir le tableau 2 pour le détail.</p> <p>Par ailleurs, Sur les 2 années de l'expérimentation, 100% des pièces justificatives qui sont par ailleurs d'une importance capitale dans la gestion, ont été récupérées. Ce qui témoigne de la bonne gestion des ressources. L'intervention du projet est à son terme dans ces zones pilotes. Les indicateurs ont été entièrement atteints.</p>
<p>【Indicateur 3】</p> <p>La proportion des activités mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation dans les plans d'actions de l'école augmente dans les zones pilotes.</p>	<p>En comparaison avec les années scolaires 2012/2013 et 2013/2014, la proportion des CGDES qui ont élaboré leurs plans d'actions en mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation a augmenté. Voir le tableau 3.</p> <p>L'intervention du projet est à son terme dans ces zones pilotes, et l'indicateur a été entièrement atteint.</p>

✶

W

✶

Tableau 2 Evolution des ressources gérées par les CGDES cibles liée à **【Indicateur 2】**
(Unité : Fcfa)

	2011/2012	2012/2013	2013/2014	Remarques
(1) Montant total de la subvention		26.846.000	30.066.000	
(2) Montant moyen de la subvention par école		223.717	250.550	
(3) Montant moyen programmé pour l'exécution du plan d'action par école	194 332	398.529	471.552	environ le doublement en 2012/2013 et 2,5 fois plus grande en 2013/2014 par rapport qu'avant l'intervention
(4) Part des autres fonds que la subvention par école (3-2)		174.812	221.002	Augmentation d'environ 1,3 fois

Source : Rapport du Projet

Tableau 3 Proportion des CGDES ayant programmé des activités axées sur l'amélioration de la qualité de l'éducation liés à **【Indicateur 3】**

	Cours de rattrapage	Études de nuit	Exercices de remédiation	Achat des manuels scolaires et des articles de bureau
2012/2013	64,4%	76,3%	31,4%	65,2%
2013/2014	76,7%	75,8%	41,7%	90,0%

Source : Rapport du Projet

(3) Résultat 3

Le niveau d'atteinte du Résultat 3 est relativement élevé.

L'indicateur 1 consiste à refléter la politique d'éducation, l'indicateur 2 consiste à élaborer un plan d'action annuel par la C/CGDES, qui inclut les activités de CGDES, cet 'indicateur concerne l'institutionnalisation de la gestion des ressources. La poursuite des activités permettra l'atteinte de chaque indicateur. Cependant, comme pour les résultats 1 et 2, il est nécessaire de réajuster et réviser les indicateurs en vue de clarifier l'objectif à atteindre.

Le niveau d'atteinte du résultat 3 est comme suit:

<p>Résultats 3 :</p> <p>Les stratégies mettant en valeur les CGDES dans la décentralisation de l'administration scolaire sont établies et exécutées.</p>	
<p>【Indicateur 1】</p> <p>Une politique relative aux CGDES est établie.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Publication en février 2012 d'un arrêté ministériel portant création, composition, attribution et fonctionnement de la C/CGDES, des CGDES et des FCC. • Le Programme Sectoriel de l'Éducation et de la Formation (2014-2024) prévoit clairement le renforcement du rôle des CGDES qui sont des acteurs chargés de la promotion de la scolarisation des filles, de la gestion des infrastructures scolaires et de l'amélioration de la gestion décentralisée des établissements scolaires. <p>Les activités s'y rapportant y compris le renforcement des capacités des CGDES sont planifiées.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Les résultats des activités de CGDES figurent dans l'annuaire des statistiques de l'éducation 2012-2013 publié en avril 2014. <p>Le système du suivi/accompagnement de CGDES devra être validé. Cet indicateur devra être atteint à la fin du projet.</p>
<p>【Indicateur 2】</p> <p>Un plan annuel du Ministère de l'Enseignement Primaire qui reflète la politique relative aux CGDES est élaboré.</p>	<p>Les activités du suivi/accompagnement des CGDES ont été prises en charge dans le budget annuel du Ministère de l'Enseignement Primaire en 2013 et 2014. Cet indicateur a été atteint. Mais la capacité de la C/CGDES en planification et budgétisation des activités reste insuffisante.. Il est nécessaire de continuer à appuyer la C/CGDES pour renforcer ses capacités en planification des activités.</p>
<p>【Indicateur 3】</p> <p>Existence de la politique/plan du Ministère de l'Enseignement Primaire qui inclut le renforcement de la fonctionnalité</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Les activités pilotes relatives à la gestion des ressources ont pris fin. <p>Désormais, le modèle reste à être amélioré pour qu'il reflète la politique du Ministère.</p>

*

J

N

des CGDES en matière de gestion des ressources	Il est prévu que la subvention sera octroyée aux CGDES par le fonds commun PME/AFD à partir de cette année sur la base des résultats obtenus à travers les activités pilotes. La possibilité de l'inclure dans la politique ou le plan du Ministère de l'Enseignement Primaire est élevée.
------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2-1-2 But du Projet

Etant donné qu'une partie des résultats ont été déjà atteints, le niveau d'atteinte du but du Projet est élevé pendant la période d'exécution du Projet. Cependant, le Projet cible l'ensemble du pays alors que les indicateurs ne concernent que les activités pilotes. Par conséquent, la révision des indicateurs est suggérée. La pertinence des indicateurs sera vérifiée dans 2-2-2 « Efficacité » 5 critères d'évaluation.

Le niveau d'atteinte des indicateurs du but du Projet est comme suit:

Le but du Projet				
Le rôle et les capacités des CGDES en gestion scolaire sont renforcés pour le développement de l'éducation au Niger (la qualité et l'accès à l'éducation)				
Indicateur	Situation de l'achèvement			
【Indicateur 1】 La proportion des CGDES qui soumettent leurs rapports annuels sur les plans d'actions de l'école à leurs fédérations respectives et au MEN/A/PLN s'accroît.	Le taux de récupération des bilans est en nette augmentation. L'indicateur a été atteint.			
		2011/2012	2012/2013	2013/2014
	Nombre de CGDES dans tout le pays	15.046	15.810	16.587
	Taux de Récupération des plans d'actions de l'école	95,3%	91,1%	94,7%
	Taux de récupération des bilans annuels des plans d'actions de l'école	88,1%	89,2%	92,1%
【Indicateur 2】 La proportion des ressources	En comparaison avec 2011/2012 avant l'intervention, la proportion a été doublée en 2012/2013. Et la proportion a			

gérées par les CGDES s'accroît dans les zones pilotes.	été portée à environ 2,5 fois 2013/2014. Voir le tableau 2
--------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

2-1-3 Objectif global du Projet

Le niveau d'atteinte de l'objectif global est élevé. Comme tendance, une légère amélioration est constatée en matière d'indices de l'éducation, ces indices seront améliorés par la continuation des activités et permettront d'améliorer la qualité et l'accès à l'éducation.

L'évolution des indicateurs de l'objectif global se présente comme suit:

<p>Objectif global du Projet</p> <p>La qualité et l'accès à l'éducation de base s'améliorent par la gestion de l'école à travers la participation communautaire »</p>			
Indicateur	Situation de l'achèvement		
<p>【indicateur 1】</p> <p>Les indicateurs d'éducation (le taux brut de scolarisation, le taux de redoublement, le taux d'abandon, le taux d'achèvement, etc.) s'améliorent.</p>	<p>La comparaison entre 2011 et 2012 montre l'amélioration de tous les indicateurs. Ceci veut dire que l'atteinte du but du Projet et la pérennisation des activités pourront améliorer les indicateurs suivants.</p>		
		2011	2012
	Taux brut d'admission	97,9%	99,2%
	Taux brut de scolarisation	79,2%	82,0%
	Taux de redoublement	4,44%	4,40%
	Taux d'abandon de l'éducation primaire	12,2%	13,0%
	Taux d'achèvement de l'enseignement primaire	55,8%	56,4%

X

g

7

<p>【Indicateur 2】 Le niveau d'atteinte de l'apprentissage s'améliore.</p>	<p>Comme l'indicateur 1, le taux de réussite de l'examen final de l'éducation de base a connu une légère augmentation. Mais, suite à l'abolition de l'examen en question, il est nécessaire de fixer un nouveau indicateur pour mesurer le degré d'atteinte de l'apprentissage.</p>							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="766 537 1037 593"></th> <th data-bbox="1037 537 1189 593">2011</th> <th data-bbox="1189 537 1422 593">2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="766 593 1037 725">Taux de réussite des examens au CFEPD</td> <td data-bbox="1037 593 1189 725">56,7%</td> <td data-bbox="1189 593 1422 725">57,2%</td> </tr> </tbody> </table>			2011	2012	Taux de réussite des examens au CFEPD	56,7%	57,2%
	2011	2012						
Taux de réussite des examens au CFEPD	56,7%	57,2%						

2-2 Résultats de l'évaluation

2-2-1 Processus d'exécution

(1) Etat d'avancement des activités/situation de l'exécution

Les activités du Projet sont globalement exécutées comme prévues. Mais, quelques activités qui étaient prévues ont pris du retard ou changées. Pour cause d'insécurité au Niger, l'envoi d'experts a été annulé, ce qui a retardé l'activité. En outre, les collègues ont été rattachés au Ministère des Enseignement Secondaires suite au remaniement ministériel d'août 2013. Finalement, l'activité a été suspendue. Pour les mêmes raisons, l'envoi d'un expert en charge de l'élaboration des livrets d'exercices prévus dans le PMAQ a été aussi annulé. Tenant compte du déplacement limité des experts japonais sur place, le Projet a réorienté ses zones pilotes pour expérimenter les livrets au niveau de son siège à Niamey

L'expérimentation de l'Approche Forum était prévue au début dans plusieurs régions du pays. Mais la méthodologie d'organisation des foras jusqu'ici menée ne permet pas de rendre les résultats pérennes et son amélioration est nécessaire ; c'est pourquoi, les discussions au sein du comité mixte de coordination tenu en février 2014 ont abouti à expérimenter d'abord le modèle Approche Forum durable dans la région de Tahoua.

(2) Conduite et Gestion du Projet

Pour la conduite et la gestion du Projet, la C/CGDES, l'équipe du Projet et la direction des Etudes et de la Programmation (DEP), tiennent de réunions mensuelles pour rendre compte de l'état d'avancement des activités réalisées durant le mois et discuter de la programmation du mois à venir. Tous les acteurs concernés y participent activement chaque mois pour bien partager les informations. L'équipe du Projet tient une réunion

téléphonique chaque semaine avec M.Hara, conseiller en chef du Projet basé au Japon. Le soutien technique venant du Japon facilite l'exécution de chaque activité. Malgré la distance qui sépare l'équipe du Projet et la C/CGDES, une communication permanente facilite les bonnes relations entre les deux parties. Cependant, il est toujours nécessaire de renforcer davantage la communication entre la C/CGDES et l'équipe du projet en tenant compte de la fin du Projet.

(3) Appropriation du projet par les cadres nationaux

Grâce au soutien des Phase 1 et Phase 2 du Projet, le concept des CGDES s'est intégré dans la politique du Ministère de l'Enseignement Primaire. Les modules qui ont été développés sont reconnus et exploités comme documents du gouvernement nigérien. Dans la présente Phase aussi, les cadres nationaux prennent part activement au Projet. D'après des interviews effectuées auprès de ces cadres nationaux, ils ont exprimé une volonté de mener des activités par leur initiative. Cela signifie une forte volonté des cadres nationaux à l'égard du Projet. S'agissant, de transfert de compétences techniques et l'appropriation des activités par les cadres nationaux il est davantage nécessaire de développer la communication sur les orientations d'activités entre les deux parties.

(4) Collaboration avec d'autres bailleurs de fonds

Le Projet partage des informations avec les responsables de l'éducation de l'UNICEF et de la BM à travers les réunions fréquemment tenues dont notamment la participation à la réunion du PTF. Résultant du bon partage d'informations, le PME et l'AFD ont reconnu l'importance de l'octroi de la subvention par l'EPT et décidé de fournir, dans le cadre du Projet d'appui à l'Education de Qualité avec le don du PME et la contribution de l'AFD, une subvention destinée à 2.800 écoles dans 5 régions pour une durée de 4 ans. Cette subvention commencera à partir de 2014. Les formations développées par l'EPT seront exploitées. L'élargissement des effets de l'EPT par le soutien financier des autres bailleurs de fonds est une preuve d'une grande appréciation des activités de l'EPT.

2-2-2 5 critères d'évaluation

« Pertinence »

Vu les raisons suivantes, la pertinence du Projet est très élevée.

(1) Compatibilité entre la Politique éducative du Niger et le but du Projet

Lors de la réalisation de l'étude de l'élaboration du plan détaillé en 2011, le développement de l'éducation était effectué selon le Programme Décennal de Développement de l'Education 2003-2012. Le développement de l'éducation s'est constitué de 3 éléments, 1.accès, 2.qualité, 3.développement institutionnel. Dans

l'éducation primaire, outre l'amélioration du taux de scolarisation et de la qualité de l'éducation, l'implication de la communauté dans la gestion scolaire a été fixée comme objectif. Après le démarrage du Projet, « la Lettre de Politique Educative pour la période 2013-2020 » a été publiée et le Programme Sectoriel de l'Education et de la Formation (PSEF 2014-2024) a été élaboré pour la mise en application de la Politique.

Le PSEF 2014-2024 est un programme qui succède aux expériences et enjeux du PDDE. Le Programme prévoit des activités concrètes : le renforcement du rôle, des capacités et des attributions des CGDES, le renforcement des capacités de l'administration scolaire au niveau régional/départemental/ communal dans le processus de décentralisation et de déconcentration.

Par conséquent, le but du Projet « Le rôle et les capacités des CGDES en gestion scolaire sont renforcés pour le développement de l'éducation (qualité et accès à l'éducation) au Niger » correspond exactement à la politique éducative du Niger au moment de la revue à mi-parcours.

(2) Cohérence de la Politique d'assistance japonaise avec le but du Projet

La TICAD qui est un pilier principal du soutien japonais à l'Afrique a affiché l'éducation comme un des domaines prioritaires. Le plan d'action qui a été adopté au sein de la TICAD IV tenue en 2008 a prévu un des objectifs, l'élargissement du « Projet d'appui à l'amélioration de la gestion scolaire sur la base du modèle EPT en Afrique de l'ouest » à 10.000 écoles. La TICAD V tenue en 2013 a déclaré la détermination du Japon à poursuivre ses efforts dans l'élargissement du Projet. Par conséquent, le Projet s'aligne exactement sur la politique d'assistance japonaise.

(3) Cohérence des besoins des groupes cibles avec le but du Projet

Concernant les indicateurs d'éducation au Niger, bien que l'accès à l'éducation connaisse une légère amélioration, le taux brut de scolarisation dans l'éducation primaire passant de 79,2% en 2012 de 82 % en 2013 et celui d'abandon de 13% en 2013, on peut dire que l'accès reste encore à améliorer. Quant à la qualité de l'éducation, le taux d'achèvement de l'éducation de base et celui de réussite à l'examen final qui étaient respectivement de 56,4% et 57,2 % en 2012 sont considérés comme bas.

Le Projet vise donc à améliorer la qualité et l'accès à l'éducation à travers des CGDES mis en place dans l'ensemble du pays avant la fin de la Phase 2. Les bénéficiaires directs du Projet sont tous les acteurs concernés par les activités de CGDES allant du niveau central aux écoles. D'où le Projet répond bien aux besoins des groupes cibles.

(4) Pertinence de la politique d'exécution

Les CGDES jouent un rôle important en matière de politique d'éducation dans le

processus de la décentralisation au Niger. Les attributions de la gestion scolaire sont donc données aux CGDES dans le processus de la décentralisation au Niger. Etant donné que les ressources pour l'aménagement de l'environnement d'éducation sont limitées au Niger, la mobilisation et la gestion des ressources des CGDES sont de plus en plus importantes. Dans ce contexte, l'approche du Projet qui vise à améliorer la qualité et l'accès à l'éducation à travers le renforcement du rôle et des capacités des CGDES est appropriée.

« Efficacité »

Vu les raisons suivantes, l'efficacité du Projet est élevée. Mais le réajustement des résultats fixés et la révision des indicateurs pour le but du Projet et ses résultats ainsi que les activités s'y rapportant sont nécessaires.

(1) Niveau d'atteinte du but du Projet

Le but du présent Projet a été déjà atteint en terme d'indicateurs fixés. Pour l'indicateur 1, le taux de soumission du bilan annuel des plans d'actions qui était de 88,1% en 2011 est passé à 89,2% en 2012 et connaît un progrès constant pour passer à 94,7% en 2013. Quant à l'indicateur 2 qui concerne la proportion des ressources gérées par les CGDES dans les zones pilotes, la proportion a été doublée en 2011 et elle est devenue 2,5 fois plus grande en 2012 par rapport à la proportion d'avant l'intervention du Projet (comme indiqué le niveau d'atteinte du Projet 2-1-2). C'est ainsi que le but du Projet a été déjà atteint d'une part, mais d'autre part, certains indicateurs (indicateur 2 en particulier) sont discutables.

Parce que même si les indicateurs fixés ont été atteints, cela ne veut pas dire que le but du Projet, le rôle et les capacités des CGDES en gestion scolaire pour le développement de l'éducation au Niger (qualité et accès à l'éducation) est atteint. Plusieurs activités importantes qui ne figurent pas sur les indicateurs ont été exécutées dans le Projet. Il est donc à noter qu'il y a beaucoup d'activités importantes qui ne reflètent pas sur les indicateurs pour le renforcement de la fonctionnalité et des capacités de CGDES. Il est nécessaire d'inclure les indicateurs qui concernent les activités et résultats du Projet. La relation de causalité entre le but du Projet y compris la fixation des indicateurs et ses résultats fait l'objet de la réflexion dans (2) et la révision du Cadre Logique est proposée.

(2) Relations de causalité entre le but du Projet et ses résultats

Le Projet se compose de 2 composantes. : 1. le renforcement du suivi d'activités de CGDES fonctionnels, 2. le développement du modèle pour la qualité et l'accès à l'éducation (le PMAQ, la gestion des ressources, l'Approche Forum, l'introduction du

COGES fonctionnel au niveau des collèges). La composante 1 vise à renforcer les capacités en suivi au niveau central en particulier pour pérenniser les résultats de la mise à l'échelle nationale des activités de CGDES qui ont été établies au cours des Phases 1 et 2. Pour animer davantage les activités des CGDES et améliorer la qualité de l'éducation à travers les activités des CGDES, les 4 activités qui s'inscrivent dans la composante 2 sont en cours de réalisation à titre expérimental. Le PMAQ consiste à introduire les livrets d'exercices pour améliorer la performance des élèves. Il adopte une approche dans laquelle les activités des livrets d'exercices sont conduites par les CGDES qui impliquent les écoles et la communauté. La sélection des facilitateurs pour cette activité en Assemblée Générale villageoise parmi les enseignants et la communauté et la proclamation des résultats des activités permettent à la communauté de prendre en conscience des problèmes de l'éducation et d'en discuter pour y faire face. Cette approche recèle donc la possibilité de développer l'éducation par une participation spontanée de la communauté.

En ce qui concerne la gestion des ressources, comme les ressources attribuées aux écoles sont encore limitées malgré la décentralisation en cours, le soutien à l'octroi de subvention aux activités de CGDES est réalisé. Il s'agit d'un soutien qui permet à chaque CGDES d'effectuer une gestion appropriée et transparente du fonds et d'utiliser efficacement ces ressources pour l'amélioration de la qualité de l'éducation. Ce soutien prévoit également à l'instar du le PMAQ que la situation de la gestion des ressources soit présentée la communauté (parents d'élèves). Cette approche permet la réalisation des plans d'actions de l'école par les CGDES avec la participation communautaire sur la base d'une gestion appropriée des ressources. Concernant l'Approche Forum, bien que son efficacité ait été reconnue dans la Phase 2, sa pérennisation restait un problème à résoudre. C'est pourquoi une nouvelle approche conçue est en cours d'expérimentation pour le développement de l'éducation par la communauté plus fortement unie qu'avant. Elle consiste à mettre en place le cadre de concertation communale entre la commune et les Fédération communales des CGDES. On peut espérer la pérennisation des activités des FCC sur le plan financier par l'implication des collectivités territoriales. Quant à l'introduction du modèle des COGES fonctionnels aux collèges, le soutien aux activités de CGDES dans l'éducation primaire produit des effets efficacement. Par conséquent, c'est une proposition à la partie nigérienne pour une étape suivante qui vise à appliquer les acquis sur le développement d'un modèle pour l'enseignement secondaire.

Les 4 activités pilotes (2) sont un moyen d'animer davantage les activités des CGDES qui ont été vulgarisées dans l'ensemble du pays. Elles s'alignent sur l'objectif fixé pour améliorer la qualité de l'éducation à travers les activités des CGDES.

En résumé, chaque composante du Projet est indispensable et suffisante pour atteindre

le but du Projet. Or, il est difficile à comprendre le rôle de chaque composante et sa contribution à l'atteinte du but du Projet selon les 3 résultats fixés Le résultat 1: le Suivi, le PMAQ, l'Approche Forum, l'introduction des COGES fonctionnels aux collèges; Le résultat 2: Gestion des ressources; Le résultat 3: l'élaboration des politiques, le renforcement des capacités de la C/CGDES en suivi. En outre, il n'y a pas d'indicateurs pour évaluer des résultats du PMAQ. Les indicateurs pour le but du Projet ne reflètent pas correctement les composantes importantes du Projet. Par conséquent, il est à suggérer le réarrangement des résultats et la révision des indicateurs pour les résultats et le but du Projet ainsi que le réarrangement des activités.

S'il s'agit du niveau d'atteinte du but du Projet, il a été vérifié sur la base des deux indicateurs fixés. Même dans le cas où le rapport entre les composantes importantes du Projet et leurs activités est vérifié, le niveau d'atteinte du but du Projet s'avère élevé. Toutes les activités contribuent à l'atteinte du but du Projet. Comme expliqué en haut dans le niveau d'atteinte des résultats 2-1-1, la majorité des activités produisent bien des résultats. L'efficacité du Projet est donc élevée. Pour maintenir cet état, le réarrangement des résultats et la révision de tous les indicateurs ainsi que les activités s'y rapportant sont nécessaires.

(3) Conditions extérieures à remplir pour l'atteinte du but du Projet

Condition extérieure (1) « La situation économique et de la sécurité publique ne s'aggravent pas considérablement. »

Vu la situation de la sécurité au Niger, le niveau de surveillance de la sécurité par le gouvernement japonais /JICA s'est élevé au Niger. Les experts japonais sont obligés de donner des instructions à distance pour l'activité du suivi à cause de leurs déplacements limités. Ils ont donc des difficultés d'aborder correctement les problèmes et de prendre les décisions appropriées. En plus, l'envoi d'une partie des experts à court terme a été annulé. Malgré cette situation, les experts à long terme font des efforts pour minimiser l'impact négatif sur les activités du Projet. Pour le moment, grâce à leurs efforts, il n'existe pas de grands facteurs pouvant entraver l'atteinte du but du Projet.

« Efficience »

L'efficience du Projet est élevée.

(1) Situation de l'atteinte des résultats

Comme indiqué dans 2-1-1 Niveau d'atteinte des résultats, en dehors de l'activité au niveau des collèges, qui est suspendue à la suite du remaniement ministériel, les autres résultats devront être atteints. L'information sur l'état d'avancement des activités est efficacement partagée par la bonne communication entre le Projet et la C/CGDES à travers les réunions mensuelles. Les interviews effectués auprès des acteurs concernés

ont montré que la méthode adoptée “mise en scène” dans toutes les formations permet de manière efficace et efficiente le transfert de compétences techniques jusqu’au niveau des écoles. En plus, l’activité des livrets d’exercices relative au PMAQ est hautement apprécié et très demandé. Cela favorisera une bonne réalisation des activités.

Le problème de sécurité a causé quelques inconvénients, le retard ou l’annulation de l’envoi d’experts et les instructions données par les experts à distance sur l’activité du suivi à cause de leurs déplacements limités. Mais pour remédier à cette situation, le Projet a recours au personnel local et aux ONG pour mener les activités d’une manière efficiente à travers une bonne communication avec la C/CGDES. De ce point de vue, les résultats produits par rapport aux intrants tels que les experts japonais dépassent le niveau escompté au moment de la revue à mi-parcours.

(2) Relation de causalité entre les activités et les résultats

Comme indiqué dans l’Efficacité (3) Relation de causalité entre le but du Projet et les résultats, le recadrage des résultats et la révision des indicateurs ainsi que les activités s’y rapportant sont nécessaires.

(3) Conditions extérieures à remplir pour l’atteinte des résultats

Condition extérieure(1) Beaucoup de homologues ne sont pas mutés sur une courte durée.

En effet, la mutation assez fréquente d’homologues ne doit pas intervenir sur une courte durée. Car, lors du changement d’homologues, toutes les dispositions sont prises sans délai, pour expliquer aux nouveaux entrants les activités du Projet et leur dispenser des formations selon la nécessité. Mais pour le moment, les effets de cette condition ne sont pas suffisamment ressentis et n’aura pas donc un impact négatif.

Condition extérieure(2) La situation économique et de l’ordre public ne s’aggrave pas. Voir les conditions extérieures figurant sur l’Efficacité

(4) Situation des attributions des intrants

A propos de l’envoi des experts, il y a eu le raccourcissement de la durée du mandat ou l’annulation de l’envoi à cause du problème de sécurité. Mais pour y faire face, le personnel du Projet est mis à disposition. En ce qui concerne les matériels de bureau et les véhicules, ils ont été acquis par le Projet comme prévu et utilisés efficacement (les deux parties se sont mises d’accord que les matériels et véhicules soient rétrocédés au Ministère à travers la C/CGDES après la fin du Projet. Quant aux autres matériels comme les véhicules pour les activités de suivi et articles de bureau qui étaient nécessaires avec l’agrandissement du bureau de la C/CGDES, ils ont été fournis sans

aucun problème.

(5) Efficience

Concernant l'emploi du personnel local, la consignation du travail à des consultants locaux et ONGs a facilité efficacement l'avancement d'un travail énorme à traiter.

« Impact »

Quelques impacts du Projet ont été observés. Vu les raisons suivantes, le niveau d'atteinte de l'objectif global se justifie comme élevé.

(1) Perspective de l'atteinte de l'Objectif Global du Projet

Le Projet a comme objectif global d'améliorer la qualité et l'accès à l'éducation à travers la gestion scolaire basée sur la participation communautaire qui sera atteint de 3 à 5 ans après la fin du Projet. Plus concrètement parlant, il vise à améliorer les indicateurs d'éducation (les taux de scolarisation, de redoublement, d'abandon, d'achèvement, entre autres) et la performance des élèves.

Les interviews effectuées auprès de plusieurs acteurs concernés par le Projet au cours de la revue à mi-parcours ont montré que beaucoup d'entre eux reconnaissent que l'objectif global pourrait être atteint. En matière de taux de scolarisation, de redoublement, d'abandon, une tendance d'amélioration a été constatée.

Par ailleurs, les activités des CGDES visant à améliorer la qualité de l'éducation sont en cours de réalisation et leurs effets pourront contribuer sûrement à l'amélioration du taux d'achèvement et des performances des élèves. En plus, les livrets d'exercices qui sont en cours d'expérimentation ont un grand retentissement et ils sont fortement demandés par différents niveaux des acteurs de l'éducation (gouvernement central, parents d'élèves) pour qu'ils soient vulgarisés à travers tout le pays. En effet, l'introduction des livrets d'exercices a permis d'améliorer la performance et la fréquentation des élèves.

La vulgarisation du PMAQ et sa pérennisation par chaque CGDES permettront l'amélioration de la performance des élèves, apportant ainsi un impact positif sur les taux de redoublement, d'abandon et d'achèvement.

(2) Relation de causalité entre l'objectif global et le but du Projet

Comme moyen d'améliorer chaque indicateur d'éducation qui est l'objectif global, le Projet soutient le renforcement de la fonctionnalité des CGDES. Les CGDES jouent un rôle important pour le développement de l'éducation au Niger (qualité et l'accès à l'éducation) dans le processus de décentralisation. Dans cette situation, si le but du Projet (renforcement du rôle et de la fonctionnalité des CGDES en gestion scolaire pour le développement de l'éducation au Niger (la qualité et l'accès à l'éducation)) est atteint

et pérennisé, il est raisonnable que l'objectif global sera conséquemment atteint.

(3) Conditions extérieures à remplir pour l'atteinte du but du Projet

Condition extérieure(1) « Le budget du Ministère de l'Enseignement Primaire est assuré. »

Le détail est vérifié dans la Durabilité du Projet.

Condition extérieure (2) Les enseignants sont suffisamment affectés dans chaque école : D'après le PSEF2014-2024, depuis 1998 où une masse de contractuels ont commencé à être engagées, le nombre des enseignants est passé de 11.000 en 1999 à 45.000 en 2011. Si le nombre de contractuels continue à augmenter, un enseignant pour 45 élèves sera affecté dans 10 ans. Par ailleurs, l'affectation des enseignants a une tendance à se concentrer en milieu urbain au détriment du milieu rural. Si cette tendance continue, il est beaucoup possible qu'elle devienne un facteur d'empêchement de l'atteinte de l'objectif global. C'est ainsi qu'il est nécessaire de continuer à suivre cette condition extérieure.

(4) Autres effets indirects

Etant donné que le Projet EPT a commencé par le Niger en Afrique de l'ouest, le Niger est un pays modèle pour ses pays voisins : Voyage d'étude du Ministère Burkinabé de l'Education en avril 2013, - la tenue de l'atelier de partage d'expériences avec le Sénégal sur l'octroi de la subvention aux écoles en octobre 2013, - Visite de la délégation du Ministère ivoirien de l'Education en août 2014.

Dans le Projet de JICA qui est en cours de réalisation en Côte d'Ivoire, les modules d'amélioration de la gestion scolaire qui ont été développées au Niger sont utilisés efficacement comme référence.

Le Niger comme pays modèle a des effets importants sur ses pays voisins. Il est en train d'établir un réseau avec ses pays voisins à travers des voyages d'études au Niger pour contribuer à l'apparition des effets d'activités de gestion scolaire dans l'ensemble de l'Afrique occidentale.

D'autres parts, la gestion de la communauté par l'administration locale a été observée comme impact qui n'était pas attendu. Il s'agit de la carte d'identité. Dans les zones pilotes pour la gestion des ressources, la carte est nécessaire pour ouvrir un compte bancaire. Les populations locales ont connu la carte et commencé à l'avoir. Dans le même sens, comme l'acte de naissance est nécessaire pour aller à l'école, les enfants ont commencé maintenant à avoir leurs actes de naissance. En outre, il y a des villages qui utilisent les CGDES mis en place pour d'autres buts. Le poste de santé mène l'activité de sensibilisation à travers les CGDES pour protéger la santé de la population locale. Il

en résulte que les CGDES qui constituent un axe du rassemblement communautaire recèlent beaucoup de potentialités.

(5) Autres impacts négatifs

Aucun impact négatif des activités du Projet n'a été observé au cours de la revue à mi-parcours.

« Durabilité »

La possibilité de la pérennisation et de l'ancrage des résultats du Projet est moyenne.

(1) Aspects politique et institutionnel

La durabilité de l'aspect politique/ institutionnel est élevée.

Comme indiqué dans la « Pertinence », « Le Programme Sectoriel de l'Education et de la Formation (PSEF 2014~2024) » vise le renforcement du rôle, des capacités et des attributions des CGDES et le renforcement des capacités de l'administration scolaire aux niveaux régional, départemental et communal dans la décentralisation et la déconcentration. Etant donné que la mise en place du système de suivi d'activités des CGDES visée par le Projet devra être réalisée avant la fin du Projet, la politique pour soutenir intégralement aux activités des CGDES sera établie. Par conséquent, la durabilité sur l'aspect politique est assurée. Mais la mise en place d'un système de suivi sûr est nécessaire.

(2) Aspect organisationnel/financier

La durabilité sur l'aspect financier est élevée. Mais l'établissement d'une structure plus stable des FCC/CGDES est nécessaire.

Comme résultat du Projet, les frais du suivi des CGDES sont prévus dans le budget national. Actuellement, en ce qui concerne les frais de la tenue de l'atelier national de partage d'expériences qui est l'instance du suivi au niveau central, le Projet apporte son soutien de faire en sorte qu'ils soient aussi inclus dans le budget national. Si cela se réalise, tous les frais sur les activités du suivi seront pris en charge par l'Etat.

Quant aux FCC, il est important qu'elles collaborent avec les collectivités locales. Le budget des FCC provient de la cotisation de chaque CGDES et du soutien communal. Il existe des communes qui ne sont pas assez coopératives avec leurs fédérations. Dans ce cas, les frais de la tenue de 3 AG des fédérations nécessaires au suivi sont couverts par les cotisations des fédérations. Mais, les autres activités pour le soutien aux CGDES deviennent limitées. Le Projet a donc conçu l'Approche Forum pour mettre sur pied un cadre de concertation communale entre les FCC et les communes. La mise en place de

ce cadre permettra aux fédérations de fonctionner correctement.

Quant aux CGDES, ils fonctionnent avec les cotisations payées par les parents d'élèves et des autres membres de la communauté. Puisque la cotisation n'est pas coercitive, le taux de recouvrement de la cotisation des membres est différent selon les CGDES. D'après les interviews, les parents d'élèves sont de plus en plus conscients de l'importance de l'école et plus coopératifs qu'avant. Cependant, dans les zones pilotes, il y a des parents qui n'ont pas payé leur cotisation à cause de la subvention octroyée aux CGDES. Les CGDES leur ont expliqué que la subvention serait octroyée uniquement aux CGDES qui fonctionnent bien par la participation communautaire. Désormais, il est nécessaire d'en tenir compte et d'assurer la qualité des formations des CGDES pour minimiser un impact négatif par l'octroi de la subvention.

Par ailleurs, la subvention par le fonds commun de PME/AFD aux CGDES a été décidée. 2.800 écoles dans 5 régions en feront l'objet. Elle sera fournie sur 4 années à partir de 2014. La C/CGDES prévoit de dispenser les formations basées sur les résultats du Projet pour que les subventions soient correctement utilisées et gérées. Pour que l'octroi des subventions produisent des effets, il est important de dispenser les formations d'une manière appropriée avant l'octroi des subventions d'où la nécessité de combiner efficacement la coopération financière et technique.

(3) Aspect technique

Le niveau de la durabilité est moyen sur l'aspect technique. L'accélération du transfert de compétences techniques du suivi et le développement du modèle du PMAQ sont nécessaires.

Pour la tenue des différents ateliers /réunions relatifs au suivi d'activités de CGDES, les compétences techniques ont été transférées à travers la mission conjointe du suivi. Mais quant à la collecte et l'analyse des données sur les activités de CGDES, les compétences techniques n'ont pas été suffisamment transférées. Les homologues ont exprimé leur souhait de renforcer leurs capacités en ces techniques. Le personnel de la C/CGDES auto-évalue sa capacité comme non suffisantes pour élaborer et évaluer des plans d'actions annuels.

Concernant les autres activités de CGDES, elles sont relativement bien menées grâce aux résultats des Phase 1 et Phase 2. Mais, par rapport aux nouveaux personnels entrants après les nouvelles mutations, il est nécessaire que des formations appropriées soient organisées à leur intention.

En ce qui concerne le PMAQ dans les zones cibles, le problème de pérennisation des facilitateurs pour l'activité des livrets d'exercices a été constaté lors d'interviews. Tenant compte de la pérennisation du PMAQ, il est important d'en développer un modèle dans le cadre de l'expérimentation.

2-3-1 Facteurs ayant contribué à l'émergence des effets

(1) Organisation des formations complètes

Différentes formations basées sur la technique de simulation (mise en scène) dans lesquelles chaque participant joue un rôle réussissent en terme de transfert efficace de compétences techniques.

Au Niger où le taux de alphabétisation est faible; le transfert des connaissances envers les populations n'est pas une chose facile. C'est ainsi que la méthode adoptée est très efficace.

En outre, les formations dispensées à tous les niveaux en cascade, surtout au niveau de la population contribuent à l'émergence des effets.

(2) Le suivi efficace des activités et la diffusion des résultats

Dans le cadre des activités de l'expérimentation du modèle de subvention, le suivi efficace et la diffusion des résultats des activités a permis d'autres partenaires au développement de comprendre le Projet et d'utiliser un outil de formation qui a été développé par le Projet lors de l'octroi de subventions.

(3) Participation des acteurs clés à la Formation au Japon

La participation à la formation au Japon a permis aux homologues de mieux comprendre le Projet. C'est grâce à un soutien fort du secrétaire général qui y a participé que les frais de suivi des CGDES ont été budgétisés dans le budget national. L'invitation des acteurs clés au Japon à temps opportun a contribué à l'émergence des effets.

2-3-2 Facteurs qui ont entravé l'émergence des effets

1) En ce qui concerne le renforcement des capacités de la C/CGDES, l'équipe du Projet s'est toujours chargée de la collecte et l'analyse des bilans des plans d'actions de l'école en associant la C/CGDES. Les deux parties ont discuté du transfert des compétences techniques pour que la C/CGDES s'en occupe dorénavant. La C/CGDES a commencé à s'en charger. Les deux parties n'ont pas discuté du travail dont la C/CGDES devait s'occuper en matière de transfert de compétences les plus urgents. Ainsi, le transfert des compétences a pris du retard.

2-4 Conclusion

Dans l'ensemble, le niveau d'atteinte de chaque composante du Projet est jugé élevé.

Parmi les 5 critères d'évaluation, la pertinence et l'efficacité sont élevées. En matière d'efficience, avec les intrants limités, divers efforts sont fournis pour garantir l'exécution des activités nécessaires de sorte que les effets relativement grands commencent à apparaître. Quant à l'impact, le niveau d'atteinte de l'objectif global par le PMAQ est élevé.

En ce qui concerne la durabilité, la dimension de l'engagement politique et organisationnel d'un niveau d'atteinte est élevée. Mais pour rendre la durabilité plus sûre, la nécessité du transfert de compétences sur le plan financier et technique et du renforcement de la collaboration entre les CGDES et les collectivités territoriales a été observée.

Comme indiqué dans « Efficacité », il est nécessaire de recadrer les résultats et de réviser les indicateurs pour mieux clarifier les futures orientations du Projet.

3 Recommandations

(1) Renforcement des capacités de la C/CGDES et l'accélération du transfert des compétences techniques à la C/CGDES ;

(Par rapport au Ministère de l'Enseignement Primaire et au Projet)

La C/CGDES a un besoin en renforcement de capacités en matière de collecte et d'analyse des informations sur le suivi ainsi que d'élaboration des plans relatifs aux activités de la C/CGDES, de leur budgétisation, d'exécution des activités et d'évaluation. Pour renforcer leurs capacités en question, il est nécessaire d'élaborer un plan du transfert de compétences techniques et de l'exécuter d'ici 6 mois.

(2) Renforcement et pérennisation du système de suivi des CGDES

(Par rapport au Ministère de l'Enseignement Primaire et au Projet)

La revue a constaté que le système de suivi des CGDES fonctionne actuellement en allant du niveau de la communauté jusqu'au niveau régional grâce à l'installation des FCC. Il sera nécessaire que la C/CGDES au niveau central assure désormais la gestion et la surveillance de ce qui a été mis en place au niveau régional afin d'évaluer globalement les activités des CGDES à travers le pays et arrêter les lignes directives/stratégies. De ce point de vue, le Projet doit prévoir des activités qui permettront à la C/CGDES de procéder par elle-même à l'évaluation du système de suivi actuel dans le cadre du renforcement de leurs capacités (indiqué au point ci-dessus (1)) et d'établir sur la base de son évaluation une mesure concrète de renforcement du système qui sera adoptée comme système de suivi officiel.

Il est important d'introduire les modules de CGDES dans le programme de la formation des instituteurs du point de vue de la durabilité des activités de CGDES à long et à moyen terme. Pour ce faire, il est nécessaire que les frais du suivi de restitution au niveau des Ecoles Normales sont pris en charge par la C/CGDES.

(3) Renforcement de la collaboration entre les Fédération Communales des CGDES et les collectivités territoriales (communes)

(Par rapport au Ministère de l'Enseignement Primaire et au Projet)

La politique de décentralisation de l'école est une politique importante du gouvernement nigérien. Les CGDES mènent des activités permettant la réalisation des objectifs fixés par cette politique. Pour mener leurs activités efficacement et durablement, dans le cadre de l'approche forum pérenne, la région de Tahoua est en train de mettre en place à titre expérimental un mécanisme de collaboration entre les différents acteurs (les collectivités territoriales dont notamment les gouverneurs promeuvent le processus de décentralisation de l'école) qui permet l'élaboration et l'exécution des plans pour prendre en charge les problèmes de l'éducation à l'échelle régionale. Dans ce mécanisme, certains résultats porteurs (comme la réalisation des activités pour améliorer la qualité de l'éducation avec la clarification des rôles joués par les acteurs concernés) ont été constatés. Il est donc nécessaire de continuer les activités du Projet dans ce sens pour prouver les effets résultant de l'activité expérimentale afin d'élargir le mécanisme aux autres régions.

Pour l'élargissement du mécanisme, il est nécessaire que le Ministère de l'Enseignement Primaire mette à disposition un budget pour y parvenir. En conséquence, il est nécessaire de déterminer le montant du budget avant la fin du mois de mars 2015, période prévue pour la préparation et l'élaboration du budget de l'année 2016.

(4) Elaboration du plan pour vulgariser les différentes activités pilotes à l'échelle nationale (Par rapport au Ministère de l'Enseignement Primaire, au Projet et à la JICA)

(a) Activité pilote sur la subvention

Le résultat de l'activité pilote relative à la subvention a montré la nécessité de renforcer les capacités des CGDES et les acteurs concernés en gestion de la subvention pour promouvoir l'activité visant à améliorer la gestion scolaire et la performance des élèves en particulier avec une utilisation efficace des fonds de subvention. Ainsi, il faut faire en sorte que le paquet de formation pour le développement de ces capacités soit approuvé par le Ministère de l'Enseignement Primaire comme paquet indispensable pour l'introduction de toutes les subventions et ainsi servir de base de la vulgarisation à travers tout le pays. Afin d'établir un modèle plus efficace de subvention pour améliorer la qualité de l'éducation, l'activité pilote relative à la subvention doit se

poursuivre au cours de l'exécution du Projet.

(b) PMAQ

D'après des interviews effectuées auprès des acteurs concernés sur le résultats des activités pilotes, le PMAQ a permis l'amélioration de la performance des élèves à travers l'introduction des livrets d'exercices en mathématiques. Le Projet continue à mener les activités pilotes en vérifiant les effets de l'apprentissage pour établir un modèle permettant l'élargissement des activités avec les expériences accumulées. En outre, les résultats ainsi obtenus à travers les activités efficaces pour l'amélioration de la qualité doivent être partagés avec les autres régions que celles ciblées par le Projet à l'occasion de la tenue de l'atelier de partage d'expériences. En ce qui concerne le contenu des livrets d'exercices de mathématiques, les interviews auprès des acteurs concernés, ont laissé entendre la nécessité de développer un contenu qui permettra d'accélérer le rythme d'apprentissage. La JICA et le Projet doivent s'y mettre sans tarder.

(5) Recadrage des activités du Projet au niveau de l'enseignement secondaire

(Par rapport au Ministère des Enseignements Secondaires et au Projet)

Malgré l'existence de la CNP/COGES chargée de la mise en œuvre de la politique des COGES au niveau du Ministère des Enseignements Secondaires, le renforcement institutionnel de cette cellule n'a pas encore commencé. Dès que la structure au niveau central est bien établie, il est donc nécessaire de reprendre dès les activités pilotes visant à établir un modèle fonctionnel de COGES dans les établissements de l'enseignement secondaire en se fondant sur les expériences acquises au niveau de l'enseignement primaire. Il est attendu que le modèle sera établi et approuvé pour que toute la structure de base pour sa vulgarisation soit mise en place avant la fin du Projet.

(6) Le partage d'informations entre les acteurs concernés par le Projet

(Par rapport au Ministère de l'Enseignement Primaire et au Projet)

Pour maximiser l'émergence des effets du Projet, il est indispensable de partager davantage les informations entre les acteurs concernés. Plus particulièrement, une bonne collaboration entre la C/CGDES, le personnel du Projet et les experts japonais. Ceci passe par l'élaboration et le partage d'informations du plan à long et moyen terme. Ce qui permettra le renforcement des capacités de la C/CGDES et l'élévation de la durabilité de l'ensemble des activités du Projet à travers les activités conformes au plan prévu.

Plus concrètement, sur la base du plan d'activités du prochain semestre déjà établi (du mois d'août 2014 au mois de février 2015), l'équipe du Projet et la C/CGDES vérifient

la structure d'exécution de chaque activité pour établir un mécanisme de coopération. Egalement, il faut que l'équipe du Projet et la C/CGDES se réunissent une fois par mois selon le plan d'activités mensuelles détaillé sur une durée de 6 mois. En plus, il est important que les experts japonais visitent fréquemment la C/CGDES pour aborder différents thèmes. Par ailleurs, la diffusion des informations telles que les généralités et les résultats du Projet et surtout les informations relatives aux nouveaux défis est très importante d'où la nécessité de préparer un outil de transmission des informations au public à travers les médias.

(7) Révision du cadre logique

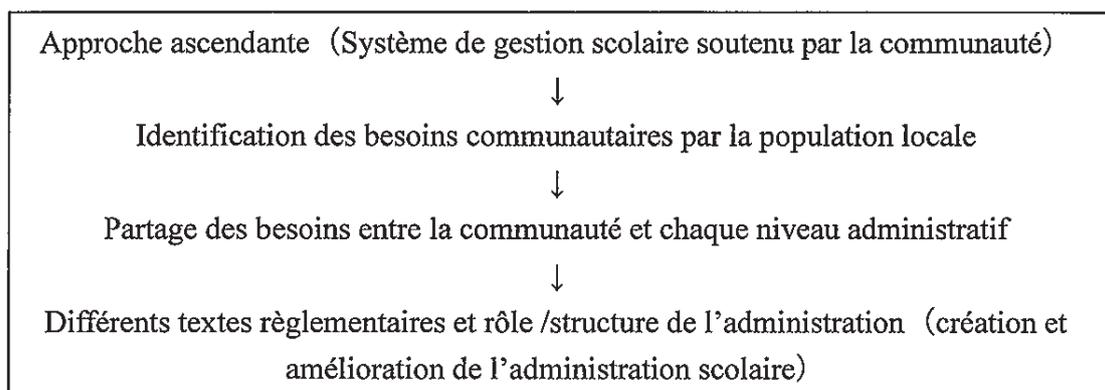
(Par rapport au Ministère de l'Enseignement Primaire et au Projet)

Après des discussions entre les acteurs concernés sur la révision du cadre logique se basant sur les propositions faites par la présente revue à mi-parcours, la révision sera décidée au sein du comité mixte de coordination avant la fin du mois d'octobre. En même temps, le Plan d'Opération sera vérifié et révisé.

4 Leçons tirées

(1) Efficacité de l'approche ascendante dans la décentralisation

Le présent Projet qui comprend la Phase 1 et la Phase 2 a établi par l'approche ascendante un système de gestion scolaire soutenu par la communauté locale et a renforcé les capacités de la communauté pour qu'elle puisse saisir elle-même les besoins communautaires dans la décentralisation. Le mécanisme mis en place à travers le Projet permet de partager les besoins saisis par la communauté avec chaque niveau administratif. Dans ce mécanisme, les rôles joués par l'administration et le Ministère de l'Enseignement Primaire sont en train d'être déterminés pour répondre aux besoins de la communauté.



Dans un pays qui n'a pas suffisamment de capacité en matière d'administration scolaire

dans le processus de décentralisation, cette approche ascendante est efficace.

(2) Importance de l'établissement du réseau à travers le partage d'expériences avec les pays voisins

Les activités de la gestion décentralisée des établissements scolaires sont menées dans chaque pays en Afrique occidentale concomitamment avec le processus de décentralisation. Les voyages d'études sont organisés afin de partager les expériences entre les pays de l'Afrique de l'ouest, les partages des expérimentations menées dans d'autres pays et les résultats obtenus ont produits des impacts considérables. Ce partage d'expériences permet d'encourager l'émulation entre les pays et d'élever l'appropriation du projet par les acteurs concernés.

(3) Communication efficace ; la communication efficace passe par des stratégies de formation en tenant compte de niveau d'alphabétisation des acteurs cibles

Elle est basée sur la mise en scène participative qui joue un rôle important et est très efficace pour transmettre des connaissances (messages). Comme le taux d'analphabétisme est très élevé au Niger, les formations ont été dispensées par cette approche, ce qui a permis la réalisation des formations inclusives destinées à la communauté. Ainsi, cette approche peut servir de méthode de formation efficace dans un pays ou une région dont le taux d'alphabétisation est faible.)

(4) Efforts pour améliorer les compétences académiques des enfants et partage d'informations avec les acteurs concernés

Dans les activités pilotes du PMAQ, la réalisation d'importantes heures d'apprentissage avec les cours de rattrapage, études de nuit et tutorat ou l'introduction des outils complémentaires pour des activités extrascolaires (livrets d'exercices de mathématique) ont permis d'améliorer les compétences fondamentales des élèves. En effet, le renforcement de leurs compétences est dû d'une part à la formations/informations reçues par les facilitateurs sur l'utilisation et la conduite des activités du PMAQ et d'autre part à l'introduction des livrets d'exercices ont permis aux enfants de renouer avec le plaisir d'apprendre et d'obtenir le sentiment d'accomplissement à travers l'apprentissage. Par ailleurs, le résultat du pré-test avant de commencer cette activité fait révéler que le niveau des élèves en compétences fondamentales pose un sérieux problème. Les parents d'élèves et les CGDES deviennent conscients de la nécessité d'améliorer la qualité de l'éducation, faisant ainsi monter l'intérêt et l'adhésion de la communauté. Les CGDES mènent des activités pour répondre aux préoccupations de la communauté. Il est donc extrêmement important de partager les informations sur la situation actuelle de l'éducation.

En outre, il est à noter que les facilitateurs conduisent minutieusement les activités de l'apprentissage des enfants à travers leur facilitation pour renforcer leurs capacités dans les acquisitions fondamentales des élèves. Ces outils de remédiation contribuent non seulement à l'amélioration de la performance des enfants, mais aussi au renforcement des capacités des facilitateurs.

Ceci constitue une approche nouvelle qui diffère d'une approche adoptée dans la plupart de projets d'éducation de base de la JICA qui visaient à renforcer les compétences des enseignants en facilitation à travers la formation des enseignants..

5 Révision du Cadre Logique

Comme indiqué dans '2-2-2 5 critères d'évaluation « Efficacité »', le réarrangement du résultat est réarrangé en 2 composantes et les indicateurs des résultats et du but du Projet sont révisés comme suit: (Voir la révision de Cadre Logique qui comprend les activités (projet))

(1) Résultats

avant le changement	Révision proposée
Résultat 1: Un système qui pérennise les activités de CGDES qui contribue au développement de l'éducation (qualité et accès à l'éducation) est établi.	pas de changement
Résultat 2: Le rôle et les capacités de CGDES en gestion des ressources sont renforcées dans les zones pilotes.	Résultat 2 Les modèles suivants sont développés afin d'améliorer la qualité et l'accès à l'éducation à travers les activités de CGDES. 2-1 Modèle de l'Approche forum durable 2-2 PMAQ 2-3 Modèle de gestion des ressources (modèle de subvention) 2-4 Modèle de CGDES fonctionnel aux collègues
Résultat 3: La politique mettant en valeur les CGDES est établie et exécutée dans la décentralisation de l'administration scolaire..	à supprimer (à intégrer dans Résultat 1)

Dans le Résultat 1, les activités relatives au renforcement des capacités en suivi de CGDES et à l'introduction des modules de CGDES dans la formation initiale des nouveaux recrutés sont fixées.

Les expérimentations d'élaboration de 4 modèles sont dans le Résultat 2.

(2) Indicateurs des résultats

Avant le changement	Révision proposée
<p>Résultat 1</p> <p>1) Plus de 95% des FCC qui ont participé au forum organisé au niveau régional tiennent au moins une assemblée générale après le forum.</p> <p>2) Plus de 80% des CGDES révisent leurs plans d'actions de l'école pour inclure les activités mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation (introduction des cours de rattrapage ayant un effet positif sur l'amélioration du taux d'atteinte d'apprentissage)</p> <p>3) Le nombre de réunions d'informations tenues par les administrateurs aux niveaux central, régional et départemental augmente</p> <p>4) Un système de suivi de CGDES est officiellement approuvé par le MEP/A/PLN/EC</p> <p>5) Le système de suivi des activités des COGES est officiellement approuvé</p> <p>6) Plus de 90% de collèges mettent en place le COGES composé de membres démocratiquement élus à travers des scrutins libres et à bulletins secrets.</p> <p>7) Plus d'un plan d'actions est exécuté dans plus de 80% de collèges</p>	<p>1) Un système de suivi des CGDES est établi et approuvé officiellement</p> <p>2) Plus de 80% des réunions de suivi des CGDES (Atelier de partage d'expérience (2 fois/an), Réunions de PF des CGDES (nombre à déterminer), AG de FCC (3 fois/an)) sont tenues dans l'ensemble du pays.</p> <p>3) Le taux de récupération des bilans des plans d'actions des CGDES maintient plus de 90%.</p> <p>4) Le plan d'action annuel de la C/CGDES est élaboré et l'Etat met à disposition un budget qui correspond au plan.</p> <p>5) Les modules de CGDES sont introduits dans plus de 70 % des écoles normales.</p>
<p>Résultat 2</p> <p>1) La proportion des CGDES qui ont suivi la formation en gestion des ressources</p>	<p>Résultat 2</p> <p>1) Le budget pour la participation aux fora est assuré dans plus de 80% des communes cibles.</p>

<p>s'accroît</p> <p>2) La proportion des ressources gérées par les CGDES s'accroît</p> <p>3) La proportion des activités axées sur la qualité s'accroît.</p>	<p>2) Le résultat de l'apprentissage à l'aide des livrets d'exercices de mathématique s'améliore dans plus de 90 % des écoles pilotes (relevé des données dans chaque niveau de classe des écoles)</p> <p>3) Le modèle de gestion des ressources est élaboré et utilisé dans plus de 80% des CGDES qui bénéficient des subventions.</p> <p>4)-1 Les membres de CGDES sont élus démocratiquement dans plus de 90% des collèges pilotes.</p> <p>4)-2 Les plans d'actions scolaires sont exécutés dans plus de 80% des collèges pilotes.</p>
<p>Résultat 3</p> <p>1) Une politique relative aux CGDES est établie.</p> <p>2) Un plan annuel du Ministère de l'Enseignement Primaire qui reflète la politique relative aux CGDES est élaboré.</p> <p>3) Existence de la politique/plan du Ministère de l'Enseignement Primaire qui inclut le renforcement de la fonctionnalité des CGDES en matière de contrôle et de gestion des ressources</p>	<p>à supprimer (à intégrer dans les résultats 1 et 2)</p>

(3) Indicateurs du but du Projet

avant le changement	révision proposée
<p>1. La proportion des CGDES qui soumettent les plans d'action à leur fédérations et au MEN/A/PLN s'accroît.</p>	<p>【indicateur 1】 (Accès) Le nombre de classes dans l'enseignement primaire est assuré en fonction du nombre des enfants à scolariser.</p>
<p>2. La proportion des ressources gérées par CGDES s'accroît dans les zones pilotes.</p>	<p>【indicateur 2】 ((Qualité) La durée des heures supplémentaires (cours supplémentaires et études de nuit) assurées par les CGDES maintient plus de 150 heures par an</p>

	<p>【indicateur 3】 (Rôle) FCC des CGDES qui bénéficient du soutien des communes (plus de 80%)</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

L'indicateur 1 avant le changement est intégré dans le résultat 1 comme l'indicateur du renforcement des capacités en suivi de CGDES.

L'indicateur 2 avant le changement est intégré dans le résultat 2 comme il est une des composantes pour le développement du modèle.

Dans la version révisée, pour mesurer correctement le niveau d'atteinte du but du Projet' Le rôle et les capacités des CGDES en gestion décentralisée des établissements scolaires sont renforcées pour le développement de l'éducation au Niger (qualité et accès à l'éducation).

(4) Indicateurs de l'Objectif global

avant le changement	révision proposée
Indicateur 2 Amélioration du niveau d'atteinte de l'apprentissage	Indicateur 2 Proportion des élèves qui ont terminé l'enseignement primaire

Concernant l'indicateur 2, l'examen final a été aboli. Depuis l'année scolaire 2013, les élèves qui ont obtenu la note moyenne des 3 examens trimestriels (plus de 5 points sur 10) finissent l'enseignement primaire. Par conséquent, comme alternative de l'indicateur qui mesure le degré de niveau d'atteint de l'apprentissage, la proportion des élèves qui ont fini l'enseignement primaire peut remplacer l'examen final. Par ailleurs, on a constaté que la note de passage varie selon la capacité d'accueil des collèges ou des centres de formations professionnelles et qu'il y a le problème de précision des statistiques. De ce fait, il faut en tenir compte pour la vérification du niveau d'atteinte des indicateurs. En outre, il est à noter qu'il n'est pas approprié de remplacer simplement l'indicateur actuel qui est le taux de réussite de l'examen final par cette alternative.

6 Autres (Membres du Comité Mixte de Coordination dont le Ministère des Enseignements Secondaires)

Après le démarrage du Projet, le remaniement ministériel a eu lieu. Et, le Ministère des Enseignement Secondaires a été créé. Les 3 parties se sont mises d'accord pour que le coordinateur de la CNP/COGES devient un des membres du Comité.

ANNEXE 1 Cadre Logique

ANNEXE 2 PO




- ANNEXE 3 Grille d'évaluation
- ANNEXE 4 Réalisations des intrants du Projet
- ANNEXE 5 Réalisations des activités du Projet (ateliers tenus, manuels élaborés.
Comité Mixte de Coordination)
- ANNEXE 6 Cadre Logique (Projet de version révisée)

ⁱ Il est prévu au mois d'octobre 2014

#

2

7

ANNEXE I: Cadre Logique du Projet (PDM) version 1.0 (mars 2012)

ANNEXE 1

Titre du Projet: "Ecole Pour Tous; Projet d'Appui au Développement de l'Éducation à travers la participation communautaire"

Zone cible: Toutes les régions (Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, Tahoua, Tillabéri, Zinder)

Groupe cible: Parents/membres de la communauté, directeurs d'écoles, enseignants des écoles, et administrateurs régionaux de l'éducation

Durée: le 1er mai 2012 - le 31 avril 2016 (4 ans)

RESUME LOGIQUE	INDICATEURS CLÉS ET MÉTHODES DE VÉRIFICATION	MONTRES D'AVANCEMENT	CONDITIONS PRÉALABLES
OBJECTIF GLOBAL La qualité et l'accès de l'éducation de base sont améliorés par la gestion de l'école à travers la participation communautaire	Amélioration du taux de scolarisation Amélioration concernant le taux de redoublement Amélioration concernant le taux d'abandon Amélioration du taux d'achèvement Amélioration concernant les acquis scolaires	Statistiques de MEN/A/PLN, DREN, IEB	
BUT DU PROJET Les attributions et les capacités des CGDES sont renforcées afin de contribuer au développement de l'éducation (accès et qualité) au Niger	Le taux des CGDES qui ont soumis leurs rapports annuels à leurs 1 Fédérations Communales des CGDES (FC/CGDES) respectives et au MEN/A/PLN est amélioré 2 Le taux d'augmentation des ressources gérées par CGDES dans la zone d'intervention	1 Rapports des PFs / ORs 2 Rapports de l'Évaluation par le Projet	La politique éducative du Niger qui donne de l'importance au CGDES n'a pas changé
RESULTATS 1 Un système pour appuyer les CGDES fonctionnels pour le développement de l'éducation au Niger est mis en place	1-1 Plus de 95% des FC/CGDES des régions ayant organisé des fora ont tenu une Assemblées Générales de restitution du forum régional 1-2 Plus de 80% de CGDES révisent leurs Plans d'Actions d'école mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation 1-3 Nombre de réunions tenues au niveau central, régional et départemental est amélioré 1-4 Le système de suivi des activités des CGDES est officiellement approuvé par MEN/A/PLN 1-5 90% des écoles secondaires de Niger ont mis en place des CGDES à travers des élections démocratiques 1-6 Plus de 80% de CGDES au niveau de cycle base II ont mis en oeuvre au moins une activité dans le cadre du Plan d'actions de l'école	1-1 Rapports de DREN/A/PLN 1-2 Rapports de PFs / ORs 1-3 Rapports de la C/CGDES, DREN/A/PLN, RFs / ORs 1-4 Documents sur la politique ou la stratégie officiellement approuvée 1-5 Rapports de PFs / ORs 1-6 Rapports de PFs / ORs	Les écoles n'ont pas connu de perturbation importante La situation de pauvreté des ménages ne s'empire pas
2 Les rôles et attributions des CGDES dans la gestion scolaire sont renforcés en vue d'une meilleure gestion des ressources dans la Zone d'intervention	2-1 Pourcentage de CGDES formés en gestion des ressources est augmenté dans la zone d'intervention 2-2 Pourcentages de l'augmentation du montant de ressources gérées par les CGDES est amélioré dans la zone d'intervention. 2-3 Pourcentage des Plans d'actions de l'école mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation augmente	2-1 Rapports par le Projet 2-2 Rapports de l'Évaluation par le Projet 2-3 Documents sur la Politique ou la Planification de MEN/A/PLN	
3 Des stratégies pour renforcer les attributions des CGDES dans un système éducatif décentralisé sont développées et mises en oeuvre	3-1 La politique sur le CGDES est élaboré 3-2 Existence de Plan annuel du MEN/A/PLN qui reflète la politique et les activités de CGDES 3-3 Existence de politiques et/ou plans du MEN/A/PLN qui reflète la gestion de ressources par les CGDES	3-1 Politique par MEN/A/PLN 3-2 Plan Annuel par MEN/A/PLN 3-3 Politique ou plan/documents sur le programme sectoriel par MEN/A/PLN	

ANNEXE I: Cadre Logique du Projet (PDM) version 1.0 (mars 2012)

Titre du Projet: "Ecole Pour Tous; Projet d'Appui au Développement de l'Éducation à travers la participation communautaire"

Zone cible: Toutes les régions (Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, Tahoua, Tillabéri, Zinder)

Groupe cible: Parents/membres de la communauté, directeurs d'écoles, enseignants des écoles, et administrateurs régionaux de l'éducation

Durée: le 1er mai 2012 - le 31 avril 2016 (4 ans)

ACTIVITÉS	INTERVENTIONS		MÉCANISMES ASSOCIÉS
	HAUT	BAS	
1-1 Appuyer l'organisation de Fora Régionaux 1-2 Appuyer le développement d'un paquet minimum d'activités pour l'amélioration de la qualité de l'éducation 1-3 Appuyer l'organisation de réunions et de suivi des activités du CGDES par les niveaux central, régional et départemental 1-4 Evaluer le système de suivi des CGDES 1-5 Appuyer l'organisation d'un atelier national pour valider le système de suivi des CGDES 1-6 Appuyer la mise en place des CGDES fonctionnels et leur système de suivi au niveau du cycle de Base II 1-7 Appuyer l'introduction du Module des CGDES dans la formation initiale des enseignants	Affectation d'experts japonais 1) Experts à long terme - Chef du Projet / Conseiller Technique en éducation - Chargé de Suivi des CGDES - Développement de capacité - Coordinateur 2) Experts à court terme en cas de besoin	Affectation des personnels - Secrétaire Général, Secrétariat Général du Ministère de l'Éducation Nationale, de l'Alphabétisation et de la Promotion des Langues Nationales (MEN/A/PLN) - Directeur Général de la Scolarisation, MEN/A/PLN - Directeur, Direction Générale de la Formation et des Curricula, MEN/A/PLN a) - Directeur, Direction des Etudes et de la Programmation, MEN/A/PLN - Directeur, Direction des Statistiques, MEN/A/PLN - Coordinateur National de la C/CGDES, MEN/A/PLN - Directeurs, Directions Régionales de l'Éducation Nationale, de l'Alphabétisation et de la Promotion des Langues Nationales	
2-1 Mener une étude sur la capacité des CGDES à gérer les ressources de de l'école et une évaluation des besoins des CGDES en renforcement des capacités en gestion des ressources 2-2 Elaborer un module de formation sur le renforcement des capacités des CGDES en gestion des ressources. 2-3 Appuyer la mise en oeuvre des formations des CGDES en gestion des ressources. 2-4 Appuyer les activités des CGDES dans la gestion des ressources. 2-5 Exécuter l'évaluation des interventions 2-6 Faire des recommandations au Ministère sur le rôle des CGDES dans la gestion des ressources de l'éducation	b) Fourniture d'équipement: moyens nécessaires pour le suivi, etc. (Si c'est nécessaire) c) Allocation du coût de mise en œuvre du Projet	Fourniture de bureaux b) c) Allocation du coût de mise en œuvre du Projet	(coordonner les) La politique de CGDES existe
3-1 Vulgariser et partager les résultats des activités du Projet aux réunions des PTF 3-2 Faire des recommandations et appuyer la planification pour le développement de l'éducation à travers les CGDES 3-3 Appuyer le renforcement des capacités dans la gestion des CGDES au niveau central	d) Autres		

* CGDES : Comité de Gestion Décentralisée des Etablissements Scolaires

** FC/CGDES : Fédération Communale des CGDES

*** C/CGDES : Coordination des CGDES

Rubrique #	Questions d'évaluation		Éléments d'évaluation/méthode	Informations et données nécessaires	Sources d'informations	Méthode de collecte	
	Grande rubrique	Sous-rubrique					
V é r i f i c a t i o n d u p r o c e s s u s	Contrôle et Gestion du Projet	Y a-t-il des problèmes qui ont surgi au cours de la réalisation des activités? A quoi sont-ils dus ?	Vérification des activités réalisées et des problèmes surgis	Problèmes surgis et leurs raisons	• Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA	Revue des documents Interview	
		Le suivi et la situation de la réalisation	Comment le suivi a-t-il été réalisé? Comment les résultats du suivi ont-ils été retournés sur le Projet? Les mesures prises par rapport aux problèmes étaient-elles suffisantes?	Situation de la réalisation des réunions sur le Projet			
	Appropriation des homologues	La communication interne au sein du Projet était-elle suffisante ?	La situation de la communication entre les experts et leurs homologues	Les Comptes-rendus des réunions tenues pour le partage d'informations sur les activités du Projet et la fréquence de la tenue des réunions et la méthode de communication, l'existence de problèmes ou non, la méthode de règlement des problèmes et	• Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA		
		Le soutien du siège de la JICA et de son bureau local était-il approprié?	La communication entre le siège/bureau local et le Projet et la situation du soutien	Le tableau sur l'affectation, durée et contenu des activités des homologues et résultats			
	La coopération avec d'autres donateurs	L'affectation des homologues était-elle appropriée ?	La compétence et le nombre des homologues affectés étaient-ils appropriés ?	Les résultats des activités et le degré de participation des homologues aux activités du Projet	• Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA		
		Le degré de participation des homologues aux activités du Projet	Les homologues ont-ils participé activement au Projet?	La part de la prise en charge des frais de formation et de réunions			
		La proportion de la prise en charge de l'organe d'exécution dans les frais d'opération du Projet	La part de la prise en charge des frais de formation et de réunions	Opinions des participants et personnes concernées			
		Les résultats de la formation au Japon	Comment les 5 participants à la formation organisés au Japon appliquent-ils leurs acquis sur le Projet?	La part de la prise en charge des frais généraux du Projet	• Interview aux participants		
		La coopération avec d'autres donateurs	La coopération avec d'autres bailleurs de fonds était-elle menée efficacement?	La situation de la coopération avec d'autres donateurs et les effets des activités menées à travers la coopération	La vérification de la coopération		• Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA Donateurs concernés
	P e r t i n e n c e	La nécessité	Le but du Projet et son objectif global correspondent-ils à la politique actuelle de développement au Niger et aux besoins des groupes cibles?	La vérification de la cohérence	La politique nationale d'éducation		• Politique d'éducation nationale • Rapport de l'étude du plan détaillé
Le degré de priorité pour le côté japonais		Le Projet est-il conforme à la politique d'assistance japonaise et au plan des activités de la JICA par pays?	Politique d'assistance japonaise Programmes d'activités de JICA selon le pays		• Politique d'assistance japonaise • Programmes d'activités de JICA selon le pays	Examen des documents	
La pertinence de la méthode		Le PMAQ et l'approche forum sont-ils appropriés comme méthode pour contribuer au règlement des problèmes d'éducation au Niger à travers le renforcement de la fonctionnalité des COGES.	La vérification de la pertinence de la méthode adoptée	Opinions des personnes concernées	• Rapport de l'étude du plan détaillé • Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA	Revue des documents Interview	
		L'approche de l'introduction des subventions est-elle une approche efficace pour le renforcement des capacités en contrôle et gestion des ressources?					
		Le choix des groupes cibles est-il approprié?(grandeur, proportion homme-femme)	Les raisons du choix des groupes cibles pour chaque activité				Les raisons du choix
		Y a-t-il des effets indirects sur d'autres groupes cibles?	Les effets indirects				Effets indirects
	N'y a-t-il pas de changement de l'environnement qui entoure le Projet(politique, économie, société, etc.)?	Le changement environnemental	Le changement environnemental				
E f f i c a c i t é	Atteinte du but du Projet	Y a-t-il des possibilités que le Projet atteigne son objectif? Les indicateurs des résultats établis sont-ils appropriés? Quels sont les facteurs qui empêchent et favorisent l'achèvement du Projet ?	(Résultats de la vérification des réalisations)			Revue des documents Interview	
	La relation de causalité entre le but du Projet et ses résultats	L'établissement des indicateurs des résultats est-il approprié?	Vérification de la relation de causalité	Vérification des indicateurs	• Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA		
		Les conditions extérieures pour arriver au but du Projet restent-elles encore à présent justifiées? La possibilité de remplir les conditions extérieures est-elle grande?	[Conditions extérieures] • Les écoles ne sont pas gênées. • La pauvreté ne s'aggrave pas.	Vérification de l'impact des conditions extérieures			
E f f i c i t	Situation de la production des résultats	Le niveau d'atteinte des résultats est-il approprié? L'établissement des indicateurs des résultats est-il approprié? Quels sont les facteurs qui empêchent et favorisent l'atteinte des résultats?	(Résultats de la vérification des réalisations)				
	Relation de causalité entre les résultats et les activités	empêchent et favorisent l'atteinte des résultats? Les conditions extérieures depuis les activités jusqu'aux résultats restent-elles encore à présent justifiées? N'y a-t-il pas de conséquences des conditions extérieures?	Vérification de la relation de causalité	Vérification des indicateurs Facteurs d'empêchement/ de contribution	Résultats des activités, Opinion des personnes concernées		
			[Conditions extérieures] 1. Plusieurs homologues ne sont pas mutuels. 2. La situation économique et de l'ordre public ne se détériore pas considérablement.	Vérification de l'impact des conditions extérieures			

Rubrique	Questions d'évaluation		Eléments d'évaluation/méthode	Informations et données nécessaires	Sources d'informations	Méthode de collecte
	Grande rubrique	Sous-rubrique				
V é r i f i c a t i o n d e s r é s u l t a t s	Intrants introduits	(Partie japonaise) Les intrants sont-ils comme prévu?	(Plan) - 4 experts à long terme (Suivi, Renforcement des capacités et Vulgarisation des COGES (éducation secondaire), Coordination), Experts à court terme (Conseiller en chef/Conseiller en éducation/évaluation de l'éducation selon la nécessité) - Véhicules, Machines de bureau - Frais d'activités - Frais de formation au Janon et dans un pays	Intrants prévus et intrants introduits	- Rapport d'activités du Projet - Rapport d'évaluation préalable	Revue des documents Interview
		(Partie nigérienne) Les intrants sont-ils comme prévus?	(Coût prévu) - Personnel homologué - Bureau du Projet et son entretien - Suivi du Projet			
	Niveau d'atteinte des résultats	Résultat 1 : Un système qui permet de pérenniser aux COGES fonctionnels de poursuivre le développement de l'éducation (la qualité et l'accès à l'éducation) est mis en place.	[Indicateur 1] Plus de 95% des fédérations des CGDES qui ont participé au forum organisé au niveau régional tiennent au moins une assemblée générale après le	Bilan des assemblées générales des fédérations tenues après les forums	- Rapport du Projet - Rapport des assemblées générales des fédérations	Réexamen des documents Interview Acquisition des documents
			[Indicateur 2] Plus de 80% des CGDES révisent leur plans d'actions d'école pour inclure les activités mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'é	Statistiques du plan annuel sur les activités scolaires/Résultats d'analyse	- Rapport du Projet - PF des CGDES	
			[Indicateur 3] Le nombre de réunions d'information tenues par les administrateurs aux niveaux central, régional et départemental augmente.	Compte-rendus des réunions d'information	- Rapport du Projet - Ministère de l'Éducation, PF des CGDES	
			Le système de suivi des activités de CGDES est mis en place.	Le système de suivi mis en place	- Rapport du Projet - Ministère de l'Éducation	
			[Indicateur 4] Le système de suivi d'activités des CGDES est officiellement approuvé par le MENA/PLN.	Actes du système de suivi d'activités officiellement reconnu		
			[Indicateur 5] Les CGDES composés de membres démocratiquement élus comme l'élection sous l'anonymat sont mis en place dans plus de 90% de collèges.	Actes de la mise en place de COGES	- Rapport du Projet - PF des CGDES	
	Niveau d'atteinte de l'objectif du Projet	L'objectif du Projet : Le rôle et les capacités des CGDES dans la gestion des établissements scolaires sont renforcés pour le développement de l'éducation au Niger (la qualité et l'accès à l'éducation).	[Indicateur 6] Un plan d'action d'école au moins est mis en oeuvre dans plus de 80% de collèges.	Statistiques annuelles des plans d'action scolaire/Résultats d'analyse	- Rapport du Projet - PF des CGDES	Revue des documents Interview Acquisition des documents
			Le module des CGDES est introduit dans la formation initiale des enseignants.	Organismes d'exécution de la formation initiale des enseignants	- Rapport du Projet - Ministère de l'Éducation	
La part des COGES formés en contrôle et gestion des ressources augmente dans les zones pilotes.			Rapports de la formation réalisée Modules de la formation	- Rapport du Projet - Participants à la formation		
[Indicateur 2] La part des ressources contrôlées et gérées par les CGDES augmente dans les zones pilotes.			Rapport le contrôle et la gestion des ressources	- Rapport du Projet - Compte-rendu des activités de la fédérations des CGDES/CGDES		
Perspective de l'atteinte de l'objectif global	Perspective du degré d'atteinte de l'objectif global: La qualité et l'accès à l'éducation de base améliorent par la gestion scolaire à travers la participation	[Indicateur 3] La part des activités mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation dans les plans d'actions scolaires augmente dans les zones pilotes.	Les statistiques des bilans annuels des plans d'actions scolaires/Résultats		Réexamen des documents Interview Acquisition des documents	
		L'évaluation de l'impact de l'introduction des subventions est effectuée.	Evaluations des impacts	- Rapport du Projet - Archives de l'Institut de Recherche de la JICA		
		Le rôle des CDDes dans le contrôle et la gestion des ressources est proposé au Ministère de l'Éducation.	Vérification du processus jusqu'à la proposition des recommandations	- Rapport du Projet - Ministère de l'Éducation		
Avancement des activités et Situation de la réalisation des activités	Les activités sont-elles menées comme prévu? Y a-t-il des activités qui n'ont pas été suffisamment réalisées ou celles qui ne produisent pas suffisamment d'effets? Pour quelles raisons?	[Indicateur 1] La politique relative aux CGDES est établie.	Présence ou absence de la politique établie	- Rapport du Projet - Ministère de l'Éducation	Revue des documents Interview Acquisition des documents	
		[Indicateur 2] Le plan annuel du Ministère de l'Éducation qui reflète la politique relative aux CGDES est élaboré.	Présence ou absence du plan annuel élaboré			
Avancement des activités et Situation de la réalisation des activités	Les activités sont-elles menées comme prévu? Y a-t-il des activités qui n'ont pas été suffisamment réalisées ou celles qui ne produisent pas suffisamment d'effets? Pour quelles raisons?	[Indicateur 3] Existence de la politique/plan du Ministère de l'Éducation qui inclut le renforcement de la fonction des CGDES en matière de contrôle et de gestion des ressources	Présence ou absence de la politique et du plan			
		Les résultats des activités du Projet sont partagés avec les donateurs/partenaires dans des réunions.	Comptes rendus des réunions et résultats			
Avancement des activités et Situation de la réalisation des activités	Les activités sont-elles menées comme prévu? Y a-t-il des activités qui n'ont pas été suffisamment réalisées ou celles qui ne produisent pas suffisamment d'effets? Pour quelles raisons?	[Indicateur 1] La part des CGDES qui soumettent leurs rapports annuels sur les plans d'actions scolaires à leurs fédérations respectives et au MENA/PLN s'accroît.	Résultats des statistiques relevées sur le taux de réalisation des plans d'actions annuels	- Rapport du Projet - Observateur de CDGES	Revue des documents Interview Acquisition des documents	
		[Indicateur 2] La part des ressources contrôlées et gérées par les COGES s'accroît dans les zones pilotes.	Rapport d'activités de contrôle et de gestion des ressources			
Avancement des activités et Situation de la réalisation des activités	Les activités sont-elles menées comme prévu? Y a-t-il des activités qui n'ont pas été suffisamment réalisées ou celles qui ne produisent pas suffisamment d'effets? Pour quelles raisons?	[Indicateur 1] Les indicateurs d'éducation (le taux de scolarisation, le taux de redoublement, le taux d'abandon, le taux d'achèvement, etc.) s'améliorent.	Indicateur de l'éducation	- Statistiques du Ministère de l'Éducation	Réexamen des documents Interview Acquisition des documents	
		Plan d'action et vérification de la situation de la réalisation	Compte-rendu des activités réalisées			
Avancement des activités et Situation de la réalisation des activités	Les activités sont-elles menées comme prévu? Y a-t-il des activités qui n'ont pas été suffisamment réalisées ou celles qui ne produisent pas suffisamment d'effets? Pour quelles raisons?	Vérification des activités réalisées	Vérification des activités/effets insuffisants et identification des causes	- Rapport du Projet - Homologues Experts de JICA		

Rubrique	Questions d'évaluation		Éléments d'évaluation/méthode	Informations et données nécessaires	Sources d'informations	Méthode de collecte	
	Grande rubrique	Sous-rubrique					
c e n c e	Situation des intrants introduits	L'affectation d'experts, la fourniture d'équipements et l'allocation du budget étaient-elles effectuées à temps opportun?	Compatibilité entre les réalisations, activités et l'atteinte des résultats et les intrants prévus	Coût des intrants, Opinions des personnes concernées	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA 	Revue des documents Interview	
		La participation à la formation au Japon contribue-t-elle efficacement à l'atteinte du but du Projet?	Efficacité du coût de la formation au Japon				
	Coût	La consignation du travail à des ONG locales est-elle efficace en terme de coût?	Efficacité du coût de la consignation du travail	Logique des intrants réalisés et leurs résultats			
La combinaison du Projet avec d'autres programmes de JICA et la coopération avec d'autres organisations d'assistance produisent-elles des effets positifs?							
I m p a c t	Perspectives de l'atteinte de l'objectif global	L'objectif global commence à être atteint comme les effets du Projet ?	Evolution des indicateurs et opinions des personnes concernées	Indicateurs, Opinions des personnes concernées	<ul style="list-style-type: none"> • Statistiques du Ministère de l'Éducation • Homologues, Experts de JICA 	Revue des documents Interview Collecte des documents	
		Les mesures pour atteindre l'objectif global sont-elles conçues?		Le plan d'action	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport de l'étude du plan détaillé • Rapport du Projet • Homologues, Experts de JICA 	Revue des documents Interview	
		Y a-t-il des éléments d'empêchement pour atteindre l'objectif global?		Éléments d'empêchement prévus	<ul style="list-style-type: none"> • Homologues, Experts de JICA 	Interview	
	Le rapport entre l'objectif global du Projet et son but	N'y a-t-il pas un écart entre l'objectif global et le but du Projet?			Logique de l'objectif global et du but du Projet	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport de l'étude du plan détaillé • Rapport du Projet • Homologues 	
		Les conditions extérieures depuis le but du Projet jusqu'à l'objectif global restent-elles encore à présent justifiées? La possibilité de remplir les conditions extérieures est-elle grande?	[Conditions extérieures] La politique d'éducation centrée sur les activités des CGDES au Niger ne change pas	Vérification de l'impact des conditions extérieures	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA 	Interview	
	La conséquence indirecte	Les effets autres que l'objectif global sont-ils escomptés?	Impact positif	Opinions des personnes concernées	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA 	Revue des documents Interview	
Le Projet a-t-il des répercussions sur d'autres pays d'Afrique francophones? Y a-t-il un impact négatif? Quelles sont des mesures pour l'éliminer?		Le soutien technique aux pays voisins du Niger, Cas du partage d'expériences du Niger Impact négatif					
D u r a b i l i t é (p r é v u)	Aspect politique/institutionnel	La politique d'éducation mise en accent sur les COGES pourra-t-elle continuer après la fin du Projet?		Opinions des personnes concernées	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA 	Interview	
		Est-il prévu que la politique sur les activités des CGDES planifiées par le Projet continuera ?					
	Aspect organisationnel/financier	La politique de soutien à la vulgarisation des résultats du Projet à d'autres régions est-elle bien assurée?		Opinions des personnes concernées	Homologues Experts de JICA	Interview	
		La C/CDGES du Ministère de l'Éducation met-il à disposition un personnel et un budget nécessaires pour exécuter les activités des COGES dans tout le pays?					
		Les bureaux régionaux d'éducation mettent-ils à disposition un personnel et un budget nécessaires pour diriger les activités des COGES au niveau régional? Les fédérations des CGDES disposent-elles de la capacité organisationnelle et de sources du revenu pour la pérennisation de leurs activités?					
		Les CGDES disposent-ils de la capacité organisationnelle et de sources du revenu pour la pérennisation des activités de contrôle et de gestion des ressources?					
	Aspect technique	Est-il prévu que la subvention du Ministère de l'Éducation sera institutionnalisée? Y a-t-il la possibilité de soutien de donateurs ?		Opinions des personnes concernées	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport du Projet • Homologues Experts de JICA 	Revue des documents Interview	
L'appropriation du Projet par l'organisme d'exécution est-elle bien assurée?							
Le département de la coordination des CGDES du Ministère de l'Éducation a-t-il une capacité suffisante pour élaborer la politique, exécuter les formations pour le renforcement des diverses capacités et conduire le suivi des activités des CGDES?							
Les bureaux d'éducation régionaux ont-ils une capacité suffisante pour la tenue des forums d'éducation et des assemblées générales ainsi que la conduite du suivi des CGDES?							
Les COGES ont-ils une capacité suffisante pour pérenniser les activités de contrôle/gestion des ressources?							
La capacité du personnel concerné pour conduire et pérenniser le PMAQ est-elle assurée?							
Le mécanisme de vulgarisation des activités est-il intégré dans le Projet?							

Grille d'évaluation
Projet d'Appui au Développement de l'Education à travers la Participation Communautaire au Niger (Ecole pour tous)

ANNEXE 3

Rubrique d'.	Questions d'évaluation		Eléments d'évaluation/méthode	Informations et données nécessaires	Sources d'informations	Méthode de collecte
	Grande rubrique	Sous-rubrique				
	Aspect social/culturel/environnemental	N'y a-t-il pas la possibilité d'empêcher les effets durables à cause du manque de considération des femmes, des pauvres et des personnes vulnérables sociales?			Homologues Experts de JICA	Interview
	Autres	Y a-t-il d'autres facteurs qui empêchent la durabilité du Projet?				Interview

H

D

K

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

1. Réalisations du Projet		
Eléments d'évaluation	Critères de justification (Indicateurs)	Résultats de l'étude
Réalizations des intrants		
(Côté japonais) Les intrants sont-ils comme prévus?	(Plan) • 4 experts à long terme (Suivi, Renforcement des capacités et Vulgarisation des COGES (éducation secondaire), Coordination), Experts à court terme (Conseiller en chef/Conseiller en éducation/évaluation de l'éducation selon la nécessité) • Véhicules, Machines de bureau • Frais d'activités • Frais de formation au Japon et dans un pays tiers	<ul style="list-style-type: none"> • 5 experts à long terme au total (suivi des COGES, renforcement des capacités des COGES, Coordination) • 2 experts à court terme (Conseiller en chef/ Conseiller en éducation, Enquête de base) • Véhicules pour le suivi, Machines de bureau : 27,807,000CFA (au mois de mars 2014) (Organisation de la cérémonie de remise des véhicules à la région Tilaberi et au département de la Coordination en août 2013) • Construction du bureau du département de la Coordination, Ameublement du bureau, Photocopieur • Frais d'activités pour l'organisation des formations, la rédaction des manuels, etc. : 687,619,058CFA (au 23 juin 2014) • 5 participants à la formation au Japon
(Côté nigérien) Les intrants sont-ils comme prévus?	(Plan) • Frais des homologues • Frais de location et d'entretien du bureau du Projet • Frais du suivi du Projet	<ul style="list-style-type: none"> • Frais des homologues • Le Projet loue un bureau à Niamey au cours de son exécution. • Frais de suivi Fonds de contrepartie: 52,234,143(CFA), Budget National(Programme): 350,248,000(CFA), (Décaissé): 76,132,700(CFA) (à vérifier)
Niveau d'atteinte des résultats		
Résultat 1 : Le système pour pérenniser les activités de CGDES qui contribuent au développement de l'éducation est mis en place	【Indicateur 1】 Plus de 95% des fédérations communales des CGDES qui ont participé au forum organisé au niveau régional tiennent au moins une assemblée générale après le forum.	<ul style="list-style-type: none"> • La réunion pour la préparation de l'organisation d'un forum dans la région Tahua s'est tenue en février 2014. L'accord en avril sur la mise en place du cadre de la concertation communale pour le renforcement de la coopération entre les fédérations des CGDES et les communes, le développement des modules pour la formation sur la mise en place de la commission de concertation communale, la tenue de la formation des formateurs en mai destinée à 9 PF régionaux et départementaux dans la région de Tahoua <ul style="list-style-type: none"> • Le forum d'éducation ayant le thème sur la parité de scolarisation de filles et garçons pour l'année prochaine s'est tenu le 11 juin 2014 dans la région de Tahua. • La formation sur la mise en place du cadre de concertation communale pour le développement de l'éducation au niveau communal à travers la collaboration entre les fédérations des CGDES et les communes s'est tenue le lendemain du forum. La formation a été destinée aux représentants (2 personnes par chaque fédération) des fédérations de 44 CGDES et aux maires de 44 communes. dans la région de Tahoua.(100%) Le calendrier prévu <ol style="list-style-type: none"> 1. Tenue du comité d'exécution du forum régional pour le suivi d'activités 2. Suivi par le comité d'exécution du forum régional 3. Suivi des résultats des activités et la tenue du comité d'exécution pour la préparation du prochain forum et de réunions des

8

7

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

		<p>inspecteurs</p> <p>4. Tenue du forum d'éducation régional de Tahoua en janvier 2015 et entre mai et juin 2015 selon le cycle. Etablissement d'un modèle du forum</p> <p>Parallèlement, les communes prévoient le calendrier suivant.</p> <p>1. Mise en place du cadre de concertation communale/Publication du document d'approbation de la mise en place de ce cadre par les communes (en juillet)</p> <p>2. Tenue du 1^{er} cadre de concertation communale (entre juillet et août)</p> <p>3. Activité du suivi menée par ce cadre</p> <p>4. Tenue de 2^{ème} cadre de concertation communale (entre septembre et octobre :activités/concertation sur la budgétisation)</p> <p>5. Mise en place du modèle du forum</p>																																				
	<p>【Indicateur 2】 Plus de 80% des CGDES révisent leur plans d'actions de l'école pour inclure les activités mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation (introduction des cours de rattrapage ayant un effet positif sur l'amélioration du taux d'achèvement d'apprentissage)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2011/2012</th> <th>2012/2013</th> <th>2013/2014</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Nombre total des CGDES</td> <td>15,046</td> <td>15,810</td> <td>16,587</td> </tr> <tr> <td>Taux de récupération des plans d'actions des écoles</td> <td>95.3%</td> <td>91.8%</td> <td>94.7%</td> </tr> <tr> <td>Taux de récupération bilans des plans d'actions de l'école</td> <td>88.1%</td> <td>89.2%</td> <td>92.1%</td> </tr> <tr> <td>Nombre des bilans des plans d'actions axées sur la qualité</td> <td>13.262</td> <td>14,096</td> <td>15,278</td> </tr> <tr> <td>Nombre moyen des activités menées pour l'amélioration de la qualité</td> <td>5.1</td> <td>5.1</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>① Construction des classes (nombre de CGDES réalisé/nombre des bilans analysés)</td> <td>70.5%(9346/13262)</td> <td>82.12%(11576/14096)</td> <td>81.1%(12387/15278)</td> </tr> <tr> <td>② Cours de rattrapage</td> <td>65.7%(7912/12036)</td> <td>71.30%(9531/13366)</td> <td>61.7%(9420/15278)</td> </tr> <tr> <td>③ Cours du soir/Tutorat</td> <td>48.5%(5835/12036)</td> <td>51.93%(6942/13366)</td> <td>43.5%(6639/15278)</td> </tr> </tbody> </table>		2011/2012	2012/2013	2013/2014	Nombre total des CGDES	15,046	15,810	16,587	Taux de récupération des plans d'actions des écoles	95.3%	91.8%	94.7%	Taux de récupération bilans des plans d'actions de l'école	88.1%	89.2%	92.1%	Nombre des bilans des plans d'actions axées sur la qualité	13.262	14,096	15,278	Nombre moyen des activités menées pour l'amélioration de la qualité	5.1	5.1	5.1	① Construction des classes (nombre de CGDES réalisé/nombre des bilans analysés)	70.5%(9346/13262)	82.12%(11576/14096)	81.1%(12387/15278)	② Cours de rattrapage	65.7%(7912/12036)	71.30%(9531/13366)	61.7%(9420/15278)	③ Cours du soir/Tutorat	48.5%(5835/12036)	51.93%(6942/13366)	43.5%(6639/15278)
	2011/2012	2012/2013	2013/2014																																			
Nombre total des CGDES	15,046	15,810	16,587																																			
Taux de récupération des plans d'actions des écoles	95.3%	91.8%	94.7%																																			
Taux de récupération bilans des plans d'actions de l'école	88.1%	89.2%	92.1%																																			
Nombre des bilans des plans d'actions axées sur la qualité	13.262	14,096	15,278																																			
Nombre moyen des activités menées pour l'amélioration de la qualité	5.1	5.1	5.1																																			
① Construction des classes (nombre de CGDES réalisé/nombre des bilans analysés)	70.5%(9346/13262)	82.12%(11576/14096)	81.1%(12387/15278)																																			
② Cours de rattrapage	65.7%(7912/12036)	71.30%(9531/13366)	61.7%(9420/15278)																																			
③ Cours du soir/Tutorat	48.5%(5835/12036)	51.93%(6942/13366)	43.5%(6639/15278)																																			
	<p>【Indicateur 3】 Le nombre de réunions d'information tenues par les administrateurs aux niveaux central, régional et départemental augmente.</p>	<p>Le bilan des réunions tenues</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Nombre de réunions à tenir/an</th> <th>2012/2013</th> <th>2013/2014</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【Central】 Atelier de partage d'expériences</td> <td>2 fois</td> <td>2 fois</td> <td>2 fois</td> </tr> <tr> <td>【Régional】 Réunion des inspecteurs</td> <td></td> <td>8 fois (8 régions×1 fois)</td> <td>2 (2 fois pour la région de Tahoua seulement)</td> </tr> <tr> <td>【Régional】 Réunions des PF des CGDES</td> <td></td> <td>25 fois (1 fois au niveau national+8 régions×3 fois)</td> <td>16 fois (8 régions×2fois)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Après la reprise du fonds de contrepartie en mars 2013, les réunions des PF des CGDES se tiennent régulièrement. Vu que les frais de réunions des PF des CGDES et du atelier de partage d'expériences seront désormais inclus dans le budget national, elles devront se tenir périodiquement alors que les frais de réunions des inspecteurs sur le soutien au suivi des activités des fédérations des CGDES/CGDES ne sont pas encore le cas. Les frais sont donc pris en charge pour le moment par le Projet.</p>		Nombre de réunions à tenir/an	2012/2013	2013/2014	【Central】 Atelier de partage d'expériences	2 fois	2 fois	2 fois	【Régional】 Réunion des inspecteurs		8 fois (8 régions×1 fois)	2 (2 fois pour la région de Tahoua seulement)	【Régional】 Réunions des PF des CGDES		25 fois (1 fois au niveau national+8 régions×3 fois)	16 fois (8 régions×2fois)																				
	Nombre de réunions à tenir/an	2012/2013	2013/2014																																			
【Central】 Atelier de partage d'expériences	2 fois	2 fois	2 fois																																			
【Régional】 Réunion des inspecteurs		8 fois (8 régions×1 fois)	2 (2 fois pour la région de Tahoua seulement)																																			
【Régional】 Réunions des PF des CGDES		25 fois (1 fois au niveau national+8 régions×3 fois)	16 fois (8 régions×2fois)																																			

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

	<ul style="list-style-type: none"> • Environ 130 personnes ont participé à des assemblées générales des CGDES et des fédérations des CGDES. Elles sont des officiels du Ministère de l'Éducation au niveau central, conseillers au gouvernement en éducation (conseillers en éducation au cabinet du Président, conseillers en éducation à la Primature), directeurs généraux des bureaux d'éducation de 8 régions, PF des CGDES régionaux, y compris des inspecteurs de bureaux d'éducation départementaux et de cycle 2 de l'éducation de base. (édition août 2013) 																						
Un système de suivi d'activités des CGDES est mis en place.	<ul style="list-style-type: none"> • Le suivi conjoint des réunions des inspecteurs de 8 régions et le suivi des assemblées générales des fédérations des COGES dans la région de Tilabéri ont été réalisés entre le mois de juillet et le mois d'août 2012 à travers la formation sur le tas. Ces suivis ont permis le transfert de compétences techniques au département de la C/CGDES et le renforcement des capacités du département. (Le 1er Rapport) • Au sein de l'atelier de partage d'expériences des CGDES qui s'est tenu, la situation des plans d'actions pour l'amélioration de la qualité de l'éducation a été évaluée. En plus, pour faire face au signe du dysfonctionnement des fédérations des CGDES, les causes fondamentales ont été analysées. (le 2^{ème} Rapport) • Pour renforcer le suivi dirigé par le département de la Coordination, il est prévu d'organiser un atelier de formation sur la méthode de traitement des données par Excel nécessaire aux travaux d'analyse (édition juin 2014) 																						
【Indicateur 4】 Un système de suivi d'activités des CGDES est officiellement approuvé par le MEN/A/PLN.	(à vérifier l'approbation prévue)																						
【Indicateur 5】 Les CGDESS composés de membres élus démocratiquement à travers des scrutins libres et et secret sont mis en place dans plus de 90% de collèges.	<p>Les activités menées relatives à la mise en place des CGDES fonctionnels aux collèges</p> <table border="1"> <tr> <td>Février 2013</td> <td>Enquête de base sur les CGDES aux collèges (18 collèges à Niamey)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Sélection de 3 écoles pilotes</td> </tr> <tr> <td>~mars</td> <td>Organisation de la formation sur la mise en place des CGDES et la tenue de l'assemblée électorale dans les écoles pilotes(association des parents d'élèves, élection des membres des CGDES</td> </tr> <tr> <td>mars</td> <td>Organisation de la formation sur l'élaboration des plans d'actions de l'école</td> </tr> <tr> <td>avril</td> <td>Concertation avec les acteurs principaux dans chaque école, réunions de la population locale</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Commencement des activités ; Réalisation des cours supplémentaires</td> </tr> <tr> <td>mai</td> <td>Atelier du partage d'expériences : Efforts pour élever le taux de réussite à l'examen final</td> </tr> <tr> <td>juin</td> <td>Réalisation de l'examen blanc dans 3 écoles</td> </tr> <tr> <td>juillet</td> <td>Résultats de l'examen final</td> </tr> <tr> <td>août</td> <td>L'indicateur 5 a été à l'ordre du jour de l'atelier de partage d'expériences des fédérations CGDES/CGDES</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Comme les collèges ont été rattachés à un autre Ministère après le remaniement ministériel, les activités ont été suspendues.</td> </tr> </table> <p>2 écoles sur 3 (66.6%) ont mis en place les CGDES par l'élection démocratique. < Entretiens avec le Ministère de l'Enseignement secondaire > octobre et novembre 2013 (avec le directeur de la planification du Ministère), mars et mai 2014 (avec le directeur de la scolarisation) :</p>	Février 2013	Enquête de base sur les CGDES aux collèges (18 collèges à Niamey)		Sélection de 3 écoles pilotes	~mars	Organisation de la formation sur la mise en place des CGDES et la tenue de l'assemblée électorale dans les écoles pilotes(association des parents d'élèves, élection des membres des CGDES	mars	Organisation de la formation sur l'élaboration des plans d'actions de l'école	avril	Concertation avec les acteurs principaux dans chaque école, réunions de la population locale		Commencement des activités ; Réalisation des cours supplémentaires	mai	Atelier du partage d'expériences : Efforts pour élever le taux de réussite à l'examen final	juin	Réalisation de l'examen blanc dans 3 écoles	juillet	Résultats de l'examen final	août	L'indicateur 5 a été à l'ordre du jour de l'atelier de partage d'expériences des fédérations CGDES/CGDES		Comme les collèges ont été rattachés à un autre Ministère après le remaniement ministériel, les activités ont été suspendues.
Février 2013	Enquête de base sur les CGDES aux collèges (18 collèges à Niamey)																						
	Sélection de 3 écoles pilotes																						
~mars	Organisation de la formation sur la mise en place des CGDES et la tenue de l'assemblée électorale dans les écoles pilotes(association des parents d'élèves, élection des membres des CGDES																						
mars	Organisation de la formation sur l'élaboration des plans d'actions de l'école																						
avril	Concertation avec les acteurs principaux dans chaque école, réunions de la population locale																						
	Commencement des activités ; Réalisation des cours supplémentaires																						
mai	Atelier du partage d'expériences : Efforts pour élever le taux de réussite à l'examen final																						
juin	Réalisation de l'examen blanc dans 3 écoles																						
juillet	Résultats de l'examen final																						
août	L'indicateur 5 a été à l'ordre du jour de l'atelier de partage d'expériences des fédérations CGDES/CGDES																						
	Comme les collèges ont été rattachés à un autre Ministère après le remaniement ministériel, les activités ont été suspendues.																						

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

		<p>Le comité mixte de coordination a approuvé la reprise de l'activité pilote pour le développement du modèle fonctionnel des CGDES de l'enseignement secondaire en février 2014.</p> <p>Les propositions suivantes ont été faites auprès du Ministre et du SG de l'Enseignement secondaire. Ils ont donné leurs accord.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Le présent Projet se limitera à l'activité pilote sur le développement du modèle et ne pourra pas aller jusqu'à la mise à l'échelle du modèle. -La création d'une structure responsable des activités relatives à la politique de CGDES -La désignation du point focal du Projet -La révision progressive de décret ministériel en conformité avec le développement du modèle -Pour le soutien à la mise à l'échelle du modèle développé, il sera possible de soumettre une requête du nouveau projet à la JICA. <p>Le soutien technique pour formuler la requête sera possible dans le cadre du Projet.</p> <p>Actuellement, les discussions et la préparation d'un arrêté ministériel relatif au renforcement de la structure chargée des CGDES sont en cours au sein du Ministère de l'Enseignement Secondaire.</p>																				
	<p>[Indicateur 6] Un plan d'action d'école au moins est mis en oeuvre dans plus de 80% de collèges.</p>	<p>Toutes les 3 écoles pilotes ont mis en oeuvre leurs plans d'actions de l'école.</p> <p>Les cours de rattrapage et examens blanc prévus dans les plans d'actions ont été réalisés pour améliorer le taux de réussite d'examen final.</p> <p>Résultats de l'examen final obtenus après les activités menées dans les 3 écoles pilotes (édition août 2013)</p> <table border="1" data-bbox="869 699 1653 839"> <thead> <tr> <th>Nom d'école</th> <th>2011 (%)</th> <th>2012 (%)</th> <th>2013 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CEG Gaouway</td> <td>29.20</td> <td>47.06</td> <td>53.00</td> </tr> <tr> <td>CEG 24</td> <td>43.88</td> <td>41.33</td> <td>74.54</td> </tr> <tr> <td>CEG 35</td> <td>-</td> <td>43.01</td> <td>62.45</td> </tr> <tr> <td>Moyenne nationale</td> <td>35.89</td> <td>48.10</td> <td>46.80</td> </tr> </tbody> </table>	Nom d'école	2011 (%)	2012 (%)	2013 (%)	CEG Gaouway	29.20	47.06	53.00	CEG 24	43.88	41.33	74.54	CEG 35	-	43.01	62.45	Moyenne nationale	35.89	48.10	46.80
Nom d'école	2011 (%)	2012 (%)	2013 (%)																			
CEG Gaouway	29.20	47.06	53.00																			
CEG 24	43.88	41.33	74.54																			
CEG 35	-	43.01	62.45																			
Moyenne nationale	35.89	48.10	46.80																			
	<p>Le Paquet minimum axé sur la qualité est développé et son efficacité est prouvé.</p>	<p>[Élaboration des livrets d'exercices]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2012/2013 : Élaboration des livrets d'exercices de mathématique (première version) soutenu par un expert japonais <u>(7 livrets élaborés : No1~No5, 2 livrets pour les réponses aux questions No1, No2)</u> • entre septembre et novembre 2012: 1 école cible, <p>Expérimentation des livrets élaborés dans le bureau EPT à partir du mois de février 2013</p> <ul style="list-style-type: none"> • entre juin et décembre 2013 : Élaboration des livrets d'exercices de mathématique soutenu par le siège de la JICA (Recherche du Projet) <u>(3 livrets élaborés : pré-mathématique No1, No2)</u> • Après le mois d'avril 2013~ : Élaboration et expérimentation des livrets d'exercices de français <p>[Activité pilote pour le développement du PMAQ]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 écoles cibles pour 2012/2013 : test de niveau (pré-test + post-test), soutien aux réunions communautaires, formation des CGDES pour l'introduction du PMAQ, formation des facilitateurs pour les livrets d'exercices, distribution des livrets, suivi d'activités • 107 écoles pour 2013/2014: test de niveau (pré-test, mi-parcours, post-test) , formation des formateurs pour l'activité du PMAQ (Inspecteurs, Conseillers en éducation, PC CGDES, Fédération des CGDES y ont participé.), <u>formation des CGDES pour l'introduction du PMAQ (2 ps./CGDES, 2 représentants des fédérations : participation de 120 ps. au total), formation des facilitateurs pour l'apprentissage à l'aide des livrets d'exercices (2 ps./CGDES, 2 représentants des fédérations : participation de 120 ps. au total), distribution des livrets d'exercices aux écoles cibles (16.100 livrets distribués), suivi</u> 																				

B

F

		<p>d'activités</p> <table border="1"> <caption>PMAQ TEST Karma+Ny5: Points moyens obtenus</caption> <thead> <tr> <th>Catégorie</th> <th>Pretest dec 2013</th> <th>Test final mai 2014</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CI (sur 12)</td> <td>1.61</td> <td>6.06</td> </tr> <tr> <td>CP (sur 24)</td> <td>8.10</td> <td>15.05</td> </tr> <tr> <td>CE1 (sur 44)</td> <td>16.78</td> <td>24.25</td> </tr> <tr> <td>CE2 (sur 56)</td> <td>21.89</td> <td>30.31</td> </tr> <tr> <td>CM1 (sur 66)</td> <td>29.69</td> <td>37.55</td> </tr> </tbody> </table> <p>Comparaison des tests d'avant et après l'introduction des livrets d'exercices Prévu en été 2015</p>	Catégorie	Pretest dec 2013	Test final mai 2014	CI (sur 12)	1.61	6.06	CP (sur 24)	8.10	15.05	CE1 (sur 44)	16.78	24.25	CE2 (sur 56)	21.89	30.31	CM1 (sur 66)	29.69	37.55
Catégorie	Pretest dec 2013	Test final mai 2014																		
CI (sur 12)	1.61	6.06																		
CP (sur 24)	8.10	15.05																		
CE1 (sur 44)	16.78	24.25																		
CE2 (sur 56)	21.89	30.31																		
CM1 (sur 66)	29.69	37.55																		
<p>Le module des CGDES est introduit dans la formation initiale des enseignants.</p>	<p>Des modules de formation sur la gestion des ressources est développé.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • novembre, décembre 2012 :le module de gestion des ressources, module d'élaboration du plan(opération des ressources. Le séminaire du partage d'information sur les modules a été organisé. • enre juillet et octobre 2013: Les 2 modules ont été révisés sur la base de l'analyse des résultats des suivis, d' expériences et de divers exemples. 																		
<p>Résultat 2 : Le role et les capacités des CGDES en gestion des ressources sont renforcés dans les zones pilotes.</p>	<p>【Indicateur 1】 La part des COGES formés en gestion des ressources augmente dans les zones pilotes.</p>	<p>Régions pilotes :120 écoles sur 342 dans les régions de Tilaberi et deTododi (35%)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 370 ps.(120 écoles cibles (3 personnes /CGDES) et 5 fédérations cibles(2 ps./fédération)) ont été formées en gestion des ressources en décembre 2012. Quant à la formation en planification (opération des ressources), 190 personnes de 60 écoles et de fédérations y ont participé. Les formateurs sont 7 PF des CGDES aux niveaux régional et départemental de Tilaberi. • Les mêmes personnes mentionnées ci-dessus ont participé de nouveau à la formation utilisant le module révisé en octobre 2013. <p>< Calendrier prévu ></p> <ul style="list-style-type: none"> • Elaboration du plan (opération des ressources) , amélioration du module • Il est prévu que les activités de fourniture de la subvention destinée aux CGDES seront menées avec le fonds de PME et que les formation exploitant les module développé par le Projet seront dispensées. 																		

o

z

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

<p>【Indicateur 2】 La part des ressources contrôlées et gérées par les CGDES évolue dans les zones pilotes.</p>					2011/2012	2012/2013	2013/2014	Remarques																																			
	①	Montant total de la subvention	14,475	26,846,000	30,066,000																																						
	②	Montant moyen de la subvention par école		223,717	250,550																																						
	③	Montant moyen pour l'exécution du plan d'action par école	194,332	398,529	471,552			environ le doublement en 2012/2013 et 2,5 fois plus grande en 2013/2014 par rapport qu'avant l'intervention																																			
	④	Part des fonds autres que la subvention par école (③-②)		174,812	221,002			Augmentation d'environ 1,3 fois																																			
<p>Unité : Fcfa Source : Synthèse du rapport du Projet</p>																																											
<p>【Indicateur 3】 La part des activités mettant l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'éducation dans les plans d'actions scolaires augmente dans les zones pilotes.</p>	<p>La proportion des CGDES ayant programmé des activités axées sur la qualité</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Cours de rattrapage</th> <th>Etudes de nuit</th> <th>Cours de remédiation</th> <th>Achat des manuels scolaires et des articles de bureau</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012/2013</td> <td>64.4%</td> <td>76.3%</td> <td>31.4%</td> <td>65.2%</td> </tr> <tr> <td>2013/2014</td> <td>76.7%</td> <td>75.8%</td> <td>41.7%</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source : Rapport du Projet Rapport intermédiaire sur l'évaluation de l'intervention par l'Institut de Recherche de la JICA</p> <p>Proportion des CGDES ayant exécuté les activités suivantes</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Groupe controle (60 écoles)</th> <th>Groupe 1 (60 écoles : formation uniquement en subvention/gestion)</th> <th>Groupe 2 (60 écoles) : 補 formation en subvention/gestion + élaboration du plan</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cours de rattrapage</td> <td>67.9%</td> <td>73.2%</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>Etudes de nuit</td> <td>43.4%</td> <td>51.8%</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>Achat des manuels scolaire</td> <td>37.7%</td> <td>75.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>Achat de guide pour les enseignants</td> <td>35.8%</td> <td>69.6%</td> <td>76.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source : Rapport du Projet</p>									Cours de rattrapage	Etudes de nuit	Cours de remédiation	Achat des manuels scolaires et des articles de bureau	2012/2013	64.4%	76.3%	31.4%	65.2%	2013/2014	76.7%	75.8%	41.7%	90.0%		Groupe controle (60 écoles)	Groupe 1 (60 écoles : formation uniquement en subvention/gestion)	Groupe 2 (60 écoles) : 補 formation en subvention/gestion + élaboration du plan	Cours de rattrapage	67.9%	73.2%	87.5%	Etudes de nuit	43.4%	51.8%	87.5%	Achat des manuels scolaire	37.7%	75.0%	90.0%	Achat de guide pour les enseignants	35.8%	69.6%	76.8%
		Cours de rattrapage	Etudes de nuit	Cours de remédiation	Achat des manuels scolaires et des articles de bureau																																						
2012/2013	64.4%	76.3%	31.4%	65.2%																																							
2013/2014	76.7%	75.8%	41.7%	90.0%																																							
	Groupe controle (60 écoles)	Groupe 1 (60 écoles : formation uniquement en subvention/gestion)	Groupe 2 (60 écoles) : 補 formation en subvention/gestion + élaboration du plan																																								
Cours de rattrapage	67.9%	73.2%	87.5%																																								
Etudes de nuit	43.4%	51.8%	87.5%																																								
Achat des manuels scolaire	37.7%	75.0%	90.0%																																								
Achat de guide pour les enseignants	35.8%	69.6%	76.8%																																								
<p>L'amélioration de la performance des élèves est constatée comme résultat de l'indicateur 3 ci-dessus.</p>	<p>Extrait du rapport de l'Institut de Recherche de la JICA</p>																																										

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

	Le renforcement des capacités en contrôle et gestion des ressources permet aux CGDES de fonctionner plus activement.	<p>L'interview de terrain sur les bons exemples (édition juillet 2013)</p> <ul style="list-style-type: none"> la bonne communication entre les CGDES, directeurs d'écoles, enseignants, parents d'élèves et la population locale (réunions des CGDES, réunions des enseignants, partage d'informations sur l'objectif à atteindre avec la population locale, consentement de la population sur les activités à mener, prise de conscience sur les rôles de chacun, partage complet des résultats obtenus à travers les réunions de la communauté Exploitation active des ressources humaines (soutien des anciens élèves (parents d'élèves) et des collégiens à l'apprentissage en groupes <p>Interview sur les sites pilotes</p>																
Résultats 3 : Les stratégies mettant en valeur les CGDES dans la décentralisation de l'administration de l'éducation sont établies et exécutées.	<p>【Indicateur 1】 La politique relative aux CGDES est établie.</p>	<p>(Résultats obtenus avant la Phase II)</p> <ul style="list-style-type: none"> Publication en février 2012 du décret ministériel portant la mise en place des fédérations des CGDES /CGDES et de la C/CGDES responsable des activités des CGDES, leurs attributions et fonctions (au 22 février 2012) Les résultats des activités des CGDES figurent sur l'annuaire des statistiques de l'éducation 2012. (publication prévue au mois d'avril 2014) 																
	<p>【Indicateur 2】 Le plan annuel du Ministère de l'Éducation qui reflète la politique relative aux CGDES est élaboré.</p>	<p>Le suivi d'activités des CGDES a été inclus dans le budget de 2013 et 2014.</p> <p>Les frais du suivi d'activités des CGDES ont été approuvés dans le budget de 2014. (76,132,700CFA) Voir l'édition janvier 2014</p> <ul style="list-style-type: none"> Pour le budget de 2014, le montant double de celui de 2013 a été approuvé. Outre les frais du suivi des CGDES, les frais de formation pour les écoles nouvellement créées, les frais de renforcement des capacités des PC des CGDES et des fédérations des CGDES, les frais du séminaire sous-régional du partage d'expériences (213,576,000CFA). (édition avril 2014 pour le détail) 																
	<p>【Indicateur 3】 Existence de la politique/plan du Ministère de l'Éducation qui inclut le renforcement de la fonction des CGDES en matière de gestion des ressources</p>	<ul style="list-style-type: none"> Dans le cadre du soutien au programme éducation/formation au Niger(2014-2024), il est prévu que la subvention sera fournie aux CGDES comme sous-composant du Projet d'appui à l'éducation de base par le fonds commun de PME/AFD(2.800 écoles de 5 régions en feront l'objet) La subvention aux CGDES(200 écoles) dans les activités de la C/CGDES a été planifiée et approuvée par le Ministère de l'Éducation pour l'année fiscale 2014. 																
Niveau d'atteinte du but du Projet																		
Le but du Projet : Le rôle et les capacités des CGDES en gestion scolaire sont renforcés pour le développement de l'éducation au Niger (la qualité et l'accès à l'éducation) au Niger	<p>【Indicateur 1】 La part des CGDES qui soumettent leurs rapports annuels sur les plans d'actions scolaires à leurs fédérations respectives et au MEN/A/PLN s'accroît.</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2011/2012</th> <th>2012/2013</th> <th>2013/2014</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Nombre de CGDES dans tout le pays</td> <td>15,046</td> <td>15,810</td> <td>16,587</td> </tr> <tr> <td>Taux de récupération des plans d'actions de l'école</td> <td>95.3%</td> <td>91.1%</td> <td>94.73%</td> </tr> <tr> <td>Taux de récupération des bilans annuels des plans</td> <td>88.1%</td> <td>89.2%</td> <td>92.1%</td> </tr> </tbody> </table>		2011/2012	2012/2013	2013/2014	Nombre de CGDES dans tout le pays	15,046	15,810	16,587	Taux de récupération des plans d'actions de l'école	95.3%	91.1%	94.73%	Taux de récupération des bilans annuels des plans	88.1%	89.2%	92.1%
		2011/2012	2012/2013	2013/2014														
Nombre de CGDES dans tout le pays	15,046	15,810	16,587															
Taux de récupération des plans d'actions de l'école	95.3%	91.1%	94.73%															
Taux de récupération des bilans annuels des plans	88.1%	89.2%	92.1%															
<p>【Indicateur 2】 La part des ressources contrôlées et gérées par les CGDES s'accroît dans les zones pilotes</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2011/2012</th> <th>2012/2013</th> <th>2013/2014</th> <th>Remarques</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① Montant total de la subvention</td> <td></td> <td>26,846,000</td> <td>30,066,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② Montant moyen de</td> <td></td> <td>223,717</td> <td>250,550</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		2011/2012	2012/2013	2013/2014	Remarques	① Montant total de la subvention		26,846,000	30,066,000		② Montant moyen de		223,717	250,550			
	2011/2012	2012/2013	2013/2014	Remarques														
① Montant total de la subvention		26,846,000	30,066,000															
② Montant moyen de		223,717	250,550															

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

		la subvention par école				
		③ Montant moyen pour l'exécution du plan d'action par école	194,332	398,529	471,552	environ le doublement en 2012/2013 et 2,5 fois plus grande en 2013/2014 par rapport qu'avant l'intervention
		Part des autres fonds que la subvention par école (③-②)		174,812	221,002	Augmentation d'environ 1,3 fois
Niveau d'atteinte de l'objectif global prévu						
Le niveau d'atteinte prévu de l'objectif global « la qualité et l'accès à l'éducation de base s'améliorent par la gestion de l'école à travers la participation communautaire »	【Indicateur 1】 Les indicateurs d'éducation (le taux de scolarisation, le taux de redoublement, le taux d'abandon, le taux d'achèvement, etc.) s'améliorent.			2010-2011	2011-2012	2012-2013
		Taux brut d'admission (%)	G	106.6	103.9	106.9
			F	92.7	91.7	91.3
			Total	99.8	97.9	99.2
		Taux brut de scolarisation (%)	G	84.9	87.8	89.5
			F	67.3	70.7	74.7
			Total	76.1	79.2	82.0
		Taux de redoublement	G	-	4.37	4.4
			F	-	4.53	4.5
			Total	-	4.44	4.4
		Taux d'abandon dans l'éducation primaire	G	9.9	11.7	12.6
			F	11.4	12.7	13.5
			Total	10.5	12.2	13.0
		Taux d'achèvement de l'éducation primaire	G	59.7	63.9	65.5
F	42.6		47.7	49.1		
Total	51.2		55.8	56.4		
Taux de réussite l'examen final de l'éducation primaire		2010	2011	2012		
	G	64.9	57.6	57.7		
	F	61.6	55.4	56.4		
	Total	63.5	56.7	57.2		
2. Vérification du processus d'exécution						
Eléments d'évaluation	Critères de justification(indicateurs)	Résultats de l'étude				

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

Etat d'avancement des activités/situation des activités réalisées		
Les activités sont-elles comme prévu?	Vérification des plans d'actions et de la situation de leur réalisation	<ul style="list-style-type: none"> Le plan initial a prévu la tenue de forums dans quelques régions. Mais l'Approche Forum actuelle ne pourra pas être appliquée à l'échelle nationale. En conséquence, la région de Tahoua a été ciblée pour développer un modèle de l'approche forum durable. Après que le niveau de surveillance de sécurité s'est élevé, la mission de M.Nishikata, expert chargé du développement du PMAQ a été annulée. Tenant compte du déplacement limité des experts à cause de la détérioration de la sécurité, le Projet a changé ses zones pilotes et expérimenté les livrets d'exercices sur des élèves d'école à proximité du bureau du Projet. Le personnel du Projet a joué un rôle de facilitateur, ce qui a permis au Projet d'obtenir des informations détaillées sur l'expérimentation. Pour la même raison, le recrutement d'un expert à court terme chargé de la promotion des activités de CGDES a été reporté. Le personnel du Projet et C/CGDES l'ont remplacé pour commencer les activités. Mais à cause du retard du commencement des activités, le nombre d'écoles pilotes s'est limité à 3 écoles. Et après, le remaniement ministériel a eu lieu et les collèges ont été rattachés au Ministère de l'Enseignement secondaire. Les activités sont donc suspendues. Grâce à une série de discussions entre le Projet et le Ministère de l'Enseignement secondaire, il est prévu la reprise des activités pour l'année prochaine.
Y a-t-il des activités qui n'ont pas été suffisamment réalisées ou celles qui ne produisent pas suffisamment d'effets ? Pour quelles raisons?	Vérification des activités réalisées	Les activités du suivi des CGDES sont en retard en terme du processus de transfert de compétences techniques à la C/CGDES. Ce retard est dû à des raisons suivantes : Un expert a raccourci son mandat et un autre expert n'a pas pu se consacrer dans les activités étant donné qu'il devait s'occuper aussi de la coordination des services.
Y a-t-il des problèmes survenus au cours de l'exécution des activités? Quelles sont des causes des problèmes?	Vérification des activités réalisées et des problèmes survenus	<ul style="list-style-type: none"> Le retard de la reprise du fonds de contrepartie destiné au suivi des COGES a causé le manque des frais de suivi. Le Projet est donc intervenu pour couvrir les frais. Mais le fonds a été déployé à partir du mois d'avril 2013. Après le remaniement ministériel en août 2013, les collèges sont devenus sous la tutelle du Ministère de l'Enseignement secondaire. A cause du retard de la mise en place d'une nouvelle C/P, l'intervention dans les collèges pour le résultat 1 a été temporairement interrompue. Le changement des directeurs généraux des bureaux d'éducation dans les 6 régions sur 8 au total dans tout le pays a eu lieu en février 2014. Egalement, les PF régionaux et départementaux sont souvent mutés. Par conséquent, on craint l'inhomogénéité des capacités des agents. (édition avril 2014)
Contrôle et Gestion du Projet		
Suivi et sa situation de la réalisation	Comment le suivi a-t-il été réalisé?	<ul style="list-style-type: none"> La réunion mensuelle avec C/GDES et DEP se tient. La communication quotidienne permet de remédier au problème d'éloignement du bureau du Projet EPT et de la C/CGDES.
	Comment les résultats du suivi ont-ils été retournés sur le Projet? Les mesures prises par rapport aux problèmes étaient-elles suffisantes?	
La communication entre les acteurs du Projet était-elle suffisante?	La communication entre les experts japonais et leurs homologues et entre les experts	<p>1 réunion mensuelle (C/CGDES, DEP)</p> <p>La réunion hebdomadaire par téléphone se tient entre les membres de EPT et M.Hara, conseiller en chef basé au Japon. Après la réunion, les experts japonaise discutent d'activités à mener pour la semaine suivante.</p> <p>Les relations entre les membres du Projet(consultant) sont bonnes, mais il y a avait un souhait d'avoir davantage d'échanges de vues entre les membres japonais.</p>

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

Le soutien du siege/bureau local au Projet était-il approprié?	La communication entre le siege/bureau local et le Projet et la situation du soutien	<ul style="list-style-type: none"> • L'avantage, c'est que le conseiller en chef travaille au siege. Il a participé à plusieurs réunions par telephone ou skype.
Appropriation du Projet par les homologues		
L'affectation des homologues était-elle appropriée ?	Les compétences et le nombre des homologues affectés étaient-ils appropriés ?	La nomination et l'affectation du personnel de la C/CGDES ont eu lieu en mai 2012 juste avant le commencement du Projet. C'était une bonne occasion qui a permis un nouveau déroulement du Projet. 3 chefs de services ont participé activement au Projet.
Le niveau de participation des homologues aux activités du Projet	Les homologues ont-ils participé activement aux activités du Projet?	Les homologues participent activement à la réunion mensuelle pour discuter des activités à mener. La C/CGDES a l'impression que les activités du Projet sont menées par l'initiative de la JICA et souhaite plutôt de mener les activités par son propre initiative. Le constat de l'interview: La partie japonaise est consciente de ce problème. Elle veut en discuter davantage avec la C/CGDES pour mener à bien le transfert de compétences.
La part de la prise en charge des frais du fonctionnement par l'organisme d'exécution	La part de la prise en charge des frais de formation et de per dium	Les frais du suivi des CGDES sont prévus dans le budget national depuis l'année dernière. C'est ainsi que la partie nigérienne prend en charge actuellement les frais des activités importantes du Projet.
Résultats du Projet	Comment les 5 participants à la formation organisée au Japon appliquent-ils leurs acquis sur le Projet?	Avant leur participation à la formation, ils ont préparé un rapport préalable sur le Projet et visité des écoles ciblées par différents activités pilotes pour mieux comprendre les activités du Projet menées par les agents concernés du Ministère de l'Éducation à travers les échanges de vues. La formation leur a permis de comprendre que différents acteurs (parents d'élèves, collectivités locales, entreprises locales) apportent leur soutien à la gestion de l'école au Japon. Ils veulent appliquer au Niger le système de collaboration japonais au niveau de la communauté qu'ils ont appris à travers la formation.
Collaboration avec d'autres partenaires au développement		
La coopération avec d'autres donateurs a été conduit efficacement?	La situation de la coopération avec d'autres partenaires au développement et les effets des activités menées à travers la coopération	<ul style="list-style-type: none"> • La participation aux réunions de PTF, la tenue des réunions assez fréquentes avec des agents de l'UNICEF et de la BM, Visites de partenaires au développement qui s'intéressent au Projet • Le Projet d'appui à l'éducation de base réalisé par le fonds commun de PME/AFD a décidé d'octroyer la subvention à 2800 écoles dont 180 écoles sont ciblées par le Projet EPT dans 5 régions. • UNICEF, USAID et CS souhaitent de coopérer avec le Projet → à vérifier sur place • L'information est bien partagée à travers la communication quotidienne.
3. 5 critère d'évaluation		
Eléments d'évaluation	Critères de justification (Indicateur)	Résultats de l'étude
Pertinence des moyens		
Nécessité		
Le but du Projet et son objectif global correspondent-ils à la politique actuelle de développement au Niger et aux besoins des groupes cibles?	La vérification de la cohérence	<ul style="list-style-type: none"> • La loi 2005 a rendu la mise en place des CGDES obligatoire dans toutes les écoles du pays. → Soutien à la réalisation de la mise en place dans la Phase 1 EPT • PDDE 2003~2012 • Le PSEF 2014-2024 pour la mise en application de "La Lettre de Politique Educative pour la période 2013-2020" (publiée en mai 2012) a été élaboré. Il prend le relais des expériences acquises et des enjeux à relever du PDDE et prévoit clairement comme mesures concrètes, le renforcement du rôle, des capacités et des attributions des CGDES dans le cadre de la décentralisation et également le renforcement des capacités en matière d'administration de l'éducation aux niveaux régional, départemental et communal.

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

Le degré de priorité du Projet pour le côté japonais		
Le Projet est-il cohérent avec la politique d'assistance japonaise et le plan des activités de la JICA par pays?		<ul style="list-style-type: none"> Pour faire face aux problèmes d'éducation au Niger, le plan d'assistance japonaise envers le Niger consiste à continuer l'appui à la construction des écoles, aux formations des enseignants en fonction et aux comités de gestion des établissements scolaires à travers la participation communautaire. En plus de l'éducation de base sur laquelle l'assistance mettait l'accent, l'éducation secondaire et les couches vulnérables incluant les femmes seront prises en considération dans l'assistance japonaise. Pour l'indice de développement humain, le classement du Niger est 187ème sur 187 pays.(2014) (186ème en 2011 lors de l'élaboration du plan détaillé. <ul style="list-style-type: none"> Du point de vue de la sécurité humaine, la JICA considère l'éducation comme un des domaines prioritaires. La TICAD V tenue en 2013 a déclaré que le Projet a permis l'amélioration de la qualité et l'accroissement de l'accès à l'éducation tenant compte de l'équilibre entre l'éducation de base et l'enseignement secondaire à travers le renforcement des capacités des enseignants et des acteurs de l'éducation en administration. L'élargissement de l'EPT continue à être une des activités importantes depuis la TICAD IV en 2008.
La pertinence de la méthodologie		
L'approche du Projet est-elle appropriée?		Etant donné que les CGDES se chargent d'un rôle important dans la politique d'éducation dans le processus de décentralisation au Niger, ils disposent d'attributions en gestion scolaire. Comme les ressources disponibles pour l'aménagement de l'environnement d'éducation sont limitées, la mobilisation et la gestion des ressources par les CGDES sont plus en plus demandées. Par conséquent, l'approche du Projet qui vise à améliorer la qualité et l'accès à l'éducation à travers le renforcement du rôle et des capacités des CGDES s'avère appropriée.
	L'approche de simulations introduite dans la formation est-elle efficace? →déplacer dans 'efficacité' ou dans 'les facteurs qui contribuent à l'atteinte des résultats'	L'approche de simulations à travers les sketches est une méthode très efficace pour le transfert de compétences techniques. Cette méthode a été conçue pour exécuter des formations efficacement destinées aux populations dont beaucoup sont analphabètes. Elle a permis de :homogénéiser la qualité des formations qui était inhomogène due à différents formateurs, augmenter la concentration et la compréhension des participants, pérenniser des effets des formations considérablement et raccourcir la durée des formations.(édition décembre 2012) D'après ceux qui y ont participé, l'approche de simulations est efficace pour acquérir les connaissances.
Le choix des groupes cibles était-il approprié? (cible, importance, proportion homme-femme)	(Les groupes cibles) <ul style="list-style-type: none"> environ 20 homologues, Ministère de l'Education environ 60 PF régionaux de CGDES, environ 80 inspecteurs régionaux environ 14.500 directeurs d'école (13.700 écoles primaires et 800 collèges dans tout le pays) Représentants d'environ 14.500 CGDES 	Concernant l'indice d'éducation au Niger, bien que l'accès à l'éducation connaisse une légère amélioration, le taux brut de scolarisation dans l'éducation primaire était de 82 % et celui d'abandon de 13% en 2014. Encore l'accès reste à améliorer. Quant à la qualité de l'éducation, le taux d'achèvement de l'éducation de base était de 56% et celui de réussite de l'examen final de 57% en 2012. Ceci veut dire que le taux d'achèvement d'apprentissage est considérablement bas. Le Projet vise donc à améliorer la qualité et l'accès à l'éducation à travers des CGDES mis en place dans l'ensemble du pays avant la fin de la Phase 2. Les bénéficiaires directs du Projet sont tous les acteurs concernés par les activités de CGDES allant du niveau central aux écoles. D'où le Projet répond bien aux besoins des groupes cibles.
Y a-t-il des effets indirects sur d'autres que les groupes cibles?	Les effets indirects	Pour l'exécution du Projet, une partie des activités est consignée à des ONG locales. Le personnel du Projet est des consultants d'ONG locales. Leur capacités relatives aux CGDES sont renforcées à travers les activités du Projet. Les CGDES sont appelés à renforcer leurs capacités dans le processus de décentralisation et leurs contribution à la décentralisation sera attendue.

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

N'y a-t-il pas de changement de l'environnement qui entoure le Projet (politique, économie, société, etc.)?	Le changement de l'environnement	Le renouvellement du personnel de la C/CGDES qui a eu lieu avant le commencement du Projet a été une bonne opportunité pour démarrer un nouveau développement du Projet. A l'issue du remaniement ministériel en 2013, l'enseignement secondaire a été placé sous le Ministère de l'Enseignement secondaire.
L'efficacité		
L'atteinte du but du Projet		
Le but du Projet devra-t-il être atteint?	(Résultats de la vérification des réalisations)	
L'établissement des indicateurs du projet est-il approprié?	<p>【Indicateur 1】 La proportion des fédérations des CGDES/CGDES qui soumettent le rapport annuel de leurs plans d'actions s'accroît.</p> <p>【Indicateur 2】 La proportion des ressources gérées par les CGDES s'accroît dans les zones pilotes.</p>	<p>Il est approprié de déplacer l'indicateur 1 au niveau des résultats comme indicateur qui mesure le fonctionnement du suivi de CGDES. Comme alternative, sont fixés les indicateurs qui montrent l'état de l'amélioration de la qualité/accès à l'éducation et du renforcement du rôle de CGDES.</p> <p>Quant à l'indicateur 2, il est normal que la part des ressources gérées s'accroît tant que les subventions sont octroyées dans les zones pilotes. Comme l'indicateur 1, le renforcement des capacités en gestion des ressources est une composante nécessaire au renforcement des capacités du rôle et des capacités des CGDES. Il est approprié de déplacer l'indicateur au niveau des résultats.</p>
Quels sont les facteurs qui empêchent et favorisent l'achèvement du Projet ?		<p>Un système complet de formations à tous les acteurs concernés contribue à l'atteinte du but du Projet. Il est appréciable que les formations sont dispensées en cascade jusqu'aux écoles qui doivent être bénéficiaires les plus importants.</p> <p>La participation à la formation au Japon a permis aux homologues de mieux comprendre le Projet. C'est grâce à un fort soutien du secrétaire général que les frais du suivi sont inclus dans le budget national.</p>
Relation de causalité entre le but du Projet et ses résultats		
Les résultats sont-ils suffisants pour l'atteinte du but du Projet?	Le raisonnement que si les résultats sont obtenus, le but du Projet sera atteint n'était-il pas irréal?	<p>Le Projet se compose de 4 composantes : 1. le renforcement du suivi d'activités des CGDES fonctionnels, 2. le développement du modèle pour la qualité et l'accès à l'éducation (le PMAQ, la gestion des ressources, l'Approche Forum), 3. l'élaboration de la politique sur les activités des CGDES dans la décentralisation de l'administration éducative, 4. l'introduction des activités des CGDES dans l'enseignement secondaire. Le composante 1 vise à renforcer les capacités en suivi au niveau central en particulier pour pérenniser les résultats de la mise à l'échelle nationale des activités des CGDES qui ont été établies au cours des Phases 1 et 2. Pour animer davantage les activités des CGDES et améliorer la qualité de l'éducation à travers les activités des CGDES, les 3 activités qui s'inscrivent dans le composante 2 sont en cours de réalisation à titre expérimental. Le PMAQ consiste à introduire les livrets d'exercices pour améliorer la performance des élèves. Il adopte une approche dans laquelle l'apprentissage à l'aide de ces livrets est menée par les CGDES qui impliquent les écoles et la communauté. La sélection des facilitateurs pour cet apprentissage en réunion communautaire parmi les enseignants et la communauté et la publication des résultats de l'apprentissage permettent à la communauté de prendre en conscience des problèmes de l'éducation et d'en discuter pour y faire face. Cette approche recèle donc la possibilité de développer l'éducation par une participation spontanée de la communauté.</p> <p>En ce qui concerne la gestion des ressources, comme les ressources attribuées aux écoles sont encore limitées malgré la décentralisation en cours, le soutien à l'octroi des subventions aux activités des CGDES est réalisé. Il s'agit d'un soutien qui permet à chaque CGDES d'effectuer une gestion appropriée et transparente du fonds.</p> <p>Ce soutien prévoit également comme le PMAQ que les résultats de la gestion des ressources sont publiés à la communauté (parents d'élèves). Cette approche permet la réalisation des plans d'actions scolaires par les CGDES avec la participation communautaire sur la base d'une gestion appropriée des ressources. Concernant l'Approche Forum, bien que son efficacité ait été reconnue dans la Phase 2, sa pérennisation restait un problème à résoudre. C'est pourquoi une nouvelle approche conçue est en cours d'expérimentation pour le développement de l'éducation par la communauté plus fortement unie qu'avant. Elle consiste</p>

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

		<p>en mise en place du cadre de concertation communale entre la communauté et les CGDES. L'implication de la commune laissera espérer la pérennisation des activités des CGDES sur le plan financier. Les 3 activités pilotes sont un moyen d'animer davantage les activités des CGDES qui ont été vulgarisées dans l'ensemble du pays. Elles s'alignent sur l'objectif fixé pour améliorer la qualité de l'éducation à travers les activités des CGDES. En ce qui concerne l'élaboration de la politique relative aux activités des CGDES prévue dans ③, il est un élément indispensable pour le gouvernement nigérien d'institutionnaliser un système efficace pour les activités des CGDES et de soutenir à ces activités à travers tout le pays. Quant à l'introduction des activités des CGDES dans l'enseignement secondaire ④, le soutien aux activités des CGDES dans l'éducation primaire produit des effets efficacement. Par conséquent, c'est une proposition à la partie nigérienne pour une étape suivante qui vise à appliquer les acquis sur le développement d'un modèle pour l'enseignement secondaire.</p> <p>En résumé, chaque composante du Projet est indispensable et suffisante pour atteindre le but du Projet. Or, les 3 résultats fixés sont difficiles à comprendre le rôle et la contribution des composantes par rapport au but du Projet. Le résultat 1: le Suivi, le PMAQ, l'Approche Forum, l'introduction des CGDES dans l'enseignement secondaire; Le résultat 2: Gestion des ressources; Le résultat 3: l'élaboration des politiques, le renforcement des capacités de la C/CGDES en suivi. En outre, il n'y a pas d'indicateurs pour évaluer des résultats du PMAQ. Les indicateurs pour le but du Projet ne reflètent pas correctement les composantes importantes du Projet. Par conséquent, il est à suggérer l'ajustement des résultats et la révision des indicateurs pour les résultats et le but du Projet ainsi que l'ajustement des activités.</p>
Les indicateurs des résultats établis sont-ils appropriés?		<p>il n'y a pas d'indicateurs relatifs à :</p> <ul style="list-style-type: none"> • PMAQ • Introduction des modules de formations aux enseignants nouvellement affectés • Il y a eu un changement d'orientation en matière de Forum d'éducation qui a changé en développement d'un modèle. Il en résulte que le rétablissement des indicateurs est nécessaire conformément aux activités à mener. • L'indicateur qui concerne le suivi de CGDES n'est pas approprié comme l'indicateur d'évaluation et il a été changé en indicateur lié au renforcement des capacités en suivi.
Les conditions extérieures pour arriver au but du Projet restent-elles encore à présent justifiées? La possibilité de remplir les conditions extérieures est-elle grande?	<p>" 【Conditions extérieures】</p> <ul style="list-style-type: none"> • La situation économique et de l'ordre public ne s'aggrave pas. 	<p>L'élévation du niveau de surveillance de sécurité ne permet plus aux experts japonais de se déplacer en dehors de la ville de Niamey. Ils sont obligés de faire le suivi à distance. Pour les activités pilotes qui nécessitent un suivi intensifié, les experts ont du mal à donner des jugements pertinents à cause du suivi à distance. Mais ils font d'efforts pour collecter le maximum d'information de la part de C/CGDES, du personnel du Projet et des ONG à qu'ils ont consigné le travail et continuer les activités.</p>
Efficiences		
Situation des résultats produits		
Le niveau d'atteinte des résultats est-il approprié?	(Résultats de la vérification des réalisations)	
Quels sont les facteurs qui empêchent et favorisent l'atteinte des résultats?	Facteurs d'empêchement/ de contribution	<ul style="list-style-type: none"> • Grâce à une forte concentration des intrants dans les activités pilotes et à la diffusion des leurs résultats au public, l'octroi des subventions par autres bailleurs de fonds a été décidé.
Les conditions extérieures depuis les activités jusqu'aux résultats restent-elles encore à présent justifiées? N'y a-t-il pas de	<p>【Conditions extérieures】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Plusieurs homologues ne sont pas mutés sur une courte période. 2. La situation économique et de la sécurité publique ne se détériore pas 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Les homologues sont fréquemment mutés, mais la mutation au niveau central n'a pas d'impact sur les activités sur terrain. S'il s'agit de la mutation de responsables chargés du suivi d'activités de CGDES, elle empêche l'avancement des activités. Pour y faire face, les explications sur les activités du Projet ou la dispense de formations sont nécessaires. C'est le même cas pour le niveau central. Pour le moment, il n'y a pas d'impact négatif causé par les conditions extérieures. 2. Voir les conditions extérieures pour arriver à l'atteinte du but du Projet depuis les résultats

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

conséquences des conditions extérieures?	considérablement	
Situation des intrants réalisés		
L'affectation d'experts, la fourniture d'équipements et l'allocation du budget étaient-elles effectués à temps opportun?		<ul style="list-style-type: none"> • Le décaissement du fonds de contrepartie a pris du retard, mais le soutien du Projet a permis la mise en oeuvre des activités sans retard. • La durée du mandat d'experts a été raccourcie et l'envoi d'experts a été annulé à cause du problème de sécurité. • Concernant la procédure de la fourniture de l'équipement et des matériels, il y a eu un malentendu entre les deux parties. Après des discussions entre les deux parties, elles sont arrivées à se mettre d'accord pour que l'équipement et les matériels soient remis à la partie nigérienne après la fin du Projet.
Coût		
Est-il possible que le but du Projet soit atteint en rapport au coût investi?	La participation à la formation au Japon contribue-t-elle efficacement à l'atteinte du but du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> • Ceux qui ont participé à la formation au Japon sont devenu plus coopératifs par rapport au Projet. Grâce à un grand soutien de SG qui y a participé, le suivi des activités de CGDES est inclu dans le budget national. • D'après ces participants, ils ont appris comment élaborer les stratégies relatives aux activités de CGDES et s'y prendre.
	La consignation du travail à des ONG locales est-elle efficace en terme du coût?	<ul style="list-style-type: none"> • Concernant l'emploi du personnel local, la consignation du travail à des consultants locaux et ONGs a facilité efficacement l'avancement d'un travail énorme à traiter d'une part. Il y avait des homologues qui ont trouvé la consignation du travail inappropriée en terme du transfert des compétences et du renforcement des capacités du côté nigérien.
Y a-t-il des effets positifs de la combinaison avec d'autres programmes de la JICA et de la coopération avec d'autres partenaires au développement?		Comme le Projet partage quotidiennement avec d'autres partenaires au développement les expériences acquises à travers les activités du Projet, ils ont apprécié les résultats de la gestion des ressources en rapport avec l'octroi des subventions. Dans le projet de l'octroi des subventions par le fonds de PME/AFD, les modules de formations qui ont été développés seront utilisés. Etant donné que les zones cibles par le projet en question comprennent les zones d'intervention du Projet de JICA, les effets synergiques sont attendus. D'après l'entretien avec l'AFD, les modules de formations de JICA seront sûrement utilisées dans son projet.
Impact (prévu)		
Atteinte de l'objectif global prévu		
L'objectif global devra-t-il avoir des effets du Projet ?	Evolution des indicateurs et opinions des acteurs concernés	<ul style="list-style-type: none"> • Le renforcement de la performance des élèves par le PMAQ se fait déjà sentir. Si le PMAQ est vulgarisé à l'échelle nationale dans le cadre des activités des CGDES, le renforcement de la performance des élèves et l'augmentation du taux d'achèvement ainsi que la baisse des taux de redoublement et d'abandon devront être réalisés 5 ans après la fin du Projet. →à vérifier les futures activités du PMAQ Les activités de CGDES ont permis l'élévation du taux de scolarisation et la baisse du taux d'abandon. Les CGDES mènent les activités centrées sur l'amélioration de la qualité, ce qui contribuera sûrement au renforcement de la performance des élèves.
Les mesures pour atteindre l'objectif global sont-elles conçues?		Le Projet vise à établir les CGDES fonctionnels comme moyen d'amélioration de chaque indicateur d'éducation qui est l'objectif global. Si le but du Projet (les CGDES fonctionnels sont correctement mis en place) est atteint et la mise en place du forum d'éducation durable(une des composantes du Projet) est réalisée, ceci veut dire que l'objectif global sera atteint. Egalement, la vulgarisation du PMAQ y contribuera largement.
Y a-t-il des facteurs qui empêchent l'atteinte de l'objectif global?		non
Relation de causalité entre l'objectif global et le but du Projet		

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

N'y a-t-il pas un écart entre l'objectif global et le but du Projet?		Voir "Mesures pour atteindre l'objectif global"
Les conditions extérieures depuis le but du Projet jusqu'à l'objectif global restent-elles encore à présent justifiées? La possibilité de remplir les conditions extérieures est-elle grande?	<p>【 Conditions extérieures 】</p> <p>【 Conditions extérieures 】</p> <p>1. Le budget du Ministère de l'Education est assuré</p> <p>2. Les mesures nécessaires aux enseignants sont correctement prises</p>	1. Comme les frais du suivi des CGDES sont inclus dans le budget national, ils seront pris en charge par le budget national même après la fin du Projet. Si C/CGDES établit un plan d'action annuel correctement.
Effets indirectes		
Est-il prévu qu'il y aura des effets indirects/impacts autres que l'objectif global?		<ul style="list-style-type: none"> • Dans les zones pilotes pour la gestion des ressources, la carte d'identité est nécessaire pour ouvrir un compte bancaire. Les populations locales ont connu la carte et commencé à l'avoir. Dans le même sens, pour aller à l'école, l'acte de naissance est nécessaire. Les enfants ont commencé maintenant à avoir leur acte de naissance. Cet impact positif du Projet sur la gestion administrative des populations locales n'était pas imaginé. • il y a des villages qui utilisent les CGDES mis en place pour d'autres buts (santé, eaux, etc.) Le poste de santé mène par exemple l'activité de sensibilisation à travers les CGDES.
Y a-t-il des effets indirects sur d'autres pays d'Afrique francophone?	Réalisations du soutien aux pays voisins et du partage d'expériences	<ul style="list-style-type: none"> • Voyage d'études de responsables de la politique des COGES du Ministère burkinabé de l'Education en avril 2013 • Séminaire de partage d'expériences sur l'octroi de la subvention aux écoles au Sénégal et au Niger en octobre 2013 <p>Dans le Projet de la JICA pour la décentralisation qui a commencé en Côte d'Ivoire, les modules développées au Niger ont été utilisées comme référence lors de l'élaboration des composantes du soutien à la gestion scolaire.</p>
Y a-t-il des impacts négatifs? Quelles sont les mesures pour les enlever?		Un impact négatif particulier n'est pas observé
Durabilité (prévue)		
Aspect politique/institutionnel		
Est-il prévu que la politique éducative centrée sur les CGDES continuera après la fin du Projet?		• Voir 'Pertinence'
La politique sur les activités de CGDES planifiée par le Projet continuera-t-elle ?		Le Projet vise à institutionnaliser un système de suivi des CGDES. Mais l'arrêté ministériel publié en 2012 stipule que les activités de suivi est une mission de C/CGDES de sorte que leurs frais sont prévus dans le budget national. Par conséquent, si le système de suivi est institutionnalisé avant la fin du Projet, il s'inscrit dans le Plan stratégique et la perspective de la pérennisation de la politique sera grande.
La politique de soutien à l'élargissement des résultats du Projet à d'autres régions est-elle bien assurée?		Le soutien de PME/AFD aux activités des subventions a été décidé. La durée du soutien est prévu pour 4 ans. (Ce projet a déjà commencé l'année dernière et prend du temps pour décaisser un budget.) La réalisation du Projet est grâce au partage des résultats des activités du Projet. Le Projet se poursuivra dans ce sens.
Aspect organisationnel/financier		

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

C/CGDES du Ministère de l'Education met-il à disposition un personnel et un budget nécessaires pour diriger les activités des COGES dans tout le pays?		Les frais du suivi sont alloués par le budget national. Une fois les frais inclus dans le budget national, l'allocation sera désormais assurée. Quant aux frais du atelier de partage d'expériences qui se tient 2 fois par an, après l'approbation de la demande de la budgetisation, les frais du suivi à tous les niveaux seront couverts par le budget national.
Les bureaux régionaux d'éducation mettent-ils à disposition un personnel et un budget nécessaires pour diriger les activités des COGES au niveau régional?		Les activités des PFR et PFD sont prévues dans le budget du suivi national. Or, les frais du suivi des bureaux d'éducation régionaux qui étaient payés par le fonds de contrepartie ne sont pas le cas et ils seront pris en charge par le budget réparti aux bureaux d'éducation régionaux.
Les fédérations des CGDES disposent-elles de la capacité organisationnelle et de sources de revenu pour la pérennisation de leurs activités?		Les sources de revenus des fédérations des CGDES sont une cotisation annuelle de chaque CGDES et un soutien communal. La cotisation annuelle de chaque CGDES est plus ou moins assurée, mais le soutien communal n'est pas certain selon les fédérations. La pérennisation de activités de fédérations des CGDES repose sur le renforcement de la collaboration avec les communes. Les activités des fédérations sont planifiées et exécutées en fonction du budget prévu. La diminution de fonds ne pose pas de problème.
Les CGDES disposent-ils de la capacité organisationnelle et de sources de revenu pour la pérennisation des activités de gestion des ressources?		Les sources de recette des CGDES sont des cotisations annuelles payées par les parents d'élèves. Beaucoup de CGDES reconnaissent que l'école est pour la communauté de sorte que le taux de recouvrement de la cotisation est assez stable. Après l'octroi de la subvention, il y a eu des membres qui n'ont pas payé leur cotisations, mais les fédérations leur ont donné des explications sur l'objectif de la subvention et fait le nécessaire pour régler des problèmes. Les activités sont menées d'une manière stable à travers les fédérations. Les CGDES qui bénéficient des subventions octroyées par ONG souhaitent d'apprendre la façon de formuler des requêtes à soumettre aux bailleurs de fonds.
La subvention du Ministère de l'Education devra-t-elle être institutionnalisée? Doit-il avoir un soutien des bailleurs de fonds?		L'octroi de la subvention à 2.800 écoles au total de 5 régions a été décidé dans le cadre du projet d'appui à l'éducation de base du fonds commun PME e AFD (dont 180 écoles ciblées par le Projet) Ce projet prévoit 4 ans à partir de cette année. (Il a commencé l'année dernière et prend du temps pour décaisser le budget. Le Ministère de l'Education prévoit les formations développées dans le cadre du Projet JICA.
L'appropriation du Projet par l'organisme d'exécution est-elle bien assurée?		<ul style="list-style-type: none"> • Les réalisations du Projet obtenus dans les Phase 1 et 2 reflètent sur la politique nationale. • Le Projet prévoit les frais d'activités de CGDES dans le budget national. Les activités de CGDES figurent sur l'Annuaire des statistiques d'éducation. • L'institutionnalisation du système du suivi d'activités de CGDES est prévue dans les activités du Projet. Elle est donc attendue avant la fin du Projet.
Aspect technique		
C/CGDES a-t-il une capacité suffisante pour élaborer la politique, exécuter les formations pour le renforcement des diverses capacités et conduire le suivi	Situation de l'utilisation et de la vulgarisation	<ul style="list-style-type: none"> • L'atelier de partage d'expériences, grand événement pour l'activité de suivi a été conjointement organisé 2 fois par an par C/CGDES et l'équipe du Projet. Le personnel de C/CGDES a acquis des connaissances sur tout le processus de la préparation de la tenue de l'atelier. • C/CGDES a besoin encore d'une autre connaissance technique qui concerne l'analyse des données (des bilans) à l'aide d'Excel. En outre, les compétences de C/CGDES en élaboration du plan d'action annuelle sont insuffisantes. Ils souhaitent le soutien technique.

Grille d'Evaluation (Résultat)

ANNEXE 3

des activités des CGDES?		
Les bureaux d'éducation régionaux ont-ils une capacité suffisante pour la tenue des forums d'éducation et des assemblées générales ainsi que la conduite du suivi des CGDES?		Le budget national alloué aux activités du suivi comprend les frais des activités des PFR
Les COGES ont-ils une capacité suffisante pour pérenniser les activités de gestion des ressources?		Les activités de gestion des ressources se pérenniseront dans les zones pilotes, car l'intervention directe du Projet permet la pérennisation des capacités techniques de CGDES. Dans la région de Tahoua qui était une zone pilote pour la mise en place des CGDES dans la Phase 1, la performance reste toujours bonne même après la fin de la Phase.
Les capacités des acteurs concernés pour conduire et pérenniser le PMAQ sont-elles assurées?		En ce qui concerne le choix des facilitateurs, l'interview a laissé entendre des opinions : Il faut que les facilitateurs soient des enseignants. Il faut choisir uniquement les personnes qui ont une forte volonté et peuvent persévérer dans leurs efforts. S'il s'agit de choisir les facilitateurs parmi la population locale, le choix doit se limiter aux mariés. Si le choix des facilitateurs est pris en considération, la pérennisation de l'activité est possible d'autant plus que les modules sont faciles à comprendre.
Aspect social/culturel/environnemental		
N'y a-t-il pas la possibilité d'empêcher les effets durables à cause du manque de considération des femmes/pauvres / couches vulnérables sociales?		Le Projet cible l'ensemble du pays et vise à permettre à toutes les populations y compris femmes, pauvres et vulnérables sociales de bénéficier de l'éducation.
Autres		
Y a-t-il d'autres facteurs qui entravent la durabilité du Projet?		non

D

Z

ANNEXE 4

Contributions au Projet

1-1. Liste d'experts japonais

(1) Liste d'experts à long terme

No.	Nom	domaine	De	A
1	Mlle. Akiko Kageyama	Développement de capacité de CGDES	22 Mai 2012	Aujourd'hui
2	M.Kenichi Tunoda	Suivi des CGDES/Coordinateur	15 Août 2012	29 juil. 2013
3	Mme. Hiroko Tanimoto	Coordinatrice	17 Jan 2013	12 Août 2013
4	Mlle. Kinue Hatano	Suivi des COGES/Coordinatrice	2 Oct 2013	Aujourd'hui
5	Mlle. Akiko Iwata	Gestion de formation/ Coordinatrice	21 Jan 2014	Aujourd'hui

(2) Liste d'experts à court terme

No	Nom	Domaine	De	A
1	M. Masahiro Hara	Conseiller en chef/Conseiller en éducation *basé au siège de la JICA : 8 mission conseille ont été effectué : - 4 au 8 juillet 2012 - 31 juil. au 3 août 2012 - 9 nov.2012 au 25 janv.2013 - 7 au 16 août 2013 - 29 sept. au 5 oct. 2013 - 10 au 12 déc. 2013 - 22 au 25 fév. 2014 - 14 au 16 mai 2014	22 Mai 2012	Aujourd'hui
2	M.Morio IWATA	Etude de base/étude des besoins de CGDES	5 Août 2012	1 Oct. 2012

1-2. Liste de machines principales et d'équipement fournis par la JICA

Désignation	Spécification (Nom du modèle/No, Fabricant)	Quantité	Prix unitaire Price (NGN)	Sous- Total	Date de livraison	Bénéficiaires	Condition
ANNEE 2012							
Ordinateur portable	HP Probook4540s	4	515 000	2 060 000	14 Fév 2013	PJ	Bon
Ordinateur de bureau	HP W2072a	1	550 000	550 000	14 Fév 2013	PJ	Bon
Groupe électrogène	Kusing	1	7 800 000	7 800 000	18 Fév 2013	PJ	Bon
Imprimante Laser	HP Color Laser jet CP5525	1	5 100 000	5 100 000	27 fév 2013	PJ	Bon
Véhicule	Toyota Landcruiser VDJ200 V8 8IT6567RN	1	45 716 000	45 716 000	29 Mar 2013	PJ	Bon
ANNEE 2013							

ANNEXE 4

Véhicule	Toyota Landcruiser HLZJ76L 8IT7011RN	1	23 600 000	23 600 000	19 août 2013	PJ	Bon
Bureau et Chaises		4+ 16	632 000	632 000	13 Nov 2013	C/CGD ES	Bon
Ordinateur portable	HP pavilion	2	485 000	970 000	26 Nov 2013	PJ	Bon
Imprimant	HP Laser jet pro M1132 Noir/Blanc	1	290 000	290 000	26 Nov 2013	C/CGD ES	Bon
Imprimant	HP Diskjet 2515	1	180 000	180 000	26 Nov 2013	PJ	Bon
Video projecteur	EPSON EB S11	2	315,000	630,000	26 Nov 2013	C/CGD ES , PJ	Bon
Photocopieur	CANON 2420 (Noir/Blanc)	1	2 750 000	2 750 000	26 Nov 2013	C/CGD ES	Bon
Climatiseur	SHARP 1.5CV	3	450 000	1 350 000	11 Dec 2013	C/CGD ES	Bon
Climatiseur	SHARP 2CV	1	600 000	600 000	11 Dec 2013	C/CGD ES	Bon
Climatiseur	SHARP 2.5CV	1	515 000	515 000	11 Mar 2014	PJ	Bon
Imprimant	HP laserjet 5200 Noir/Blanc	1	4 200 000	4 200 000	17 Mar 2014	PJ	Bon
Imprimant	HP Deskjet 2510	1	180 000	180 000	17 Mar 2014	PJ	Bon

1-3. Liste de Participants en formation d'homologue au Japon

(1) Liste de Participants en Formation au Japon

No	Nom	Position ou Profession	Titre du cours	Lieu	De	A
1	M. Barmou Salifou	le Secrétaire Général du Ministère de l'Education, de l'Alphabétisation et de la Promotion des Langues Nationales (MEN/A/PLN)	Gestion de l'Ecole à travers la participation communautaire et amélioration de la qualité de l'enseignement primaire	Tokyo (ICU)	20 Mai 2013	24 Mai 2013

ANNEXE 4

2	M. Abdou LAWAN Marouma	Le Directeur des Etudes et de la Programmation, MEN/A/PLN	id.	Tokyo (ICU)	20 Mai 2013	24 Mai 2013
3	M. Moumouni Moussa	Le Directeur Général de la Scolarisation MEN/A/PLN	id.	Tokyo (ICU)	13 mai 2013	24 Mai 2013
	M. Tahirou Elhadji Moussa	Coordonnateur de C/CGDES	id.	Tokyo (ICU)	13 mai 2013	24 Mai 2013
4	M. Yayé Touré Abdourahamane	Directeur régional de l'Education Nationale de l'Alphabétisation et de la Promotion des Langues Nationales (MEN/A/PLN) /Tillabéri	id.	Tokyo (ICU)	13 mai 2013	24 Mai 2013

1-4. Liste des homologues nigériens

No.	Nom	Fonction*	De	A
1	M. Barmou Salifou	Le Secrétaire Général du Ministère de l'Education, de l'Alphabétisation et de la Promotion des Langues Nationales (MEN/A/PLN)	Début du projet courant	13 déc.2013
2	M. Abouzeidi DAN MAZA	Le Secrétaire Général du Ministère de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique (MEP/A/PLN/EC)	13 déc.2013	Aujourd'hui
3	M. Moumouni Moussa	Le Directeur Général de la Scolarisation MEN/A/PLN	Début du projet courant	12 fév. 2014
4	Mme. Amadou Hadiza Aboubacar	Le Directrice Général de la Scolarisation MEP/A/PLN/EC	12 fév. 2014	Aujourd'hui
5	M. Aboubacar Sidikou Gado	Le Directeur Général de la Formation et des Curricula MEN/A/PLN	Début du projet courant	28 déc. 2012
6	Mme. Mamadou Amina Kaza	Le Directrice Général de la Formation et des Curricula MEN/A/PLN	28 déc. 2012	12 fév.2014
7	M. Malam Garba Mamane	Le Directeur Général de la Réforme, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique MEP/A/PLN/EC	12 fév.2014	Aujourd'hui
8	M. Daouda Abdourahamane	Le Directeur des Etudes et de la Programmation, MEN/A/PLN	Début du projet courant	28 déc. 2012
9	M. Lawan Marouma Abdou	Le Directeur des Etudes et de la Programmation, MEP/A/PLN/EC	28 déc. 2012	Aujourd'hui
10	M. Moussa Koche	Le Directeur des Statistiques MEN/A/PLN	Début du projet courant	28 déc. 2012
11	M. Goumaye Hama	Le Directeur des Statistiques MEP/A/PLN/EC	28 déc. 2012	12 fév.2014
12	M. Mahaman Djibo	Le Directeur des Statistiques MEP/A/PLN/EC	12 fév.2014	Aujourd'hui

ANNEXE 4

13	M. Tahirou Elhadji Moussa	Le Coordinateur des Comité de Gestion des Décentralisée des Etablissements Scolaires (C/CGDES) MEP/A/PLN/EC	Début du projet courant	Aujourd'hui
14	M. Gati Hassane Mamoudou	Les Directeurs Régionaux de l'Education National, de l'Alphabétisation, et de la Promotion des Langues Nationales (DREN/A/PLN) Agadez	Début du projet courant	4 mars 2014
15	M. Sani Kane	Les Directeurs Régionaux de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique (DREP/A/PLN/EC) Agadez	4 mars 2014	Aujourd'hui
16	M. Djibo Hima	DREN/A/PLN/Diffa	Début du projet courant	4 mars 2014
17	M. Mamane Boube	DREP/A/PLN/EC/Diffa	4 mars 2014	Aujourd'hui
18	M. Abdou Amani	DREN/A/PLN/Dosso	Début du projet courant	4 mars 2014
19	M. Ousseini Soumana	DREP/A/PLN/EC/Dosso	4 mars 2014	Aujourd'hui
20	M. Mahaman Boukar Kolimi	DREN/A/PLN/ Maradi	Début du projet courant	4 mars 2014
21	M. Ali Goge	DREP/A/PLN/EC/Maradi	4 mars 2014	Aujourd'hui
22	M. Mamadou Tiemogo	DREP/A/PLN/EC/Niamey	Début du projet courant	Aujourd'hui
23	M. Arima Chegou	DREN/A/PLN/Tahoua	Début du projet courant	4 mars 2014
24	M. Mohamed Moussa	DREP/A/PLN/EC/Tahoua	4 mars 2014	Aujourd'hui
25	Yayé Touré Abdourahamane	DREN/A/PLN/Tillabéri	Début du projet courant	4 mars 2014
26	M. Haro Abdoulaye	DREP/A/PLN/EC/Tillabéri	4 mars 2014	Aujourd'hui
27	M. Barou Chékaraou	DREP/A/PLN/EC/Zinder	Début du projet courant	Aujourd'hui
28	M. Roho Oumarou	Le Chef de Division de la Formation et des Innovations (DFI/C/CGDES) MEP/A/PLN/EC	Début du projet courant	Aujourd'hui
29	M. Sandi Ibrahm	Le Chef de Division du Partenariat et de la Coordination des Interventions (DPCI/C/CGDES) MEP/A/PLN/EC	Début du projet courant	Aujourd'hui
30	M. Abdou Yahaya	Le Chef de Division du Suivi et Evaluation (DSE/C/CGDES) MEP/A/PLN/EC	Début du projet courant	Aujourd'hui

* Dénomination du ministère de l'éducation a été changé «Ministère de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la promotion des langues nationales et de l'Education Civique (MEP/A/PLN/EC) à partir du 13 août 2013

ANNEXE 4

1-5. Liste de terrains, bâtiments et équipements

No.	Construction/Equipements
1	Bureau du Projet (Niamey)
2	Bureau de la C/CGDES (Niamey)

1-6 Financial status of local activity cost by JICA (Francs CFA)

	Année 2012 (mai 2012-mars 2013)	Année 2013 (avril 2013- mars 2014)	Année 2014 (avril au 06 août)	Total
Finance pour les activités (Fcfa)	243 739 594	340 110 630	120 426 580	
Finance pour les équipements (Fcfa)	15 510 000	12 297 000	0	
Total de l'année	259 249 594	352 407 630		

1-7 Financial status of local activity cost by MEN in Niger (Francs CFA)

	An 2012	An 2013	An 2014 (prévu)	An 2015 (prévu)	Total
Fonds de contreparties (KR)	-	52 234 143			52 234 143
MEP/A/PLN/EC (Budget National)	-	<u>programmé</u> 136 672 000 <u>Débloqué</u> 76 132 700	<u>Programmé</u> 213 576 000		<u>Programme</u> 350 248 000 <u>Débloqué</u> 76 132 700

ANNEXE 5

Liste des ateliers tenus par le Projet (du mai 2012 au juin 2014)

	Mois	Activité	Principaux Participants	Thème/contenu
An 2012				
I. GENERAL				
1-1	mai	Atelier de partage d'expériences du Projet EPT avec la C/CGDES (1 jour)	Le coordonnateur, les chefs des divisions de la Coordination des CGDES/MEN/A/PLN	<ul style="list-style-type: none"> - Présentation des activités du projet EPT phase I et II - Présentation des perspectives et activités de la nouvelle phase du projet EPT
1-2	Juin	Atelier de lancement du projet (1 jour)	SG, directeurs centraux, directeurs régionaux de 8 régions, Points Focaux régionaux CGDES de 8 régions, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Présentation de l'aperçu de la nouvelle phase du projet - Information sur la C/CGDES - Discussion sur la synergie d'action entre C/CGDES et administration scolaire
2. PAQUET MINIMUM AXE SUR LA QUALITE (PMAQ)				
2-1	juin	4 Ateliers de partages des résultats de test de niveau dans le département de Kollo (administration scolaire, 3 écoles) (total 4 jours)	Inspecteurs, conseillers pédagogiques, enseignants, FCC, PF CGDES, CGDES, communautés	<ul style="list-style-type: none"> - Partage et échanges des résultats de test de niveau
2-2	août	Ateliers sur l'élaboration du paquet minimum axé sur la Qualité (PMAQ) avec le conseiller en éducation au siège de la JICA (2 jours)	Equipe du projet	<ul style="list-style-type: none"> - Echanges sur les principes de l'apprentissage de mathématiques et les expériences du Japon - Echanges sur les résultats de visite sur le terrain
2-3	Août ; oct.	Atelier de formation sur les outils (livrets d'exercices) du PMAQ pour la pre expérimentation (total 2 jours)	Facilitateurs (PF, directeur cible, enseignants cibles)	<ul style="list-style-type: none"> - Explication pratique : livrets d'exercices, organisation, facilitation de l'activité - Simulation de l'activité
3. SYSTEM DU SUIVI				
3-1	Juil.-a oût	Réunions des inspecteurs dans les 8 régions (total 8 jours)	DREN, Inspecteurs, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Partage des résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu en juin - Partage des résultats des bilans CGDES 2011-2012 - discussion sur la synergie d'action entre C/CGDES et administration scolaire
3-2	Juil.-a oût	Réunions des Points focaux CGDES dans les 8 régions (total 8 jours)	Points focaux régionaux et départementaux	<ul style="list-style-type: none"> - Partage des résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu en juin - Partage des résultats des bilans CGDES 2011-2012 - Discussion sur les rapports entre C/CGDES et ses répondants
4. MODEL DE SUBVENTION				
4-1	Nov.	Atelier d'information sur l'expérimentation du modèle subvention aux CGDES et l'étude d'impact (1 jour)	Directeur régional, les inspecteurs, les conseillers pédagogiques, les PF, les FCC, C/CGDES, PF du projet/DEP	<ul style="list-style-type: none"> - Présentation et échanges sur le plan de l'expérimentation du modèle de subvention - Présentation sur la méthodologie de l'étude d'impact d'intervention par l'Institut JICA
4-2	Déc.	Atelier de partage des modules du modèle de subvention (1 jour)	Directeur régional, les inspecteurs, les conseillers pédagogiques, les PF, les FCC, C/CGDES, PF du projet/DEP	<ul style="list-style-type: none"> - Présentation et échanges sur les modèles du modèle de subvention (gestion des ressource/audit communautaire, planification des activités pertinentes)
4-3	Déc.	Formation des formateurs sur les modules du modèle de subvention : gestion et planification (4 jours)	PF régional et départementaux dans la région de Tillabéri, C/CGDES, PF du projet/DEP	<ul style="list-style-type: none"> - Renforcement des capacités des formateurs en gestion et planification dans le cadre du modèle de subvention aux CGDES - Processus de l'audit communautaire - Processus de planification des activités pertinentes - Simulations - Simulation de l'AG de planification sur le terrain
4-4	Déc.	Formation des 120 CGDES en gestion dans le cadre du modèle de subvention dans les départements de Say et Torodi (2 jours x 2 département : total 4 jours)	120 CGDES (3 délégués par CGDES), 5 FCC (2 délégués par FCC), PF de la région de Tillabéri, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Renforcement des capacités des CGDES en gestion dans le cadre du modèle de subvention aux CGDES - Processus de l'audit communautaire - Simulations - Outils de gestion
4-5	Déc.	Formation des 60 CGDES en	60 CGDES (3 délégués par	Renforcement des capacités des formateurs en

ANNEXE 5

	Mois	Activité	Principaux Participants	Thème/contenu
		planification dans le cadre du modèle de subvention dans les départements de Say et Torodi (4 jours x 2 département : total 8 jours)	CGDES), 5 FCC (2 délégués par FCC), PF de la région de Tillabéri, C/CGDES	planification dans le cadre du modèle de subvention aux CGDES - Processus de planification des activités pertinentes - Simulations
An 2013				
1. GENERAL				
1-1	Janv.	Atelier de partage d'expériences dans le cadre des activités CGDES/FCC (1 jour)	SG, directeurs centraux, directeurs régionaux de 8 régions, Points Focaux régionaux CGDES de 8 régions, C/CGDES, autres partenaires dans le domaine de l'éducation	- Partage des résultats des bilans des activités des CGDES et FCC 2011/2012 et des PA 2012/2013 - Echanges sur la fonctionnalité des FCC - Elaboration des engagements et recommandations
1-2	Mars	Atelier de partage d'expériences Burkina Faso-Niger dans le cadre des activités COGES-CGDES (5 jours)	Délégation du Ministère de l'Education National du Burkina Faso ; C/CGDES	- Echanges sur les activités des projets d'appui aux comités de gestion des établissements scolaires (Burkina Faso et Niger) et les expériences des activités des CGDES/COGES - visite des CGDES/FCC
1-3	avril	Atelier d'échanges sur les activités du projet (réunion préparatoire pour le stage au Japon) (1 jour)	SG, DGS, Directeur régional, Coordinateur/C/CGDES	- Présentation et échanges sur les résultats des activités du projet - Visite des écoles cibles des expérimentations
1-4	août	Atelier de partages d'expériences dans le cadre des activités CGDES/FCC (2 jours)	Directeurs centraux ; Directeurs régionaux, PFR, Directeurs départementaux et inspecteurs de base 2 de 8 régions ; C/CGDES	- Présentation des résultats des bilans des activités CGDES/FCC 2012-2013 - Expériences de l'expérimentation du modèle des COGES fonctionnels aux CEG - Processus de généralisation des COGES fonctionnels au niveau CEG
1-5	Sept.	Atelier de partage d'expériences Sénégal-Niger sur la subvention aux CGDES (3 jours)	Délégation du Ministère de l'éducation et du projet du Sénégal ; Directeurs centraux ; PFR ; PFD ; C/CGDES	- Présentation et Echanges du Sénégal et du Niger sur les expériences des activités dans le cadre de subvention directe aux CGDES - Présentation des stratégies du modèle de subvention au Niger - Visite sur le terrain
2. PAQUET MINIMUM AXE SUR LA QUALITE (PMAQ)				
2-1	Mars	Formation des CGDES sur la mise en œuvre du paquet minimum axé sur la qualité (PMAQ) (1 jour)	3 CGDES (2 délégués par CGDES) ; PFD ; C/CGDES	- Principes et stratégies du paquet minimum axé sur la qualité (PMAQ) - Processus de mise en œuvre des activités - Stratégies d'organisation des activités de remédiation - Techniques d'administration et analyse de Test de niveau
2-2	Mars	Formation des facilitateurs sur l'organisation des activités des livrets d'exercices PMAQ (3 jours)	Facilitateurs (enseignants et membres de communauté) ; PFD ; C/CGDES	- Techniques de facilitation des activités des livrets d'exercices - Pratiques des livrets d'exercices - Simulation avec les élèves
2-3	Juil.	Formation des facilitateurs sur l'organisation des activités des livrets d'exercices PMAQ (2 jours)	Facilitateurs communautaires et directeurs de 2 écoles cibles ; PFD ; C/CGDES	- Techniques de facilitation des activités des livrets d'exercices - Pratiques des livrets d'exercices - Simulation avec les élèves
2-4	Déc.	Formation des formateurs sur la mise en œuvre des activités du Paquet Minimum Axé sur la Qualité (PMAQ) (2 jours)	PFR, PFD, inspecteurs, conseillers pédagogiques ; C/CGDES	- Principes et stratégies du paquet minimum axé sur la qualité (PMAQ) - Processus de mise en œuvre des activités - Stratégies d'organisation des activités de remédiation - Techniques d'administration et analyse de Test de niveau - simulations des formations - calendrier des formations
2-5	Déc.	Formation des CGDES sur la mise en œuvre des activités du Paquet Minimum Axé sur la Qualité (PMAQ) dans les communes de Niamey V et Karma (2 zones x 1 jour : total 2 jours)	107 CGDES (2 délégués par CGDES) ; 3 FCC (2 délégués par FCC) ; PFR, PFD, inspecteurs, conseillers pédagogiques ; C/CGDES	- Principes et stratégies du paquet minimum axé sur la qualité (PMAQ) - Processus de mise en œuvre des activités - Stratégies d'organisation des activités de remédiation - Techniques d'administration et analyse de Test de niveau - simulations

ANNEXE 5

	Mois	Activité	Principaux Participants	Thème/contenu
2-6	Déc.	Formation des formateurs sur l'organisation des livrets d'exercices PMAQ (2 jours)	PFR, PFD, inspecteurs, conseillers pédagogiques ; C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Techniques de facilitation des activités des livrets d'exercices - Pratiques des livrets d'exercices - Simulation
2-7	Déc.	Formation des facilitateurs sur l'organisation des livrets d'exercices PMAQ dans les communes de Niamey V et Karma (2 zones x 2 jour : total 4 jours)	107 CGDES (2 délégués par CGDES) ; 3 FCC (2 délégués par FCC) ; PFR, PFD, inspecteurs, conseillers pédagogiques ; C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Techniques de facilitation des activités des livrets d'exercices - Pratiques des livrets d'exercices - Simulation des activités
3. SYSTEM DU SUIVI				
3-1	Janv.	Réunion des points focaux CGDES de 8 régions à Niamey (1 jour)	PF régionaux et départementaux de 8 régions, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Partage des résultats de l'atelier tenu - Echanges sur le système du suivi/accompagnement des CGDES/FCC - Travaux par région
3-2	Janv.	Atelier de formation des Points focaux CGDES de 8 régions à Niamey (1 jour)	PF régionaux et départementaux de 8 régions, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Recyclage des PF sur : <ul style="list-style-type: none"> - le processus de mise en place CGDES/FCC - le processus de l'élaboration des PA CGDES/FCC - le système du suivi des activités des CGDES - l'organisation des réunions des PF - l'organisation des AG FCC
4. MODEL DE SUBVENTION				
4-1	Janv.	Atelier de remise des fonds de subvention aux CGDES cibles dans les départements de Say et Torodi (total 2 jours)	120 CGDES (3 délégués par CGDES), 5 FCC (2 délégués par FCC), Directeur régional, inspecteurs, PF de la région de Tillabéri, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Recyclage sur la formation en gestion - Remise des fonds de subvention
4-2	août	Réunion préparatoire sur la mise en œuvre des activités du modèle de subvention (1 jour)	Directeur régional, PFR, PFD, inspecteurs ; C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Programmation des activités de subvention aux CGDES - Calendrier des activités - Rôles des acteurs pour la préparation de formations
4-3	Sept.	Formation des formateurs en gestion et planification dans le cadre du modèle de subvention aux CGDES (4 jours)	PF régional et départementaux dans la région de Tillabéri, C/CGDES,	<ul style="list-style-type: none"> - Renforcement des capacités des formateurs en gestion et planification dans le cadre du modèle de subvention aux CGDES - Processus de l'audit communautaire - Processus de planification des activités pertinentes - Simulations
4-4	Oct.	Formation des 120 CGDES en gestion dans le cadre du modèle de subvention dans les départements de Say et Torodi (1 jour x 2 département : total 2 jours)	120 CGDES (3 délégués par CGDES), 5 FCC (2 délégués par FCC), PF de la région de Tillabéri, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Renforcement des capacités des CGDES en gestion dans le cadre du modèle de subvention aux CGDES - Processus de l'audit communautaire - Simulations - Outils de gestion - Gestion de compte bancaire
4-5	Oct.	Formation des 60 CGDES en planification dans le cadre du modèle de subvention dans les départements de Say et Torodi (3 jours x 2 département : total 6 jours)	60 CGDES (3 délégués par CGDES), 5 FCC (2 délégués par FCC), 7 PF de la région de Tillabéri, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Renforcement des capacités des formateurs en planification dans le cadre du modèle de subvention aux CGDES - Processus de planification des activités pertinentes - Simulations
4-6	Nov.	Atelier de remise des fonds de subvention aux CGDES cibles dans les départements de Say et Torodi (total 2 jours)	120 CGDES (3 délégués par CGDES), 5 FCC (2 délégués par FCC), Directeur régional, inspecteurs, 7 PF de la région de Tillabéri, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Ouverture des comptes bancaires - Recyclage sur la formation en gestion - Remise des fonds de subvention
5. MODEL DU COGES FONCTIONNEL AU NIVEAU CEG				
5-1	Fév.-mars	Formation des directeurs CEG sur la mise en place des COGES fonctionnels au niveau CEG (2 jours)	Directeurs et surveillants de 3 CEG cibles, C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Processus de la mise en place des COGES fonctionnels - Simulations
5-2	Mars	Formation des COGES/CEG en planification des activités pour l'amélioration des résultats d'examen (2 jours)	Président CGDES, Directeurs, délégués des professeurs de 3 CEG cibles	<ul style="list-style-type: none"> - Processus de programmation des activités axées sur l'amélioration des résultats d'examen - Echanges sur les stratégies de l'amélioration des résultats d'examen
5-3	mai	Atelier de partage d'expériences	Président CGDES, Directeurs,	<ul style="list-style-type: none"> - Recadrage des activités des CGDES/CEG

ANNEXE 5

Mois	Activité	Principaux Participants	Thème/contenu
	des activités des CGDES/CEG pour l'amélioration des résultats d'examen (1 jour)	délégués des professeurs de 3 CEG cibles	pour l'amélioration des résultats d'examen (cours d'appui, etc.)
An 2014			
1. GENERAL			
1-1	Fév.	Atelier sous régional de partage d'expériences au Sénégal (3 jours)	SG, DGS, Directeur régional, C/CGDES (Coordonateur, chefs de divisions), équipe du projet
			- Echanges sur les expériences des projets de 4 pays (Burkina Faso, Mali, Niger, Sénégal) dans le cadre de Gestion Décentralisée des Ecoles (GDE)
1-2	Fév.	Atelier de partage d'expériences dans le cadre des activités des CGDES/FCC (1 jour)	Directeurs centraux ; Directeur régional et PFR de 8 régions ; C/CGDES ; autre partenaires
			- Présentation des résultats des PA CGDES/FCC 2013-2014 - Echanges sur le Partenariat FCC-communes - Elaboration des résolutions et recommandations
1-3	Août	Atelier de partage d'expériences entre la Côte d'Ivoire et le Niger sur les politiques de gestion décentralisée de l'école dans le cadre d'un voyage d'étude	Délégation de la Côte d'Ivoire (Ministère de l'éducation, Ministère de l'Intérieur, Collectivités Territoriales et du projet JICA en Côte d'Ivoire) ; DREP, PFR, C/CGDES, Equipe du Projet
			- Echanges sur les expériences des projets dans le cadre de Gestion Décentralisée des Ecoles. - Visite sur le terrain
1-4	Août	Atelier de partage d'expériences dans le cadre des activités des CGDES/FCC (1jour)	Directeurs centraux ;Directeurs régionaux ;Directeurs régionaux et PFR de 8 régions, C/CGDES, autre partenaires, l'équipe de la Côte d'Ivoire
			- Présentation des résultats des bilans des PA CGDES/FCC 2013-2014 - Présentation des situations du partenariat FCC-Commune - Discussion sur le renforcement du système du suivi pour la pérennisation des acquis des actions communautaires (rôles de l'administration scolaire, le système de rapportage)
4. MODEL DE SUBVENTION			
4-1	Fév.	Atelier de partage des résultats de l'étude mi-parcours dans le cadre de l'expérimentation du modèle de subvention (1 jour)	Mission de l'Institut Recherche de la JICA ; Directeur Général de la Scolarisation, C/CGDES
			- Présentation des résultats provisoires d'analyse de l'étude mi-parcours par l'IR JICA
4-2	mars	Atelier de partage d'expériences des activités du Projet avec le nouveau directeur régional	Directeur Régional de Tillabéri ; PFR ; C/CGDES
			- Présentation des activités du Projet EPT/JICA - Partage et échanges sur les résultats de l'expérimentation du projet dans la région de Tillabéri
4-3	avril	Atelier d'échanges sur la gestion de compte des CGDES (1 jour x 2 département : total 2 jours)	120 CGDES (2 délégués par CGDES) ; 5 FCC (2 délégués par FCC) ; DREP, inspecteurs ; PFR, PFD, C/CGDES
			- Echanges sur les expériences de la gestion de compte
6. MODEL DU FORUM			
6-1	Fév.	Réunion préparatoire pour le Forum régional de Tahoua	Gouverneur de Tahoua, Directeur régional, PFR, C/CGDES
			Présentation et échanges sur : - les expériences des fora régionaux - l'expérimentation du modèle de forum - le processus de préparation et les rôles des acteurs
6-2	mai	Réunion du comité exécutif du forum régional de Tahoua	Gouverneur de Tahoua, Président du conseil régional, DREP, PFR, Préfet, Maire, Inspecteur et FCC de Tahoua, PFD ; C/CGDES
			- Rappel et échanges sur le modèle du forum - Echanges sur l'organisation du forum régional de Tahoua - Préparation et rôles des acteurs
6-3	mai	Réunion des inspecteurs : réunion préparatoire du forum régional de Tahoua	DREP, DREP Adjoint, Inspecteurs, PFR ; C/CGDES
			- Rappel et échanges sur le modèle du forum - Echanges sur l'organisation du forum régional de Tahoua - Préparation et rôles des acteurs
6-4	juin	Formation des formateurs sur la mise en place des Cadres de Concertation Communal (CACOCOM)	PFR et PFD de la région de Tahoua ; C/CGDES
			- Définition, composition, fonctionnement, et axes d'intervention du CACOCOM - Processus de mise en place du CACOCOM - Simulations
6-5	Juin	Forum Régional de Tahoua	Gouverneur de Tahoua; Président Conseil Régional de Tahoua ; conseillers régionaux ; Préfets ; Maires ;
			- Communication sur la situation de scolarisation des filles dans la région de Tahoua - Débats

ANNEXE 5

	Mois	Activité	Principaux Participants	Thème/contenu
			DREP et DREP Adjoint ; DDEP et Inspecteurs ; PFR et PFD ; FCC ; Chefferie traditionnelle ; leaders religieux ; syndicat ; APE ; C/CGDES ; Partenaires, etc. total 250	<ul style="list-style-type: none"> - Adaptation des résolutions du forum - Prise des engagements par chaque groupe des acteurs
6-6	Juin	Formation des FCC et maires sur la mise en place des Cadres de Concertation Communal (CACOCOM)	44 FCC (2 délégués par FCC), 44 maires, PFR, PFD ; C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Définition, composition, fonctionnement, et axes d'intervention du CACOCOM - Processus de mise en place du CACOCOM - Simulations
6-7	juin	Réunion des inspecteurs	DREP, DREP Adjoint, Inspecteurs, PFR ; C/CGDES	<ul style="list-style-type: none"> - Echanges sur les stratégies de mise en œuvre des engagements du forum - Information sur la mise en place du CACOCOM

Comité Mixte de Coordination (CMC) tenus (mai 2012 – juin 2014)

1^{er} Comité Mixte de Coordination	
Date	Le 8 juin 2012
Lieu	Africa Hall à Niamey
Participants	<p>MEN/A/PLN</p> <ul style="list-style-type: none"> - Secrétaire Général du MEN/A/PLN (Président: Coordinateur national du Projet) - Directeur Général de la Scolarisation (DGS) - Directeur Général de la Formation et des Curricula (DGFC) - Directeur des Etudes et de la Programmation - Directeur des Statistiques - Coordinateur et les trois Chefs des divisions de la C/CGDES - Directeurs Régionaux (DREN/A/PLN) des 8 régions <p>JICA Niger</p> <ul style="list-style-type: none"> - Représentant Résident de la JICA Niger - La coordinatrice chargée de l'éducation; - Le chargé de programme ; - Deux (2) cadres de la JICA. <p>Projet EPT</p> <ul style="list-style-type: none"> - Le Chef de Projet JICA/EPT ; - L'expert du projet JICA/EPT ; - Les membres du staff du projet.
Contenu	<ol style="list-style-type: none"> 1. Présentation de l'aperçu du Projet et des ses activités ; 2. Présentation des résultats de l'atelier de lancement du Projet tenu le 7 juin 2012 à Niamey (l'information de la C/CGDES ; les échanges sur la synergie d'action entre C/CGDES et l'administration scolaire) ; 3. Présentation et approbation du programme d'activités du semestre à venir
Résultats	<ol style="list-style-type: none"> 1. L'aperçu du Projet et ses activités programmées ont été présentés et appréciés par les participants 2. Les résultats de l'atelier de lancement du Projet tenu le 7 juin 2012 à Niamey ont été présentés et appréciés 3. La programmation des activités du semestre à venir a été validée
2^{ème} Comité Mixte de Coordination	
Date	Le 4 janv. 2013
Lieu	Africa Hall à Niamey
Participants	<p>MEN/A/PLN</p> <ul style="list-style-type: none"> - Secrétaire Général du MEN/A/PLN (Président: Coordinateur national du Projet) - Directeur Général de la Scolarisation (DGS) - Directeur Général de la Formation et des Curricula (DGFC) - Directeur des Etudes et de la Programmation - Directeur des Statistiques - Coordinateur et les trois Chefs des divisions de la C/CGDES - Directeurs Régionaux (DREN/A/PLN) des 8 régions - PF du projet à la DEP <p>JICA Niger</p> <ul style="list-style-type: none"> - Représentant Résident de la JICA Niger - La coordinatrice chargée de l'éducation; - Le chargé de programme ; <p>Projet EPT</p> <ul style="list-style-type: none"> - Le Chef de Projet JICA/EPT ; - Les experts du projet JICA/EPT ; - Les membres du staff du projet.
Contenu	<ol style="list-style-type: none"> 1. Présentation et appréciation des résultats des activités des six premiers mois

Handwritten mark

Handwritten mark

Handwritten mark

ANNEXE 5

	<ol style="list-style-type: none"> Présentation des résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu le 03 janvier 2013 à Niamey (les bilans des activités CGDES/FCC 2011-2012 et les PA CGDES/FCC 2012-2013 ; les échanges sur les stratégies de l'amélioration de fonctionnalité des FCC) ; Présentation et approbation du programme d'activités du semestre à venir
Résultats	<ol style="list-style-type: none"> Les résultats des activités des six premiers mois ont été présentés et appréciés par les participants Les résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu le 03 janvier 2013 à Niamey ont été présentés et appréciés La programmation des activités du semestre à venir a été approuvée
3^{ème} Comité Mixte de Coordination	
Date	Le 13 août 2013
Lieu	Africa Hall à Niamey
Participants	<p><u>MEN/A/PLN</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Secrétaire Général du MEN/A/PLN (Président: Coordinateur national du Projet) - Directeur Général de la Scolarisation (DGS) - Directeur Général de la Formation et des Curricula (DGFC) - Directeur des Etudes et de la Programmation - Coordinateur et les trois Chefs des divisions de la C/CGDES - Directeurs Régionaux (DREN/A/PLN) des 8 régions <p><u>JICA Niger</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Représentant Résident de la JICA Niger - La coordinatrice chargée de l'éducation de la JICA Niger; - Le chargé de programme. <p><u>Projet EPT</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Le Chef de Projet JICA/EPT ; - L'expert du projet JICA/EPT ; - Les membres du staff du projet.
Contenu	<ol style="list-style-type: none"> Remise officielle des véhicules au MEN/A/PLN pour la C/CGDES et le DREN/A/PLN de Tillabéri Présentation et appréciation des résultats des activités des six premiers mois ; Présentation des résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu les 12 et 13 août 2013 à Niamey (les PA et les bilans des CGDES/FCC 2012-2013 ; les expériences de l'expérimentation du modèle des COGES fonctionnels aux CEG ; le processus de généralisation des COGES fonctionnels au niveau des CEG et les rôles des acteurs) ; Présentation et approbation du programme d'activités du semestre à venir
Résultats	<ol style="list-style-type: none"> Les résultats des activités des six premiers mois ont été présentés et appréciés par les participants Les résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu les 12 et 13 août 2013 à Niamey ont été présentés et appréciés (La programmation des activités du semestre à venir a été approuvée
4^{ème} Comité Mixte de Coordination	
Date	Le 25 fév. 2014
Lieu	Africa Hall à Niamey
Participants	<p><u>MEP/A/PLN/EC</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Secrétaire Général du MEP/A/PLN/EC (Président: Coordinateur national du Projet) - Directeur Général de la Scolarisation (DGS) - Directeur des Etudes et de la Programmation - Directeur des Statistiques - Coordinateur et les trois Chefs des divisions de la C/CGDES - Directeurs Régionaux (DREP/A/PLN/EC) des 8 régions - PF du projet à la DEP <p><u>JICA Niger</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Représentant Résident de la JICA Burkina Faso - La coordinatrice chargée de l'éducation de la JICA Niger; - Le chargé de programme. <p><u>Projet EPT</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Le Chef de Projet JICA/EPT ; - L'expert du projet JICA/EPT ; - Les membres du staff du projet.
Contenu	<ol style="list-style-type: none"> Présentation et appréciation des résultats des activités des six premiers mois Présentation des résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu le 24 fév. 2014 à Niamey (la synthèse des activités CGDES/FCC 2013-2014 ; l'analyse de partenariat FCC-commune ; les échanges sur l'amélioration de partenariat FCC-commune) Présentation des résultats de l'atelier sous régional de partage d'expériences tenu du 18 au 20 fév 2014 à Dakar Présentation et approbation du programme d'activités du semestre à venir Poursuite de l'expérimentation d'un modèle des CGDES fonctionnels au niveau CEG
Résultats	<ol style="list-style-type: none"> Les résultats des activités des six mois ont été présentés et appréciés par les participants Les résultats de l'atelier de partage d'expériences du Projet tenu les 24 février 2014 à Niamey ont été présentés et appréciés Les résultats de l'atelier sous régional de partage d'expériences tenu du 18 au 20 février à Dakar ont été présentés La programmation des activités du semestre à venir a été approuvée La poursuite de l'expérimentation d'un modèle des CGDES fonctionnels au niveau CEG a été discutée

ANNEXE 5

	et la reprise de l'expérimentation a été approuvée.
	5^{ème} Comité Mixte de Coordination
Date	Le 9 août 2014
Lieu	Africa Hall à Niamey
Participants	<p>MEP/A/PLN/EC</p> <ul style="list-style-type: none"> - Secrétaire Général du MEP/A/PLN/EC (Président: Coordinateur national du Projet) - Directeur Général de la Scolarisation (DGS) par intérim (Directeur de l'Enseignement Privé) - Directeur des Etudes et de la Programmation - Coordinateur et les trois Chefs des divisions de la C/CGDES - Directeurs Régionaux (DREP/A/PLN/EC) des 8 régions - PF du projet à la DEP <p>Mission d'évaluation de la JICA (mission d'évaluation mi-parcours du projet EPT)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Chef du Mission, Directeur, 2^{ème} division Éducation de base, Dépt. du Développement Humain - Chargé de Planification de coopération, Directeur adjoint, 2^{ème} division Éducation de base, Dépt. du Développement Humain - Chargée d'Analyse /Évaluation, Consultante - Interprète <p>JICA Niger</p> <ul style="list-style-type: none"> - Représentant Résident de la JICA Niger - La coordinatrice chargée de l'éducation de la JICA Niger; - Le chargé de programme. <p>Projet EPT</p> <ul style="list-style-type: none"> - Le Chef de Projet JICA/EPT ; - L'expert du projet JICA/EPT ; - Les membres du staff du projet.
Contenu	<ol style="list-style-type: none"> 1. Présentation et appréciation des résultats des activités des six premiers mois 2. Présentation des résultats de l'atelier de partage d'expériences tenu le 7 août. 2014 à Niamey (la synthèse des bilans des activités CGDES/FCC 2013-2014 ; évolution du partenariat FCC-commune ; discussion sur le renforcement du système du suivi pour la pérennisation des acquis des actions communautaires) 3. Présentation et approbation du programme d'activités du semestre à venir 4. Présentation des tendances provisoires de la mission de l'évaluation mi-parcours 5. Compte rendu des résultats de mission par l'équipe Côte d'Ivoire (après la clôture du comité)
Résultats	<ol style="list-style-type: none"> 1. Les résultats des activités des six mois ont été présentés et appréciés par les participants 2. Les résultats de l'atelier de partage d'expériences du Projet tenu le 7 août 2014 à Niamey ont été présentés et appréciés 3. La programmation des activités du semestre à venir a été approuvée 4. Les tendances provisoires de la mission de l'évaluation mi-parcours ont été présentés.

Liste des manuels élaborés par le Projet EPT/JICA

- a) Expérimentation Modèle Forum
 - 1 Manuel sur la mise en place du Cadre de Concertation Communal (CACOCOM) : juin 2014
- b) Expérimentation PMAQ
 - 1 Manuel de : processus de mise en œuvre du Paquet Minimum Axé sur la Qualité (PMAQ) 1^{er} édition : nov 2013
 - 2 Guide des facilitateurs pour l'utilisation des livrets de mathématiques – Généralités- (1^{ère} édition): déc 2013
 - 3 Test de niveau pour les classes des CI, CP, CE, et CM : nov 2013
 - 4 Livrets de Mathématiques (N°1 à N°5) Version expérimentale : déc 2012
 - 5 Livrets de Mathématiques Corrigé (N°1 à N°2) version expérimentale : déc 2012
 - 6 Livrets de Mathématiques (Pré mathématique, N°1 et N°2) Version 1 : nov 2013
- c) Expérimentation Modèle Subvention
 - 1 Manuel de : Gestion des ressources de CGDES à travers l'Audit Communautaire (1^{ère} édition) déc 2012
 - 2 Manuel de : Processus de micro planification des activités CGDES pour une meilleure application des ressources (1^{ère} édition) : déc 2012
 - 3 Manuel de : Gestion des ressources de CGDES à travers l'Audit Communautaire (2^{ème} édition) sept 2013
 - 4 Manuel de : Processus de micro planification des activités CGDES pour une meilleure application des ressources (2^{ème} édition) : sept 2013

Date: 12 août, 2014

Cadre Logique du Projet (PDM) (Révision proposée)

Titre du Projet: "Ecole Pour Tous ; Projet d'Appui au Développement de l'Education à travers la participation communautaire au Niger"
 Organe d'exécution: Ministère de l'Enseignement Primaire, de l'Alphabétisation, de la Promotion des Langues Nationales et de l'Education Civique (MEP/A/PLN/EC)
 Ministère de l'Enseignement Secondaire (MES)
 Groupes cibles: C/CGDES du Ministère, Service chargé du COGES du MES, PF départementaux et régionaux, Inspecteurs, Directeurs d'écoles, Représentants des CGDES, Membres des CGDES, Elèves, Enseignants, Parents d'élèves, Communauté locale
 Zone cible: Tout le pays du Niger
 Durée: Du mai 2012 au mai 2016 (4 ans)

Résumé Narratif	Indicateurs Objectivement Vérifiable	Moyen de Vérification	Condition Extérieures
Objectif Global: La qualité et l'accès à l'éducation de base s'améliorent par la gestion scolaire à travers la participation communautaire	1. Amélioration des indicateurs d'éducation (taux de scolarisation, de redoublement, d'abandon, d'achèvement) 2. Proportion des enfants qui ont terminé l'éducation de base	Annuaire des Statistiques de l'Education	
But du Projet: Le rôle et les capacités des CGDES en gestion scolaire sont renforcées pour le développement de l'éducation (accès et qualité)	1. (Accès) Le nombre de classes dans l'enseignement primaire est assuré en fonction du nombre des enfants à scolariser. 2. (Qualité) La durée des heures supplémentaires(cours supplémentaires et études de nuit) assurées par les CGDES maintient de CGDES maintient plus de 150 heures par an 3. (Rôle)Proportion des FCC des CGDES qui bénéficient du budget des collectivités territoriale(plus de 80%)	Annuaire des Statistiques de l'Education Bilan des plans d'actions des CGDES	1. Les enseignants sont suffisamment affectés. 2. Le budget du Ministère est alloué.
Résultat: 1. Un système permettant la pérennisation des activités des CGDES qui contribuent au développement de l'éducation (qualité et accès à l'éducation) est établi.	1. Un système du suivi des CGDES est établi et approuvé officiellement 2. Plus de 80% des réunions de suivi des CGDES (Atelier de partage d'expérience (2fois/an), Réunions de PF des CGDES(nombre à déterminer [†]), AG de FCC (3fois/an)) sont tenues dans l'ensemble du pays. 3. Le taux de récupération des bilans des plans d'actions des CGDES maintient plus de 90%. 4. Le plan d'action annuel de la C/CGDES est élaboré et l'Etat met à disposition un budget qui correspond au plan. 5. Les modules de CGDES sont introduits dans plus de 70 % des écoles normales.	1. Arrêté 2. Rapport de la C/CGDES 3. Rapport de la C/CGDES /Annuaire des Statistiques de l'Education 4. Plan d'Action annuel élaboré et Ministère des Finances 5. Rapport du Projet ou Rapport de la C/CGDES	La situation économique et de l'ordre publique ne se détériore pas.

ANNEXE 6

<p>2. Afin d'améliorer la qualité et l'accès à l'éducation, les modèles suivants sont développés.</p> <ol style="list-style-type: none"> Approche Forum durable PMAQ Gestion des ressource COGES fonctionnels aux collèges 	<ol style="list-style-type: none"> Plus de 80% des communes dans les régions pilotes mettent à disposition un budget nécessaire. Le résultat de l'apprentissage à l'aide du livret d'exercices de mathématique s'améliore dans plus de 90% des écoles pilotes (relevé des données de chaque niveau de classe des écoles) Les modèles de gestion des ressources est développés et utilisés par plus de 80% de COGES qui bénéficient des subventions. Les membres des COGES sont démocratiquement élus dans plus de 90% des collèges pilotes. Les plans d'actions scolaires sont exécutés dans plus de 80% des collèges pilotes. 	<ul style="list-style-type: none"> Rapport du Projet Rapport de la C/CGDES du Ministère de l'Enseignement Primaire Rapport de la C/P du Ministère des Enseignements Secondaires 	
Activités	Contribution		
	Japon	Niger	
<ol style="list-style-type: none"> 1-1 Organiser l'atelier de partage d'expériences 1-2 Effectuer le suivi des réunions de PFR/PFD 1-3 Evaluer le système du suivi 1-4 Organiser l'atelier pour l'approbation du système du suivi 1-5 Dispenser des formations visant à renforcer les capacités en récupération, relevé et analyse des bilans des plans d'actions 1-6 Organiser des ateliers visant à renforcer les capacités en élaboration des plans d'actions annuels 1-7 Dispenser des formation sur la CGDES aux encadreurs des écoles normales. 1-8 Effectuer le suivi sur les cours de restitution relatifs aux CGDES donné par les encadreurs « Approche Forum » 2-1-1 Sélectionner les sites pilotes 2-1-2 Mettre en place le comité d'exécution de forum 2-1-3 Dispenser des formations relatives à la tenue des fora 2-1-4 Mettre en place le cadre de concertation communal 2-1-5 Tenir les fora 2-1-6 Effectuer le suivi des activités après le forum 2-1-7 Partager le modèle établi avec les autres régions 	<ol style="list-style-type: none"> (1) Affectation d'experts japonais <ul style="list-style-type: none"> Experts à court terme : Conseiller en chef, Experts chargés du suivi des CGDES, du renforcement des capacités des CGDES et de la coordination Experts à court terme : selon la nécessité (2) Fourniture d'équipement (3) Frais de mise en oeuvre du Projet (4) Formation au Japon ou dans un pays tier 	<ol style="list-style-type: none"> (1) Affectation des homologues (2) Mise à disposition d'un bureau et de ses frais de maintenance (3) Frais nécessaires aux activités de suivi 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Beaucoup de homologues ne sont pas mutés sur une courte durée 2. La situation économique et de l'ordre publique ne se détériore pas considérablement <p><u>Condition préalable</u> La politique de décentralisation en matière de gestion scolaire des CGDES se poursuit</p>

AK

<p>« PMAQ » 2-2-1 Sélectionner les sites pilotes 2-2-2 Elaborer des modules 2-2-3 Développer des livres d'exercices 2-2-4 Former les formateurs 2-2-5 Dispenser des formations 2-2-6 Présenter le modèle du PMAQ dans l'ensemble du pays « Gestion des ressources » 2-3-1 Sélectionner les sites pilotes 2-3-2 Elaborer des modules 2-3-4 Former les formateurs 2-3-4 Dispenser des formations 2-3-5 Evaluer l'impact 2-3-6 Effectuer le suivi des activités 2-3-7 Partager le modèle établi « COGES au niveau des collèges » 2-4-1 Sélectionner les écoles pilotes 2-4-2 Elaborer des modules 2-4-3 Former les formateurs 2-4-4 Former les directeurs d'école et les membres de COGES 2-4-5 Effectuer le suivi des activités de COGES 2-4-6 Vérifier le modèle de COGES fonctionnel développé au niveau des collèges 2-4-7 Partager le modèle vérifié avec les autres régions</p>			
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

* La proportion des élèves qui ont obtenu la note supérieure à la moyenne des examens trimestriels (pour la raison de l'abolition de l'examen final de l'année scolaire 2013

† Il est prévu au mois d'octobre 2014

20

AK

